

第七十五回帝國議會 院 所得稅法改正法律案外三十件 委員會會議錄(速記)第十七回

付託議案

所得稅法改正法律案(政府提出)(第七號)
法人稅法案(政府提出)(第八號)
特別法人稅法案(政府提出)(第九號)
配當利子特別稅法案(政府提出)(第一〇號)
外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)(第一一號)
相續稅法中改正法律案(政府提出)(第一二號)
建築稅法案(政府提出)(第一三號)
鑛區稅法案(政府提出)(第一四號)
臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)(第一五號)
營業稅法案(政府提出)(第一六號)
地租法中改正法律案(政府提出)(第一七號)
酒稅法案(政府提出)(第一八號)
清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)(第一九號)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)(第二〇號)
織物消費稅法中改正法律案(政府提出)(第二一號)
揮發油稅法中改正法律案(政府提出)(第二二號)
物品稅法案(政府提出)(第二三號)
遊興飲食稅法案(政府提出)(第二四號)
取引所稅法中改正法律案(政府提出)(第二五號)
通行稅法案(政府提出)(第二六號)
入場稅法案(政府提出)(第二七號)
印紙稅法中改正法律案(政府提出)(第二八號)
骨牌稅法中改正法律案(政府提出)(第二九號)
狩獵法中改正法律案(政府提出)(第三〇號)
明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅織物消費稅等)徵收ニ關スル件(政府提出)(第三一號)
大正九年法律第五十一號中改正法律案(內地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移

出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル件(政府提出)(第三二號)
支那事變特別稅法及臨時租稅增徴法廢止法律案(政府提出)(第三三號)
營業收益稅法廢止法律案(政府提出)(第三四號)
資本利子稅法廢止法律案(政府提出)(第三五號)
法人資本稅法廢止法律案(政府提出)(第三六號)
臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)(第三七號)
地方分與稅法案(政府提出)(第四七號)
地方分與稅法案(政府提出)(第四八號)
府縣制中改正法律案(政府提出)(第四九號)
市制中改正法律案(政府提出)(第五〇號)
町村制中改正法律案(政府提出)(第五一號)
北海道會法中改正法律案(政府提出)(第五二號)
北海道地方費法中改正法律案(政府提出)(第五三號)
地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)(第五四號)
家屋稅法案(政府提出)(第五五號)
所得稅法人稅内外地關涉法案(政府提出)(第五六號)
昭和十二年法律第九十四號中改正法律案(支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル件(政府提出)(第七四號)
大正十三年法律第六號中改正法律案(外國船舶ノ所得稅等免除ニ關スル件(政府提出)(第七五號)
アルコール製造事業等ニ對スル所得稅等ノ免除規定ノ改正ニ關スル法律案(政府提出)(第七六號)
租稅法規ノ改正ニ伴フ恩給金庫法等ノ規定ノ整理ニ關スル法律案(政府提出)(第七七號)

會議

昭和十五年三月六日(水曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ
委員長 堀切善兵衛君
理事小山倉之助君 理事木村 淺七君
理事小笠原三九郎君 理事立川 平君

理事河野 密君

山本 条吉君 池本甚四郎君
中島彌團次君 川崎末五郎君
內藤 正剛君 長野 長廣君
渡邊玉三郎君 伊藤 五郎君
船田 中君 山川頼三郎君
森 肇君 森田 福市君

瀧澤 七郎君

永江 一夫君 田万 清臣君
道家齊一郎君 石坂 繁君
北 勝太郎君 藤本 捨助君
武田德三郎君
出席國務大臣左ノ如シ
大藏大臣 櫻内 幸雄君
商工大臣 藤原銀次郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 木村 正義君
大藏省主計局長 谷口 恒二君
大藏省主稅局長 大矢牛次郎君
大藏書記官 田中 豐君
大藏書記官 山田 義見君
大藏書記官 池田 勇人君

營繕管財局理事 松隈 秀雄君
 海軍主計中將 武井 大助君
 海軍主計大佐 爲本 博篤君
 商工書記官 山本 茂君
 鐵道省運輸局長 長崎惣之助君
 鐵道省工務局長 阿曾沼 均君
 本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
 所得稅法改正法律案(政府提出)
 法人稅法案(政府提出)
 特別法人稅法案(政府提出)
 配當利子特別稅法案(政府提出)
 外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)
 相續稅法中改正法律案(政府提出)
 建築稅法案(政府提出)
 鑛區稅法案(政府提出)
 臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)
 營業稅法案(政府提出)
 地租法中改正法律案(政府提出)
 酒稅法案(政府提出)
 清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)
 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)
 織物消費稅法中改正法律案(政府提出)
 揮發油稅法中改正法律案(政府提出)
 物品稅法案(政府提出)
 遊興飲食稅法案(政府提出)
 取引所稅法中改正法律案(政府提出)
 通行稅法案(政府提出)
 入場稅法案(政府提出)
 印紙稅法中改正法律案(政府提出)
 骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
 狩獵法中改正法律案(政府提出)
 明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)
 大正九年法律第五十一號中改正法律案

(内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル件)(政府提出)
 支那事變特別稅法及臨時租稅增徴法廢止法律案(政府提出)
 營業收益稅法廢止法律案(政府提出)
 資本利子稅法廢止法律案(政府提出)
 法人資本稅法廢止法律案(政府提出)
 臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)
 家屋稅法案(政府提出)
 所得稅法人稅内外地關涉法案(政府提出)
 昭和十二年法律第九十四號中改正法律案(支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル件)(政府提出)
 大正十三年法律第六號中改正法律案(外國船舶ノ所得稅等免除ニ關スル件)(政府提出)
 アルコール製造事業等ニ對スル所得稅等ノ免除規定ノ改正ニ關スル法律案(政府提出)
 租稅法規ノ改正ニ伴フ恩給金庫法等ノ規定ノ整理ニ關スル法律案(政府提出)
 ○堀切委員長 開會致シマス、他ニ質問ガナケレバ委員長カラ質問致シマス、今度ノ分類所得稅デスガ、是ハ不動産所得、或ハ配當利子ニハ百圓ヲ控除シテ、アトハ皆課稅スル、是ガ收益稅ナラバソレハ構ハナイガ、苟モ所得稅トナツタ以上ハ、ヤハリ生活ノ最小限ヲ考慮シテヤルノガ當然デハナイカ、況ンヤ地租ニハ別ニ地租ト云フモノガ一坪アツテモ課カル、物稅ナラバ是ハ何處カラ取ツテモ宜シイケレドモ、所得稅ト云フ以上ハ或ル程度生活ヲ考慮シテヤルノガ當然ノコトト、所得稅ノ本質カラ言ツテサウ考ヘル、所ガ今度ノ百圓デハ生活ノ最小

限度ガ、ソナモノデ食ヘナイコトハ無論ノ話デアアル、是ハ物稅ト所得稅ノ觀念ヲ混同シテ居ルノデアアリマセヌカ
 ○大矢政府委員 御質問ハ全ク御尤モデゴザイマス、所得稅ハ其ノ人ノ擔稅能力ヲ見テ課稅スルト云フ建前カラ致シマスレバ、其ノ人ニ歸屬スル有ユル所得ヲ綜合シテ課稅シ、免稅點、基礎控除、家族控除ト云フモノモ全所得ヲ綜合シタ上デ見テ行クノガ至當ダト思フノデアリマス、最モ理論的ニ出來テ居ル所ノ獨逸ニ於キマシテ、而モ獨逸ハ「プロシヤ」ニ於ケル地方稅ニ於テ、所得稅ハ典型的ニ發達シテ、是ガ國稅ニ移サレタノデアリマスルガ、最初獨逸モサウ云フ方針デヤツタノデアリマシテ、日本ノ從來ノ所得稅法モ、大體サウ云フ方針ニ依ツテ居タト思フノデアリマス、唯第二種所得ノ如キハ別個ノ扱ヒヲ受ケテ居タノデアリマスケレドモ、其ノ他ニ於キマシテハ大體サウ云フ方針デ行ツテ居タノデアリマス、ケレドモ是ハ理論上ハ洵ニ筋ガ通ルノデアリマスガ、實際問題ト致シマシテハ、各人ノ有ユル所得ヲ綜合シテ課稅スルト云フコトハ、申々困難デアリマス、一面ニ於テ資產所得ノ如キニ於キマシテハ、其ノ人ガ全然働カナクトモ、自然ニ所得ガ生レテ來ルト云フヤウナ點モアリマスノデ、隨ヒマシテ所得稅法ノ理論的ノ典型ト稱セラレテ居ル獨逸ニ於キマシテモ、實行上ノ立場カラ、又所得ノ種類ニ於テハ其ノ性質ヲ能ク見テ、多少理論ヲ離レテ來テ居ルヤウデアリマシテ、我國ニ於キマシテ此ノ度所得稅法ニ分難所得稅ト云フ制度ヲ採入レマシタノモ、亦理論的ニ申シマシテ多少逆轉スル嫌ヒガアルノデアリマスケレドモ、稅務ノ實

際、ソレカラ所得ノ種類ニ依ル性質其ノモノヲ見テ、物稅的ノ色彩ヲ帶ビサセタノデアリマス、結局分類所得稅ハ、純粹ノ從來言モ違ツク兩方ノ合ノ子ト申上ガタ方ガ宜イカト思ヒマス、配當利子所得、不動産所得等ニ於キマシテ基礎控除モ致シテ居ラナイノハ此ノ理由カラデアリマシテ、是等ハ純粹ノ資產所得デ、擔稅力モアリマスカラ稅率ノ點カラ言ヒマシテモ、一割程度ノモノナラバ免稅點ナシト云フコトニシテモ宜イデハナカラウカト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、唯乙種ノ配當利子所得及ビ不動産所得ニ付キマシテ、免稅點百圓ト云フノヲ設ケタノハ、是ハ其ノ人ノ擔稅能力ヲ見テ定メタノデアリマシマス、稅務署ノ調査ニ基イテ賦課シ、決定通知ヲ出シ、納稅告知書ニ依ツテ徵收スルト云フ風ニナツテ居リマシテ、相當調査ニモ手數ガ掛リ、徵收ニモ手數ト費用ガ掛ルノデアリマスカラシテ、餘リ零細ナ所マデ立入ツテ調べテ徵收スルト云フコトニナルト結局手數倒レ、費用倒レニナルノデアリマスカラシテ、少額ノモノハ眼ヲ瞑ラウト云フ趣旨カラ致シマシテ、乙種ノ配當利子所得、不動産所得ニ付キマシテ、百圓ト云フ免稅點ヲ置イタノデアリマス、隨ヒマシテ是等ノ所得ニ付キマシテモ百圓ヲ超ユル場合ニ於キマシテハ、其ノ全額ニ對シテ百分ノ十ト云フ稅率デ課稅スル、斯ウ云フ次第デアルノデアリマシテ、最低生活費ト云フヤウナ考ハ、實ハ其ノ中ニ入ツテ居ナイノデアリマス
 ソレカラ序デゴザイマスカラ、此ノ間カラ事業所得、勤勞所得ニ付キマシテ四百圓、六百圓ノ基礎控除ヲ置イテアルガ、是ト最

低生活費トノ關係ハドウカト云フコトニ付
キマシテ、此ノ際申上テテ置キタイト思フ
ノデアリマス、最低生活費ハドウノ程度ノモノ
カト云フコトハ、過般モ厚生大臣カラ御答ガ
アリマシテ、中々難シイ問題ダト思フ
デアリマシテ、所得税法ニ於キマシテモ免
税點トカ、基礎控除トカ云フモノヲ設ケル
場合ニ於キマシテハ、勿論或ル程度斯ウ云
フ方面ヲ考ヘナケレバナリマセスケレドモ、
又實際問題ト致シマスルト、從來ト雖モ國
稅ハ、第三種所得稅ニ於キマシテハ免稅點
ハ千圓デゴザイマシタガ、千圓以下ノモノ
ハゾレハ何等國稅ヲ納メテ居ナイカト云ヒ
マス、消費稅方面ハ相當納メテ居ルト思フ
ノデアリマス、地方稅ト致シマシテモ戶數
割ノヤウナモノハ相當負擔シテ居ル、從來
ノ戶數割ハ御承知ノ通り、公費ニ依ツテ扶
助セラレテ居ル者ト、貧困ニ依ツテ稅ヲ納
メ兼ネル者ニ對シマシテハ免稅シテ居ルケ
レドモ、サウデナイ者ニ對シテハ或ル程度
課稅シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ最
低生活費ヲ見テ、ソレ以下ノ所得者ニ對シ
テハ全然課ケナイト云フノデモナイト思フ
ノデアリマス、此ノ度稅制改正ニ當リマシ
テ分類所得稅ヲ採入レマシタガ、其ノ中資
產所得ニ對シマシテハ、大體百分ノ十程度
ノ稅率デ課稅致シマスレバ、一面ニ於キマ
シテ此ノ程度デ——是ハ「コスト」トモ見ラレ
ル點モアリマスノデ、多少物稅ノ色彩ヲ
帶ビサセマシテ免稅點、基礎控除ナシニ行
カウ、併シ事業所得、殊ニ勤勞所得ニ至リ
マシテハドウシテモ人的分子ガ相當ニ入ツ
テ居ルノデアリマスルシ、之ヲ何等免稅點
トカ、基礎控除ナシニ課稅スルノハ無理ガ
行クト思ヒマシテ、ソレノ勤勞ノ分子ノ

多寡ニ應ジマシテ大體四百圓、六百圓程度
ノ控除ヲ致スノガ適當ト思ヒマシテ提案致
シタ次第デアリマスガ……

○堀切委員長 其ノ邊デ一寸切ツテ戴イ
テ……大分諒解出來マシタガ、尙ホ不明ナ點
ガアリマスカト伺ヒマス、働カナクテモ資
產サヘ持つテ居レバ所得ガ生ズル、働カナ
イデ生ズルノダカラ、何カラ出ルカト云フ
ト是ハ資產ト云フ物カラ生ズル、物其ノモ
ノニハ別ニ稅ヲ課ケテ居ル、即チ地租ヲ課
ケテ居ル、地租ヲ課ケテ上ニ更ニ最小限
度ヲ考慮セズシテ課稅スルト云フコトニナ
ルト、重複課稅ト云フコトニナル、デスカ
ラ今回ノ分類所得稅ハ本當ニ從來ノ發達シ
タ觀念ノ下ノ所得稅ト違ツテ、物稅ト人稅
ト一緒ニ取扱ツタモノ——サウデナケレバ
解釋出來ナイシ、サウガラウト考ヘル、併
シナガラサウ言ヘバ今ノ二重課稅ニナル點
ハドウスルカ、之ヲ一ツ質問致シマス
ソレカラ百圓ノ免稅點ハ、是ハ便宜ノ爲
ダト云フノハ分リマシタ、成程サウ解釋ス
ル外ハアルマイト思ヒマス、然ラバ今度ノ
基礎控除ト云フノハ一體何カ、基礎控除ト
云フモノハ今ノ最低生活費ニ基キテ、サウ云
フモノヲ決メタノカ、或ハ是モ亦便宜デ決
メタノカ、便宜デ決メタノナラバ片方ハ便
宜デ百圓ト決メ、片方ハ便宜デ四百圓、六
百圓ト決メ——モノニ依ツテ是モ便宜、
アレモ便宜ト云フ譯ニハ參ラヌト思フ、徵
稅ノ便宜ノ爲メ百圓以下ヲ切捨テタト云フ
ナラバ、ヤハリ徵稅ノ便宜ノ爲メ同ジク百
圓トカ、少クトモソレニ餘リ離レタモノデ
ハイケナイノデハナイカ、四百圓、六百圓
ト云フヤウナモノニ區別シタノハドウ云フ
譯カ、恐ラクハ基礎控除ト云フノハ、最低

生活、「エキジスタンス・ミニマム」ソコヤハ
リ狙ツタノデハナイカト考ヘラレマスガ、
基礎控除ト云フノハ何カト云フコト、ソレ
カラ從來所得稅ガ過去約百年間、學者、政
治家等各種々檢討ノ結果、社會政策其ノ他
有ユル點ヲ考慮シテ、殆ド稅ノ中デハ理想
的ノモノト考ヘラレテ居ル、初ハ所得稅ナ
ドハ極ク馬鹿ニサレテ居タノダガ、約百年
間ノ社會ノ發達ノ結果、稅トシテハ殆ド理
想的ノモノダト云フ風ニ段々進化サレテ來
タ、是ト生活ノ最低限度ト云フモノハ、
ドウモ離ルベカラザル關係ニアルヤウニ
私等ハ考ヘル、併シ今度稅制改正ノ結
果、ソレヲ捨テテシマツタノデハナク、
或點カラ言ヘバ強化シタトモ考ヘラレル
ノデスガ、ドウモ最低限度ト云フコト
ヲ或點カラ云フト、サツパリ考慮セズニ拵
ヘテ行ツタノデハナイカト、昨日アタリノ
質問ノ結果感ズルノデスガ、其ノ點ハドウ
云フヤウナモノデセウカ、從來ノ千圓ト云
フノハ、何カ是ハヤハリ最低限度ト云フコト
ヲ考慮シタノデアツタカ、シナカツタノデア
ルカ、今回ノ基礎控除ハ一體ドウ云フヤウ
ナ點デ、斯ウ云フヤウニシタノデアアルカ、
一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 先ツ不動産所得ト地租ト
ハ、二重課稅ニナルノデハナカラウカト云フ
御話デゴザイマスガ、是ハ大體左様ニナル
ト思フノデアリマス、但シ地租ハ現ニ所得
シテ居ラナイ無收益土地ニ付テモ、自家用
ノ宅地ニ付テモ課稅スル、斯ウ云フ建前ニ
ナツテ居リマス、併シ無收益ノ土地、自家
用宅地ニ於キマシテハ、所得ハ生ジマセヌ
カラ、事業所得ト云フノハ課稅致シマセヌ、
斯ウ云フ意味デ多少違ヒマスケレドモ、所

得ヲ生ズル土地ニ付キマシテハ、二重課稅
ニナルト云フコトハ仰セノ通りト存ズルノ
デアリマス、隨ヒマシテ、他ノ所得等トノ
負擔ノ均衡ヲ見ル場合ニハ、ヤハリ是等ノ
點モ考慮ニ加ヘナケレバナラヌモノカト存
ジマス、ソレカラ最低生活費ト云フモノガ、
假ニハツキリ分ルモノト致シマシテ、ソレ
ニ掛カル者ニ對シテハ、所得稅ハ課稅シナイ
方ガ宜カラウト云フノハ、是ハ一ツノ立派
ナ考ヘ方ダト存ジマス、ケレドモ最低生活
費ト云フモノハ、中々難シクシテ、ハツキ
リ數字的ニ現ハレテ來ナイカラ、結局其ノ
國ノ經濟界ノ狀況、國民生活ノ狀況等ヲ見
テ、先ツ課稅スル場合ニハ、ドウノ程度カラ
課稅シタラ宜カラウカ、而モソレガ國稅ト
シテ課稅スル場合ト、地方稅トシテ課稅ス
ル場合ト、自ラ其處ニ考ヘ方ガ違ウテ來ル
ノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘルノデア
リマス、一方ニ於キマシテ、物稅ト云フノ
ハ、最低生活費トカ、人的ノ考慮ヲ全然拔
キニシテ居ル課稅デアリマス、又消費稅ノ
方面モ、多ク人的考慮ハ加味セラレテ居ラ
ナイト思フノデアリマスガ、是モ亦一國ノ
財政經理ノ上カラ、或ル程度是等物稅、消
費稅ニモ依存シテ行カナケレバナラヌノ
ハ、是ハ爭ハレナイ事實デアアルノデアリマ
シテ、要ハ所得稅ニ於キマシテハ、出來ル
ダケ人的考慮ヲ加ヘル、併シソレノミニ依
ル譯ニ行カナイカラ、他ノ方面ニ於テ、直
接稅ニ於テモ物稅ト云フモノヲ認メル、ソ
レカラ是ニ於テ消費稅ト云フモノヲ認メ
ル、斯ウ云フ風ニシテ行クヨリ他致シ方ナ
イト存ジマス、而シテ此ノ度ノ分類所得稅
ハ、從來考ヘラレテ居ル純粹ノ各人ノ擔稅
能力ヲ見テ課稅スル所得稅トハ少シ違ヒマ

シテ、物稅的要素モ相當入ツテ居ル、人稅物稅ノ合ノ子デ、ソレデアルカラ初メテ比例稅モ許サレル、斯ウ云フ譯カト存ズルノデアリマス、唯此ノ場合ニ甲種ノ配當利子所得ニ付テハ、何等免稅點ハアリマセヌガ、乙種ニ付テ免稅點ヲ設ケテアリマス、ソレカラ不動産所得ニ付テ免稅點ヲ設ケタノハ、先程申上ゲタ通り手數、費用ノ點カラ考ヘテ、是以下ハ免稅ヲスル、斯ウ云フ譯デアリマスガ、事業所得、勤勞所得ニ付キマシテ、基礎控除ヲ設ケマシタノハ、是等ハ其ノ所得ノ種類ノ性質カラ考ヘマシテ、相當人的考慮ヲ加ヘナケレバナラスモノデアアルノデアリマス……

○堀切委員長 イヤ其ノ位デ宜シイ

○大矢政府委員 四百圓若クハ六百圓ノ基礎控除ト云フモノヲ設ケマシテ、小額所得者ノ負擔緩和ニモ資スル、六百圓以上、四百圓以上ニ分類所得稅ヲ課稅セラレルト致シマシテモ、其ノ超過部分ニ對シテ或ハ百分ノ八・五、百分ノ六ト云フ稅率デ課稅セラレル、隨テ小額所得者デ課稅ヲ受ケル場合ニモ、其ノ負擔緩和ニ資スルト云フ趣旨モ多分ニ入ツテ居ル次第デアリマス

○堀切委員長 サウシマス基礎控除ト云フノハ、ドウモマダ曖昧デスナ、要スルニ

小額所得者ノ負擔緩和ノ爲此ノ位デ宜カラウト云フ觀念カラ、是ハ來タモノダト、斯様ニ考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○大矢政府委員 大體左様デアリマス

○堀切委員長 マダ承服出來ナイ點ガアリマスガ、大藏省ノ主稅局ノ考ハ分リマシタ——大藏大臣ガ見エマシタカラ伊藤君
○伊藤委員 私人勤勞所得ニ對スル課稅ニ付テ、簡單ニ御伺致シタイト思ヒマス、勤

勞所得ニ對シテ、大體一率ニ百分ノ六ノ比例率ヲ以テ課稅スルノハ、私ハ不都合デハナイカト思フノデアリマス、例ヘバ千圓ノ者モ五千圓ノ者モ、大體同一率ヲ以テ課稅スルト云フコトハ、ソレハ手續上ハ非常ニ簡單デ、主稅局トシテハ洵ニ都合ガ宜シイカモ知レヌケレドモ、課稅ヲセラレル者カラ見テ、是ガ公平ノ觀念ニ合致スルモノデアルト云フコトハ、吾々トシテハドウシテモ認メルコトガ出來ナイノデアリマス、是ハドウ云フ理由デ、斯ウ云フ課稅ノ仕方ヲシタノデアリマスカ

○櫻內國務大臣 御尤モナ御質問デアリマスガ、大體ニ於テ順次ズツト上ツテ行クヤ

ウナ方法ヲ講ズルコトガ、一番適當デアルト思フノデアリマスガ、六百圓控除ノ結果ト致シマシテ、次第々々ニ千圓ノ者ヨリハ千二百圓ノ者、千二百圓ノ者ヨリハ千五百圓ノ者ト云フヤウニ、ソレガ總テズツト負擔ノ割合ガ上ツテ參ツテ居ルノデアリマス、即チ六百圓控除ノ結果ト致シマシテ、ゾコニサウ云フ風ナ負擔割合ヲ齎シテ居ルノデアリマス、例ヘテ申シマス、八百圓ノ所得者ハ百圓ニ對シテ一圓五十錢ノ割合ニナツテ居リマス、ソレカラ千圓ノ者ハソレガ

二圓四十錢ノ割合、即チ同ジ百圓ニ對シテ片方ハ一圓五十錢、片方ハ二圓四十錢ニナリマス、ソレカラ二千圓ノ者ハ四圓二十錢ニナツテ居リマス、三千圓ノ者ハ四圓八十錢、斯ウ云フ風ニ最初ノ控除額ガ左様ナ作用ヲ致サウニナツテ、ズツト現ハレテ來ル、即チ現行ノ稅率デアリマス云フト、千圓カラ上ニナレバ直グ一分デアリマスカラ、千圓ニ對シテ十圓ト云フコトニナリマスガ、今回ノ改正稅率ハ其ノ中カラ六百圓

ヲ取ツテシマウテ、其ノ殘ツタモノニ六ヲ乘ズル勘定デアリマスカラ、其ノ割合ガ只今申ス通り、八百圓ノモノハ百圓ニ對シテ一圓五十錢、千圓ノモノハ二圓四十錢、二千圓ノモノハ四圓二十錢ト云フヤウニ、所得百圓ニ對スル稅ノ割合ガ上ツテ來ル

○伊藤委員 イヤ大藏大臣ハ中々答辯ハ御

上手デ居ラツシヤイマスガ、ドウモ結局ハ不公平デアルト云フコトハ御認メニナルト思フノデス、唯手續上ハ實ハ別問題デアリマスガ、ヤハリ同一比例稅率ヲ以テ課稅スルコトハ間違ヒナイト思フ、其ノ點ガヤハリ不合理デアルカラ、二ツ位ニ分ケタラドウデセウカ、千圓ト五千圓ノ間ノ率ヲ二ツ位ニ區分シテ課ケテヤツタナラバ、二千圓ノ者ハ敢テ五千圓ノ者ヲサウ羨ムコトモナイダラウト思ヒマスシ、又不公平デアルト云フ考ヲ持ツコトモナカラウト思フノデス、是ハ決シテ無理ナ考デハナイト私ハ思フノデス

○櫻內國務大臣 順次負擔ノ割合ガ増加

シテ行ク狀態ニナツテ居リマスガ、其ノ割合ノ増加率ガ少イト云フコトニナレバ、是ハ見解ノ問題デアリマスケレドモ、順次同ジ比例稅率デモ、二千圓ニ對シテモ六百圓控除スル千圓ニ對シテモ六百圓控除スル、八百圓ニ對シテモ六百圓控除スルノデアツテ、殘ツタモノニ對シテノ勘定ハズツト比例稅率ガ上ツテ行クヤウナ傾キニナリマス、併シナガラ八百圓カラ五千圓マデが一率ニシタト云フコトハ、ドウモ不公平デハナイカ、モウ少シ比例稅率ノ課ケ方ニ差等ヲ付ケテ宜イノデハナイカ、斯ウ云フコトニナリマスレバ、ソレハ一ツノ御意見トシテ拜聽シテ置キマス

○伊藤委員 餘リ押問答ラシテモドウカト思ヒマスカラ、次ニ進ミタイト思ヒマスルガ、ヤハリ此ノ議論ト同一論法ヲ進ムテ行キマス、綜合所得稅ノ第三十三條ノ、所謂累進課稅ノ方法モ、ヤハリ公平ノ觀念カラ言ツテ承服スルコトガ出來ナイ譯デアリマス、ト申シマスノハ、八十万圓ヲ超エル金額ニ付キマシテハ、一千万圓ノ收入ガアラウガ、二千万圓ノ收入ガアラウガ、全部ノ六十五ト云フ課稅ニナルノデアリマス、是ガ私ハイケナイト思フノデス、日本ニハ恐ラク何百万圓ト云フ所得ノアル者ガ相當アルト思フノデス、ソレガアルカナイカ、是カラ主稅局長カラ伺ヒタイノデスガ、相當アルト思フノデス、サウ云フ者モ百分ノ六十五ノ課稅デアルシ、八十万圓シカ收入ノナイ者モ百分ノ六十五ノ課稅デアリマスガ、其ノ間ニ多少ナリトモ差等ヲ付ケテ、財閥ハ重イ負擔ヲスルノダト云フ風ニ課稅技術ヲ持ツテ行カケレバ、私ハ所謂國民大衆ト云フモノハ承服シナイト思フノデス、ドウ云フ譯デサウ云フ考ヲ持ツコトガ出來

ナカツタノデセウカ、ソレカラ續イテ御伺シタイノハ、八十万圓ヲ超エル、例ヘバ百万圓、五百万圓、一千万圓ト云フ所得者ハ、調査ノ結果日本ニハドウノ位アルノデスカ、之ヲ一寸承ツテ見タイノデス、サウデナイト、徒ニ大藏省ガ僅カニ二三ノ天下ノ財閥ヲ擁護シテ居ルヤウニ考ヘラレルナラバ、私ハ國民大衆ニ及ボス影響ハ洵ニ甚大ナルモノガアルト思フノデアリマス、是ハ決シテ單ナル議論ノ爲ノ議論デハナイノデス、餘程考ヘテ貴ハナイト、大藏省ハ八十万圓程度ノ者ニ對シテハ相當嚴シクヤツテ居ルケレドモ、一千万圓程度ノ者ニ對シテハ洵ニ

寛大デアルト云フヤウナ誤解ヲ受ケルナラバ、其ノ及ボス影響ト云フモノハ、私ハ洵ニ大キイモノト思フノデアリマス、之ニ付キマシテ一ツ御答辯ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス

○田中政府委員 一寸大藏大臣ノ御答辯ノ前ニ御説明ダケ申上ゲテ置キマス、八十万圓ノ者デモ一千万圓ノ所得者デモ、同最最高ノ税率デアルノハ不公平デハナイカト云フヤウナ御尋デアリマシテ、甚ダ講釋メイテ恐入リマスガ、超過累進税率ヲ用ヒ、マス根據ハ、所謂經濟學ノ限界效用説ト言ヒマスカ、所得ガ多クナルニ從ツテ其ノ價值ガ減ル、ソレデコレ等ノ所得ニ相當高イ課稅ヲシテモ苦痛ハナカラウ、斯ウ云ツタヤウナ所ニ根據ガアリマシテ、所得稅ニ超過累進税率ヲ用ヒルヤウニナツテ居ルト考ヘルノデアリマス、サウ致シマスト限界效用説ノ對象トスル所ハ、ヤハリ個人ノ消費生活デアリマシテ、個人ノ消費生活ニハ自ラ限度ガアツテ、一千万圓取ツテモ一千万圓ヲ皆消費生活ニ用ヒルト云フコトハナイト思フノデゴザイマス、サウ云ツタヤウナ思想カラ、各國共累進ノ最高限度ト云フモノヲ低ク定メラレテ居ルヤウナ實情ニ現在ハアルト考ヘテ居リマス、我國ニ於キマシテモ、元ハ四百万圓ヲ以テ最高ト致シテ居リマシタガ、ソレヲ百万圓ニ下ゲマシテ、更ニ今回ノ改正ニ依ツテ最高ヲ八十万圓ニ下ゲタ譯デアリマス、サウ致シマシテ、結局幾ラ高額ノ所得ガアツテモ、消費生活ニ向ケラレル分ハ一定ノ限度ガアツテ、アトハ生産トカ蓄積トカ云フ産業ノ資本ノ方面ニ向クモノデアリマシテ、之ヲ段々所得ガ多クナルニ從ツテ累進デヤツテ行クト云フコトハ、

不適當デアラウト云フヤウナ考ヘ方カラ、今回八十万圓ヲ以テ最高ト致シタ譯デアリマスガ、斯ウ云フ風ニ累進ノ最高限度ヲ下ゲル結果、ソレデハ千万圓ノ者モ八十万圓ノ者モ同ジデヤナイカト云フコトニナリマスガ、千万圓ノ者ニ付キマシテハ、八十万圓カラ高イ率ヲ適用サレルト云フコトニナツテ、負擔ハヤハリ上ノ人ニ重クナル、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス

○櫻内國務大臣 今ノ最高限度百分ノ六十五ト云フノハ、八十万圓カラ上ノ所得ニ對シテ六十五ヲ掛ケルノデアリマスガ、之等ノ所得者ニ對シテハ、物ニ依リマシテハ、色色ナ税金ガ課ツテ來テ相當巨額ニナリマス、隨テ或者ニ對シマシテハ餘程大キナ數字ニナルヤウナ實例ガ出テ居リマス、サウ云フコトハ事務當局カラモ御參考ニ供シタラ宜イト思ヒマス、凡ソ下ノ位ナ數ガアルカ、大體御示シ致シタイト思ヒマス

○田中政府委員 百万圓超過ノ所得者ハ、昭和十四年度ノ實績ニ基キマス、二十九人デゴザイマス

○伊藤委員 二十九人ノ中ノ最高額ハドノ位アルノデスカ

○田中政府委員 四百万圓ヲ超過スル者ガ二人デアリマス

○伊藤委員 サウデヤナイノデス、四百万圓ト切ラナイデ、最高額ハドノ位アルカト言フノデス

○田中政府委員 一寸只今持ツテ居リマス統計デハ、四百万圓ガ最高ニナツテ居リマシテ、ソレヲ超過スル人数ガ幾ラカト云フ御尋ダト思ヒマスガ、其ノ最高ガ幾ラニナルカト云フコトハ一寸分ラナイノデゴザイマス

ス、大體四百五十万圓見當デアラウト想像致シテ居リマス

○伊藤委員 私ハサウ云フ四百萬圓、五百萬圓ノ者ニ非常ナル重稅ヲ課セト云フ意味デ、質問ヲシテ居ルノデハナイノデス、唯此ノ八十萬圓ヲ超エル者ト、ソレカラ四百萬圓以上ノ者トノ間ニ多少ナリトモ差等ヲ付ケテアル何カ方法ガナイカト言フノデスモウ一ツ御伺シタイノハ、私ハ一體八十萬圓デ百分ノ六十五ヲ取ルト云フコトハ、全ク重稅ダト思ヒマス、是ガ生産力擴充ニ及ボス影響ト云フモノハ本當ニ甚大ナルモノガアルト思フノデアリマスケレドモ、ソレハ別問題ニシテ、八十萬圓ヲ超エル者ニ對シテ百分ノ六十五ヲ課ケルナラバ、セメテ四百万圓ヲ超エル者ニ對シテハ百分ノ七十デモ課ケテヤラナケレバ、世間ニ對シテ申譯ガナイデヤアリマセスカ、私ノ言フノハソレデス、是ハ何人モ承知スル議論デアリ、本當ニ公平ノ觀念ニ合致スルモノデアルト思フノデス、サウデナイト徒ニ二三ノ財閥ヲ擁護スルト云フヤウナ非難ヲ受ケテモ、是ハ何トモ辯解ノ辭ハナイト思フノデス、サウデヤアリマセスカ

○大矢政府委員 綜合所得稅ハ超過累進税率ニナツテ居リマシテ、五千圓ヲ超エル場合ニ課稅ヲ受ケルノデアリマスルガ、各段階ノ刻ミ毎ニ、其ノ超過スル部分ニ付テノ漸次高イ税率ガ盛ラレル、斯ウ云フ關係ニナツテ居リマス、隨ヒマシテ今御話ノ八十万圓ノ所得ノアル場合ハ、御手許ニ差上ゲテアル資料「稅第二二號」ニ載ツテ居リマスガ、綜合所得稅ハ八十万圓ノ所得ノ人ハ四十一万三千圓納メタルノデアリマシテ、約半額程度デアリマス、税率ハ百分ノ六十

五トナツテ居リマスガ、下ノ方ハ低イ税率ヲ行ツテ居リマスカラ、八十万圓ニ對シテ稅額四十一万三千圓、五%ヲ一寸超エルコトニナリマス、八十五萬圓カラ百万圓マデノモ、百分ノ六十五ト云フ高イ税率ガ盛ラレマス、隨ヒマシテ百万圓ノ人ハ五十四万三千圓トナリマシテ、五%トナルノデアリマス、二百萬圓ノ人ハ五九%、三百萬圓ノ人ハ六一%、四百萬圓ノ人ハ六二・三三%、五百萬圓ノ人ハソレヨリハ少シ高クナツテ六二・八%、斯ウ云フ風ニナツテ居リマシテ、先程分類所得稅デ比例税率トナツテ居ルノハ、少額所得者ニ過酷デハナイカト云フ御尋ガアリマシタガ、此ノ點ニ付キマシテ既ニ大臣カラ御答ガアリマシタ通り、基礎控除スル結果ト致シマシテ、七百圓、八百圓ト云フ階級ノ人ハ、非常ニ低イ税率ニナツテ居リマス、七百二十圓ノ勤勞所得者ニ於テ僅ニ一%ニナリマスガ、斯ウ云フヤウナ税率ニナツテ居ル譯デ、漸次是ハ累進税率ヲ盛ツテ居ルノト同ジヤウナ作用ヲ爲シテ居ル、ソレデ又一方綜合所得稅ニ於キマシテ、八十萬圓以上ノ所得者ハ、ソレヲ超エル全額ニ付テ百分ノ六十五ト云フ税率ヲ盛ラレマスカラ、所得金額ガ多クナレバナルニ從ツテ、其ノ人ノ八十万圓ヲ超エル所得金額ト、ソレ以下ノ金額トノ割合ガ違ツテ來マスカラ、高イ税率デ稅ヲ負擔シテ行ク、斯ウ云フ結果ニナリマシテ、税率ヲ斯ノ如ク盛ツタ結果ハ、仰セノ通り所得金額ガ多クナレバナル程、多少上ノ者ガ重イ負擔ヲシテ居ル、斯ウ云フ結果ニナツテ居リマス

○伊藤委員 ソレハ其ノ程度ニ止メマシテ、次ハ一寸順序ガ顛倒シマスガ、之ヲ一ツ私

ハ伺ツテ見タイト思ヒマス、此ノ度ノ支那事變デ、吾々ハハツキリシタ數字ハ分リマセヌガ、實ニ十萬ノ精靈ガ犠牲ニナツテ居ルサウデアリマス、是等ノ戰死ヲセラレテ方及ビ戰傷ヲ被ツタ方々ニ對シテ、當然政府ハ恩給及ビ扶助料ヲ支給シナケレバナラナイト思フデアリマスガ、此ノ度ノ事變ダケデドレダケノ恩給、扶助料ヲ支給スル御見込アルカト云フコトト、サウシテ此ノ恩給支給ニ付キマシテハ、政府ハ之ヲ公債ヲ以テ支拂フ豫定デアリマスガ、或ハ税金ヲ以テ賄フベキ方針ヲ持ツテ居ルカニ付テ、一寸御伺フ致シタイト思フデアリマス

○櫻内國務大臣 恩給及ビ扶助料ニ付キマシテ、公債ニ依ルカ、税金ニ依ルカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ一般會計カラ支辨致スノデアリマシテ、下ノ金ヲドウ持ツテ行クカト云フコトニ付キマシテハ一寸申上ゲニクイノデアリマス、即チ公債ニ依ツテ入り、税金ガ入り、一方ハ一般會計ニ於テ支出致スノデアリマスカラ、下ノ分ノ金ヲ持ツテ行クト云フコトハ、申上ゲ兼ネルノデアリマス、唯、今御話ノコトハ、恐ラク一定シタル恩給ト云フノデナク、或ハ恩賞ト云フヤウナ意味デアリマセウガ、ソレハ非常ニ多數ノモノデアリマシテ、只今折角調査中デアリマスカラ、其ノ金額ハハツキリ申上ゲ兼ネマスガ、此ノ分ハ大キイ方ハ交付公債ト云フモノヲ出スヤウニナルガラウト思ヒマス、小サイ金額ハ現金デ拂フコトニナルト思ヒマス

○伊藤委員 此ノ問題ニ付テハ實ハモウ少シ詳シク自分ノ意見ヲ申上ゲナガラ、御尋ヲ致シタイト思フデアリマスガ、是ハ事

重大デアリマスカラ後日ニ譲リマシテ、次ノ問題ニ入りタイト思ヒマス——鐵道大臣ハマダ御見エニナリマセヌカ、私ハ主ニ鐵道大臣ニ御尋スル積リ豫定シテ來タノデアリマスカラ、御督促ヲ願ヒマス

○堀切委員 鐵道大臣ハ少シ延著シマシタガ、其ノ中ニ來ラレマス

○伊藤委員 ソレデハ私ハ產組課税問題ニ付キマシテ、別ナ方面カラ、此ノ產組課税ニ對シテ課税スルノハドウカト云フコトヲ申上ゲテ、政府ノ御考慮ヲ煩シタイト思フデアリマス、私ガ今更申上ゲルマデモナク、產組課税ト云フモノハ、モウ殆ド半バ公的使命ヲ持ツテ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、此ノ產組ガ先般保險業ヲ營ムト云フコトニ付キマシテ、農林省ト非常ナル確執ヲ生ジタコトモ、御承知ノ通りデアリマス、此ノ保險經營問題ニ付テ、產組ト農林省トノ間ニ面白カラザル空氣ガアルコトハ、私ハ國家ノ爲ニ遺憾ニ堪エナイト思フデアリマス、而シテ產組ニ於テハ、假令農林大臣カラ中止命令ヲ受ケテモ、何等カノ形式ニ於テ、保險經營ヲ強行セントスルヤニ聞イテ居ルノデアリマス、若シサウダトスルナラバ、產組ト農林省トノ間ニハ、將來非常ニ大キナ一ツノ葛藤ヲ生ズルモノデアラウト思フデアリマス、此ノ時ニ當リマシテ大藏省ハ突如下致シマシテ、此ノ公的使命ヲ持ツテ居ル所ノ產組課税ニ對シマシテ、相當ノ税金ヲ課スルコト云フコトニナツタノデアリマス、然ル所全國ノ產組聯合ニ於テハ、此ノ課税問題ニ對シマシテ、全國大會ヲ開イテ絕對ニ反對ヲ致シテ居ルノデアリマス、若シ此ノ產組ニ對シテ課税ヲ強行スルナラバ、私ハ產組ガ農林省

ニ對シテ執ツテ居ル態度其ノ儘ヲ、大藏省ニ向ケルノデハナイカト云フ考ヲ持ツテ、國家ノ爲ニ洵ニ深憂ニ堪エナイノデアリマス、若シサウ云フコトニナリマスナラバ、政府ト產組トノ間ニ、大キナ茲ニ政治問題ガ展開セラレルノデハナイカト思フデアリマス、而シテ產組聯合ノ持ツテ居ル所ノ所謂公的使命ヲ果シテ皆ク產組聯合ガ遂行シテ呉レルカドウカト云フコトヲ、私ハ頗ル疑問ニ思フデアリマス、即チ若シ大藏省ガ產組ニ對シマシテ税金ヲ課シマシテ、普通ノ營利會社、營利組合ト同ジヤウナ待遇ヲスルナラバ、恐ラク產組自身ハ、此ノ產組聯合ト云フモノハサウ云フ公的使命ハナイノダ、寧ろ營利的ニ向ツテモ宜イノダト云フ一ツノ反抗心ヲ持ツテ、事毎ニ大藏省或ハ農林省ニ對シマシテ反抗的氣分ヲ以ツテ、政府ノ國策ヘノ協力ニ、私ハ相當ノ障礙ヲ來スモノデアルト云フコトハ、是ハ豫言シテモ憚ラナイノデアリマス、僅カ四百万圓、五百万圓ノ税金ヲ取ル爲ニ、此ノ強大ナル組織ヲ持ツテ居ル產組聯合ニ對シマシテ、漫然ト政府ガ唯税金ヲ取りサヘスレバ宜イト云フヤウナ考ヲ以テ、國家ノ將來ヲ考ヘズシテ税金ヲ課スルヤウナコトハ、私ハ大政治家ノ執ルベキ態度デハナイト思ヒマス、米ノ配給ニセヨ、其ノ他有ユル問題ニ付テ、今ヤ產組聯合ノ參加ニ依ツテ政治ヲヤツテ行カナケレバナラナイ現狀デアリマス、現實ノ姿デアリマス、此ノ現實ノ姿ヲ無視シテ大藏省ハ税金ヲ課シテ反抗心ヲ抱カシテ、國策ニ對シマシテ協力ヲシナイヤウナ方面ニ仕向ケテ行ク、サウシテ半公的制度ヲ純然タル私經濟團體ニ轉換サセルト云フ政治ヲ執ツテ行クコトハ、

吾々トシテ洵ニ遺憾ニ堪ヘナイト思フデアリマス、斯ウ云フ大キナ立場カラ日本ノ政治ヲヤラナケレバナラヌ、日本ノ政治ハ產組聯合ノヤウナ立派ノ組織ヲ持ツテ居ルモノヲ運用シテ行カナケレバナラヌ、ソレニ依ツテ非常時日本ヲ切抜ケナケレバナラヌト云フ大乗的見地カラ、大藏大臣ハ產組課税問題ニ付テ深イ考慮ヲ致サナケレバナラヌト思ヒマス、私ハ豫言シマス、サウデアナイト必ズヤ是ハ大キナ政治問題ニナツテ來マス、私ハ此ノ點ニ付キマシテ、櫻内大藏大臣ノ明快ナル御答辯ヲ願ヒタイト思フデアリマス

○櫻内國務大臣 此ノ問題ニ付キマシテハ、度々答辯ヲ致シテアリマスガ、更ニ御答辯申上ゲマス、產組聯合ハ勿論、商業組合、工業組合、斯ウ云フ公的使命ヲ持チマシテ特別法人ニ對シマシテ、特別法人稅ト云フモノヲ課スルコトガ、適當デアルカ否カト云フコトニ付キマシテノ御議論デアリマスガ、本來ノ使命カラ申シマシテ、是ハ相成ルベク課税ヲ致サナイノガ宜イノデアリマス、併シナガラ今日ノ時勢ニ鑑ミマシテ、產組聯合、各組合員ニ對シテ委託ヲ受ケタ其ノ取扱數量等ニ比例シテ還付スル配當金、是ハ課税ノ標準トハ致シテ居ラナイノデアリマス、隨ヒマシテ若シ產組聯合ニ於キマシテ其ノ方面ニ總テ向ケテシマフト云フコトニナリマスレバ、課税ノ基準ハナクナツテ來ル、又剩餘金ガ三分以上ニ達シタ場合ニ於テノ課税ヲ致スノデアリマシテ、而モ其ノ課税タルヤ普通一般ノ法人ニ對スル課税ト異ツテ、稅率ヲ半額ト致シテ居ルノデアリマス、今日ノ時代ニ於テ產組聯合ノ各位ガ、國家ノ國策ニ副ウテ協力セラレテ居

○櫻内國務大臣 此ノ問題ニ付キマシテハ、度々答辯ヲ致シテアリマスガ、更ニ御答辯申上ゲマス、產組聯合ハ勿論、商業組合、工業組合、斯ウ云フ公的使命ヲ持チマシテ特別法人ニ對シマシテ、特別法人稅ト云フモノヲ課スルコトガ、適當デアルカ否カト云フコトニ付キマシテノ御議論デアリマスガ、本來ノ使命カラ申シマシテ、是ハ相成ルベク課税ヲ致サナイノガ宜イノデアリマス、併シナガラ今日ノ時勢ニ鑑ミマシテ、產組聯合、各組合員ニ對シテ委託ヲ受ケタ其ノ取扱數量等ニ比例シテ還付スル配當金、是ハ課税ノ標準トハ致シテ居ラナイノデアリマス、隨ヒマシテ若シ產組聯合ニ於キマシテ其ノ方面ニ總テ向ケテシマフト云フコトニナリマスレバ、課税ノ基準ハナクナツテ來ル、又剩餘金ガ三分以上ニ達シタ場合ニ於テノ課税ヲ致スノデアリマシテ、而モ其ノ課税タルヤ普通一般ノ法人ニ對スル課税ト異ツテ、稅率ヲ半額ト致シテ居ルノデアリマス、今日ノ時代ニ於テ產組聯合ノ各位ガ、國家ノ國策ニ副ウテ協力セラレテ居

ルト云フ點ニ付キマシテハ、私モ之ヲ認メ
マスルガ、同時ニ斯様ナル剩餘金ノアツタ
場合ニ於テ、多少ノ負擔力ガ出來タ場合ニ
於テ、普通法人ニ課セラレタル所ノ半額程
度ノモノ、而モ其ノ以外ニハ課稅ガナイノ
デアリマスガ、サウ云フ程度ノ税金ヲ納メ
ルト云フコトハ、私ハ日本ノ産業組合ノ諸
君ハ必ズ協力シテ呉レルモノト、斯様ニ信
ジテ居ルノデアリマス、若シ是ガ取扱數量
等ニ比例シテ、配當スルモノニマデ課稅致
スト云フコトニナリマスレバ不都合デアリ
マスケレモ、左様デハナイノデアリマス
カラ、私ハ今日ノ時局ニ鑑ミテ産業組合ノ
人々ガサウ反對サレルモノデハナカラウ、
又サウ云フコトハナサラナイ、斯ウ云フ風
ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○伊藤委員 是ハ澤山論ジタ問題デスカラ
私ハ此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、次ニ私
ハ酒ノコトニ付テ詳シク御尋致シタイノデ
アリマス、清酒釀造ハ我國ニ於ケル主要工
業ノ一ツデアツテ、釀造高ハ昭和四年頃マ
デハ四百五十万石内外ヲ上下シテ居ツタノ
デアリマスガ、不況ノ最モ甚シカツタ昭和
七年ニハ三百二十八万石デ、昭和九年ニハ
四百万石ニマデ戻ツタノデアリマスガ、十
年ニハ再ビ三百八十万石ニ減ジ、十一年ニ
ハ四百二十八万石ニ殖エタノデアリマス、
其ノ後十一年度ノ造石高ニ對シテ一割減ヲ
實行シ、十三年度ニハ節減率ヲ一割三分ニ
増加シ、更ニ十四年ニハ企畫院方面ノ要求
ニ依リマシテ、十一年度ノ實績ニ付テ更ニ
四割八分ノ減石ヲ致シマシテ、今日ハ二百
二十八万七千石ヲ釀造スルコトニ相成ツテ
居ルノデアリマス、而シテ普通玄米一石ニ
付テ清酒約一石五斗ヲ造ルコトガ出來ル

ノデアルカラ、二百二十八万七千石ノ清酒
ヲ造ルニハ、百五十三万石ノ玄米ヲ潰スコ
トニナルノデアリマス、サウシテ減石ノ前
四百三十万石ヲ造ルニハ、玄米三百万石ヲ
要スルノデアリマスカラ、酒ノ四割八分減
ノ結果、玄米ハ僅カ百四十七万石ノ節約ト
ナルニ過ギナイノデアリマス、今假ニ四百
三十七万石ノ清酒ヲ造ツタトスレバ、男子
人口一人當リ一年約二斗飲ムコトガ出來ル
ノデアリマス、之ヲ四割八分減ノ二百二十
八万七千石トシマスレバ、一人當リ一年僅ニ
一斗シカ飲ムコトガ出來ナイノデアリマス、
之ヲ一箇月ニ計算スレバ八合デアリマス、
一日ニスレバ三勺足ラズデアツテ、四日ニ一
合德利ヲ一本シカ飲ムコトガ出來ナイ、吾
吾ノ考デハ少クトモ二日ニ一合德利一本ヲ
飲マセテヤリタイト云フノデ、此ノ質問ヲ
致スノデアリマス、是ハ實ニ小サイヤウナ
問題デアリマスケレドモ、併シナガラ國民
大衆ニ及ボス影響ハ洵ニ大キイノデアリマ
ス

然ラバ問題ハ日本ノ米穀事情ハ百四十三
万石ダケ餘分ニ、酒造米トシテ廻シ得ルカ
ドウカト云フ點ニアルノデアリマス、昭和
十四年度ニ於ケル米ノ第二回豫想ハ、六千
五百万石デアツタノニ對シマシテ、此ノ度
ノ實收ト致シマシテハ六千九百万石ニナツ
タノデアリマス、大體四百万石ト云フモノ
ハ殖エテ居ルノデアリマス、島田農林大臣
ノ發表スル所ニ依リマスレバ、來年度ハ
少クモ四百七十七万石以上、五百万石程
度ヲ持越シ得ルデアラウト云フコトデアリ
マス、御承知ノ如ク酒ノ減石ヲシタノハ、
農林省ノ米穀收穫豫想ガ非常ニ少カツタ爲
ニ、企畫院ハ是デハ大變ダト思ツテ、遂

ニ酒ノ四割八分節減ヲ主張シタトノコト
デアリマス、併シナガラ今日ノ發表ニ依リ
マスレバ、幸ニモ米穀ハ豫想ニ反シ五百万
石ヲ持越スコトガ出來ルヤウニナツタノデ
アリマスカラ、是ニ於テ私ハ大藏大臣ニ御
伺ヲ致シタイノデアリマス、斯ウ云フ米穀
事情ニナツタノデアルカラ、此ノ際思切ツ
テ更ニ酒ヲ元通りニ造ラシテ貫フコトハ出來
ナイデアラウカ、是ハ稅ノ増收ノ點カラ考
ヘテモ、造ラセタ方ガ宜イデハナイカト思
フ、酒稅ノ増收ノ點ヨリ考ヘテ見マスルト、
玄米百四十七万石デ二百万石ノ酒ヲ造ルコ
トガ出來ルノデアリマスカラ、之ニ對シテ
税金ハ約九千万圓モ課カルノデアツテ、此
ノ九千万圓ダケ政府ノ收入ニナルノデハナ
イカト思フノデアリマス、而シテ若シ此ノ
酒ヲ以前通り國民大衆ニ飲マセテ呉レルナ
ラバ、今一番問題ニナツテ居ル石炭ノ増産、
米ノ増産、木炭ノ増産、其ノ他軍需品ノ増
産等、有ニル生産力擴充方面ニ非常ナル好
影響ヲ齎スモノデアルト思フノデアリマス、
加之今日一番心配ニナツテ居ルノハ、此ノ
酒ノ減石以來到ル處ニ水酒、及ビ惡酒ガ橫
行致シマシテ、國民ノ體位ヲ損ネルコト洵
ニ甚大ナルモノアリト思フノデアリマス、今
ハ冬デアルカラマダ餘リ酒ガ腐ツテ居ナイ
ガ、若シ四月、五月、六月ニナツタナラバ、
此ノ惡イ酒ノ爲ニ恐ラク到ル處ニ胃腸ヲ害
シ、或ハ腦ヲ病ム者ヲ生ジ、有ニル方面ニ
於テ非常ナル障礙ヲ起スノデハナイカト思
フノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマシ
テモ、稅收ノ點カラ考ヘテモ、生産力擴充
ノ上カラ考ヘテモ、ヤハリ元通りニ酒ヲ飲
マセテヤラウト云フ御考ハナイデアリマセ
ウカ、特ニ私ガ一言申上ゲタイノハ、酒ノ

節減ヲシテモ決シテ節米ニハナラナイト云
フ事實デアリマス、御承知ノ如ク東北或ハ
其ノ他ノ農村ニ於テハ酒ヲ飲マナケレバ餘
計米ヲ食フノデアリマス、是ハ現實ノ姿デ
アリマシテ、吾々モ經驗ガアリマスガ、酒
ヲ飲メバ飯ハ食ハナイノデス、一體大藏省
ノ方々ノ中ニハサウ云フコトヲ知ラナイ方
ガ多イノダラウト思ヒマス、サウ云フヤウ
ナ關係上、酒ヲ減石シテモ決シテ節米ニハナ
ラナイ、ソレナラバヤハリ或ル程度酒ヲ飲
マセテ國民ニ希望ヲ持タセルコトガ必要デ
ハナイカト思フ、ソレニ此ノ減石ヲシタ爲
ニ到ル處ニ密造ガ殖エテ居ルト云フコトハ、
大藏大臣ハ既ニ御氣付ノコトト思フノデア
リマス、サウシテ此ノ密造ハ、稅務署ノ役
人ノ決シテ發見ガ出來ナイヤウナ方法デ密
造ラシテ居ル、是ハ山中或ハ遠イ所デ、
絕對ニ發見出來ナイヤウナ方法デ造ツテ居
リマス、此ノ密造ノ結果、米ノ冗費ハ洵ニ
莫大ナルモノガアルノデアリマス十萬石、
二十萬石ノ騒ギデハアリマセス、何百万石
ト云フ米ガ全國ニ於テハ減ルノデアリマス、
大藏大臣ハ此ノ有様ヲ十分認識シテ徒ニ酒
ヲ飲ムコトヲ中止スルヤウナ、所謂小兒病
的ナ政治ハ執ルベキモノデハナイト思フノ
デアリマス、ソコハ一ツ大藏大臣大イニ勇
斷ヲ揮ハレマシテ、是ハ全國國民大衆ノ輿論
デアルカラ、セメテ今日ノ行詰ツテ居ル日
本ニ於テハ、二日ニ德利一本ノ酒位ハ飲マ
セテヤラウト云フ溫イ御氣持ヲ以テ、此ノ
酒ノ減石ニ付テ御考慮セラレナケレバナラ
ヌト思フノデアリマス、吾々ハモウ有ニル
方面カラ、今日酒ノ減石ノ結果非常ニ士氣
ニ影響ヲ及ボシテ居ルコトヲ聞イテ居ルノ
デアリマスカラ、願クハ此ノ際大藏大臣ハ

此ノ吾々ノ聲ヲ御酌取り下サイマシテ、ドウニカシテ酒ヲ元通り造レルヤウニ御骨折ヲ願ヒタイノデアリマスガ、之ニ付テ、大藏大臣ニ御答辯ヲ願ヒマス

○櫻内國務大臣 酒ガ必ズシモ贅澤品ニアラズシテ、是ガ所謂國民大衆ノ生活ノ必需品ノ一部ヲ成シテ居ルコトハ私之ヲ認メマス、隨ヒマシテ酒ノ減石ハ成ベク避ケタイト考ヘテ居リマシタガ、御承知ノ通り米ノ減收ガ朝鮮及ビ關西ノ早魃ノ爲ニ意外ニ多ウゴザイマシテ、其ノ結果國民ノ主食物タル米ヲドウシテモ確保シタイト云フ見地カラ、酒ノ造石ヲ減ラシテ節米スルト云フ方針ガ研究セラレテ今日ニ至ツテ居ルノデアリマス、御話ノ通り本年ハ既ニ二百万石カラノ減石ヲ致シ、之ヲ稅ノ方カラ申スト一億圓以上ノ減收ニナルノデアリマシテ、出來レバ増石致シタイノデアリマスガ、米ハ食料品デアリマスカラ、酒ハ節シテモ米ノ供給ダケハ確保シナケレバナラヌノデ、一面ニ於テ節米ヲシ、一面ニ於テ酒ノ造石ヲ減ラシテ米ヲ捻出シ、又外米モ買ツテ、現在米ノ需給ノ安定ヲ圖ツテ居ル譯デアリマス、ソレデ今後ニ於テ酒ノナイ爲ニ勞働者階級其ノ他ノ人々ノ能率ガ減少スルトカ、或ハ國民大衆唯一ノ慰安デアアル酒ノ減石ノ爲ニ、非常ニ迷惑サレルヤウナコトガ起リ易イ懸念モアリマスノデ、

此ノ點ニ付キマシテハ私、就任以來種々研究致シマシタケレドモ、當時ハマダ米ノ生産ガ確保サレルト云フコトニナツテ居リマセズ、又實ハ本年度ニ於テハモウ今日デハ米カラ酒ヲ造ルト云フコトハ時期ガ遅レテ居ルノデアリマス、其ノ意味ニ於テ酒ヲ二百万石カラ減少スルト云フコトハ、有産階

級ニ於テハ隨分高イ酒ヲ飲ミマスカラ手ニ入りマセウガ、將來國民大衆ガ困ラレハシナイデアアラウカト云フコトヲ懸念致シマシテ、是ガ對策ヲ只今考究致シテ居リマス、其ノ對策ニ付キマシテ今是レノ方法ニ依ツテ斯ウスルト云フコトハ申上ガ兼ネマスケレドモ、其ノ點ニ付テハ深キ考慮ヲ拂ツテ居ルト云フコトヲ申上ガテ置キマス、明年度以降ニ於キマシテハ十分ナル研究ヲ拂ツテ、相當増石シテ行カナケレバナラヌト云フコトダケハ考ヘテ居リマスガ、之ヲドノ程度ニ於テ増石スルカ、ドウ云フ風ニヤルカト云フコトニ付テハ今確定シテ居リマセズ、併シ其ノ點ニ付テノ御趣旨ノアル所ハ正シイ御意見デアリマスカラ、當局ニ於テモ十分考ヘマシテ少シデモ増石致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○伊藤委員 大藏大臣ノ御理解アル御答辯ヲ戴キマシテ、酒ヲ飲ム國民ハ洵ニ喜ンデ居ルコトト思ヒマス、只今ノ御話デハ今年モ相當應急策ヲ講ゼラレルヤウナ御話デアリマス、來年ハ一ツ昭和十一年頃ノ四百三十万石程度ノ造石ヲスルヤウニ御盡力下サイマスタラバ、大藏大臣ニ對シマシテ國民ハ悉ク感謝ノ意ヲ表スルト私ハ思フノデアリマス、國民大衆ニ代ツテ私ハ御願ヲ致シマス、何卒右實現アランコトヲ希望シテ已マナイノデアリマス

次ニ私ハ通行稅ノコトヲ一ツ尋ネル積リデスガ、ドウモ鐵道大臣ガ來ナイノデ…… ○堀切委員長 鐵道大臣ハ來テ居ラレマセヌガ、通行稅モヤハリ稅ノ中デスカラ、一ツ大藏省ノ方ニ御質問願ヒマス ○伊藤委員 通行稅モ稅ノ中ダサウデスカラ、大藏大臣ニ一ツ御質問申上ゲマス、大藏

大臣ハ行通稅ヲ決定セラレル前ニ、全國到ル處御旅行セラレタコトト思フデアリマス、上野カラ東北線ニ一タビ乗ツテ見タ方ハ、アノ鐵道ノ殺人的混雜ヲ一體ドウ見ルノデアリマセウカ、私ハ此ノ間山形カラ仙臺ニ廻ツテ上野ニ來タノデアリマスガ、仙臺カラ上野マデ二等列車モ、三等列車モ全ク立錫ノ餘地モナク、定員ノ二倍モ三倍モ縮詰詰詰ツテ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ食堂列車ニ實ニ仙臺カラ上野マデ頑張ツテ漸ク上野ニ着イタノデス、サウシテ其ノ食堂ニ乗ツテ居ルオ客ハ、皆物ヲ食フ爲ニ乗ツテ居ルノデアリマセズ、自分ノ場所ガナイ爲ニ仕方ナシニ食堂列車ノ椅子ニ腰ヲ掛ケテ、餘リ食ヒタクモナイ物ヲ澤山註文シテ長期抗戰ヲ續ケルノデス、恐ラクサウ云フ姿ハ東北線バカリデハアリマセズ、私ハ毎日東海道線ヲ見マスケレドモ、アノ東海道線ノ混雜ハ一體ドウデス、モウ小學校ノ生徒、或ハ中學校ノ生徒、女學校ノ生徒ハ全然汽車ニ乘レナイデ、漸ク乘レバアノ汽車ノ出入口ノ所ニブラ下ツテ、サウシテ漸ク學校ニ通ツテ居ルヤウナ狀態デス、ソレカラ朝軍需工場ニ職工ガ出勤スル時間、所謂「ラッシュアワー」ノ有様ヲ見マスルト、實ニ危險此ノ上モナイ所ノ混雜振リデアリマス、斯ウ云フヤウナ今ノ汽車ノ工合ト云フモノハ、全ク人間ヲ荷物ニ扱ツテ居ルト私ハ思フノデス、人間扱シテナイノデス、サウ云フ風ニ人間ヲ荷物ニ扱ツテ、サウシテ税金ダケハ一ツ増稅シヨウト云フコトガ私ハイケナイト云フノデス、通行稅ハ課ケテモ宜イ、課ケルナラ課ケルヤウニシテ、チヤント吾々ヲ定員ダケ乗セテ十分ニ東海道ニモ東北ニモ行ケルヤウニシテ、サウシテ

税金ヲ下サイ、斯ウ云フノガ立派ナ態度デアリマセヌカ、ソレヲヤラナイデ、何デモカデモ税金ヲ取りサヘスレバ宜イト云フヤウナ考デ、三等ノ人ニモ二等ノ人ニモ、定期券ニ對シテマデモ全部税金ヲ課ケル、増稅ヲスルト云フ、サウ云フ考ヘ方ハ私ハ果シテ正シイデアアラウカト云フ考ヲ以テ、此ノ通行稅法案ヲ見テミタノデス、現在ノヤウナ鐵道ノ乘客ニ對スル扱ヒ振リデ、一體税金ヲ取ルダケノ資格ガアリマセウカ、是ハ大藏大臣ハ鐵道大臣ト御打合せニナラナイデ、税金ヲ課ケルヤウニシタノデハナイカト思ツテ居ルノデスガ、如何デセウ、恐ラク間違ツテ通行稅法案ヲ出シタト思フノデアリマスガ、ソレナラバ撤回シテ貰ヒタイノデアリマス、少クとも今日ノ鐵道省ニ於テハ税金ヲ取ル資格ハナイト私ハ思フノデス、之ヲ改善シテ呉レルナラバ税金ハ拂ツテモ宜イト思フ、定員ノ三倍モ四倍モ乗セテ置イテ非常ナル儲ケヲシテ居ルカラ、鐵道省ハ最近ニナイ大黒字デス、私ハ今數字ヲ持ツテ居リマスガ、莫大ナル儲ケヲシテ居ツテ、アア云フ「サービス」振リデアツテ税金ダケ取ルト云フコトデハイカヌト思フノデス、之ニ對シテ大藏大臣ハ一體如何ナル御考デゴザイマセウカ

○櫻内國務大臣 最近乘客ガ非常ニ殖エマシタト同時ニ、荷物ガ非常ニ増加致シテ居リマス、交通問題ハ私ノ管轄外デアリマスケレドモ、私ノ考ヘテ居ルコトヲ申上ゲマセズ、ヤハリ交通ノ問題デモ、電力ノ問題デモ實際其ノ局ニ當ツテ居ル者ハ、數年ノ先ヲ見透シテ計畫ヲ立テナケレバナラヌト思フノデアリマス、其ノ計畫ガ誤リマス、ト其ノ後ニナツテ、今鐵道大臣ガ假ニ此處ハ參リ

マシテモ、今日只今御話ノ如キ輻輳スル状態ヲ緩和スルノニ適切ナル方法ヲ以テ、伊藤君ノ御話ガアリマシタカラ尤モダカラ、明日カラ緩和致シマスと言フテモ、ソレハ實際實行ハ出来ナイノデアリマス、ソレハ私モ毎朝實ハ「ラツシニ・アワー」ニ山ノ手線ノ電車ニ乗リマスガ、全ク詰詰ト言フカ、何ト言フカ殆ド危険ヲ感ズル位デアリマス、ソレデモ近イ所ハマダ宜シイノデアリマスガ、長途ノ旅行ヲ致シマスノニハ、先ヅ伊藤君ノ如キ健康ノ方ハ宜イガ、年老イタ方ヤ、女、子供ナドハ全クオ氣ノ毒千萬デ、其ノ點ニ付テハ全ク御意見ノ通りデアリマス、隨ヒマシテ此ノ前ノ前田鐵道大臣ノ時分デアリマシタガ、東海道ニ於キマシテハ更ニ複線ヲ、下關マデ設ケルト云フ計畫ヲ立テマシテ、今其ノ實行ニ著手シツツアリマス、併シナガラハハヤハリ數年掛ルノデアリマシテ、今直グノ間ニハ合ヒマセヌ、是ニ於テ今ノ間ニ合ハス爲ニ色々ナル運轉系統ヲ變ヘマシタリ、或ハ一等車ヲ全廢シ、二等車モ殆ド廢メテ、出來ルダケ三等車ニシテ運搬スル、ソレカラ又從來ノ連結車ヲ更ニ増加シテ、ソレヲ牽引スル、斯ウ云フ狀況デアリマスケレドモ、其ノ交通上ノ色々ノ施設ヲ致シマスヨリモ、人ノ交通ガ更ニ一層多クナリマシテ、今日ハ鐵道ノ交通計畫ト云フモノガ、人ノ交通スル量ニ追付イテ行カスト云フ風ナ狀況ニアリマス、ソレデモ其ノ點ニ付キマシテハ鐵道省ニ於テ最近是ガ前途ノ見透シヲ付ケテ、サウシテ有ユル計畫ヲシテ居ルヤウデアリマス、私其ノ計畫ノ内容ヲ存ジマセヌカラ何レ鐵道當局カラ御説明申上ゲルト思ヒマスガ、將來ニ對スル計畫ヲ立テ進ンデ居リ

マスケレドモ、今日ノヤウナ有様デ人ガ殖エ貨物ガ殖エルト致シマシタナラバ、鐵道ノ方ノ増設並ニ鐵道ノ設備改良ニ對シマシテハ、非常ナ考ヲ持ツテ思切ツタ計畫ヲ立テナケレバ相ナラヌト考ヘテ居リマス、ソレニ付キマシテハ鐵道省ニ於テモ、相當ノ具體案ヲ持ツテ居ルコト存ズルノデアリマシテ、適當ノ機會ニ於テ鐵道省カラ御説明申上ゲマス、而シテ通行稅ニ對スル問題デアリマスガ、昔ハ——昔ト申シマスト甚ダ何デスケレドモ、從來人間ノ足ニ課稅スルコトハ、總テノ經濟上ノ發達ヲ阻害スルモノダト云フノデ、通行稅ト云フモノハ可ナリ議論ガアツテ取り止メタヤウナ次第デアリマスガ、ソレガ十三年カラ又通行稅ガ出來マシテ、更ニ今回斯ウ云フ風ナ増稅ヲ致スノデアリマスケレドモ、伊藤君ノオ話ノ如ク、税金ハ上ツテモ設備ヲ完全ニシタラ宜シイガ、設備ハ不完全デアツテ、人間ノ扱ヲシナイヤウナ狀態デアツテ税金バカリ取ルノハ不都合ダト云フ話ハ、私モ傾聽致シマスガ、兎ニ角運搬設備ヲ改良致シマシテ、サウシテ國民ノ要望ニ副フヤウニ一面致シマス同時ニ、先ヅ通行稅ト云フモノモ少シハ出シテ貰フ、已ムヲ得ナイ人ハ何デスケレドモ、是デ高イト云フ觀念デ、遊山ナドニ行ク人ガ高クナツタカラト云フテ少シ減ツテ呉レバ宜イト思ヒマス、併シオ話ノ如ク設備ヲ完備スルコトニ付キマシテハ、私共モ鐵道大臣ニ協力致シマシテ、サウシテ完備致シマシテ進ンデ行キタイト思ヒマス、通行稅ニ對シマシテハ從來ノ例ヲ逐ウテ、サウシテ今回ノ稅制ノ増稅ト相比例シテヤハリ之ニ多少手ヲ著ケタ譯デアリマス

○堀切委員長 伊藤君、只今ノ御質問ハ洵ニ御尤モナ御質問デス、大藏大臣カラ御説明ガアリマシタガ、更ニ鐵道大臣ニ適當ナル機會ニ來テ戴イテ、是非ハ徹底的ニ何トカ方法ヲ講ジテ貰ハナケレバ全ク困ルト思ヒマス、過般ノ大阪ノ顛覆事件ノ如キ、全ク定員ノ何倍カノ人ヲ乗セタト云フヤウナノモ確ニ或ル一ツノ原因ニナツテ居ルト思フ、人カ貨物カ分ラヌヤウナコトデ税金バカリ上ゲラレテハ困ル、是ハ御尤モナ御質問ト思ヒマスカラ、適當ナル機會ニ是非ハ十分説明ヲ願ツテ、計畫ヲ示シテ戴クト云フコトニ致シテ、次ノ問題ニ移ツテ戴キタイト思ヒマス——取敢ズ運輸局長カラ……

○伊藤委員 折角來ラレタノデスカラ、ソレデハ今度ハ鐵道省關係ヲ一ツ伺ヒマス

○堀切委員長 運輸局長ハ只今ノ御質疑ヲ聞イテ居ラレナイサウデスカラ、モウ一度搔擗ンデ簡單ニヤツテ戴キマセウ

○伊藤委員 只今委員長カラ御話ノアツタ如ク、今日ノ鐵道省ノ旅客ヲ扱フ扱ヒ振リト云フモノハ、吾々ヲ人間視シナイデ、動物視シテ居ル、物的視シテ居ルト云フヤウナ狀態ニナツテ居ツテ、定員ノ三倍モ五倍モ乘セテ居ルト云フコトハ洵ニ不屈デアル、ソコデ之ニ對シマシテ鐵道省ハ如何ナルモ具體的案ヲ以テノ狀態ヲ緩和セントスルカ、斯ウ云フノガ只今ノ質問ノ要點デアツタノデアリマス、第一ソレカラ承リタイト思ヒマス

○長崎政府委員 只今ノ伊藤サンノ御質疑ハ洵ニ御尤モナ御話ト思ヒマス、是ハ私カラ申上ゲルマデモナイノデアリマシテ、御話ノ通り御客サンヲ御客サンノ取扱ヲシナイヤウナ混雜振リデアアルノデアリマス、是

ハ洵ニ私共トシマシテモ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマス、唯此ノ際一應話ヲ聞イテ戴キタイト思ヒマスノハ、御客サンノ増加、貨物ノ増加ト云フモノハ、昭和十一年即チ日支事變ガ勃發致シマス前年度ニ比ベマスト、十四年——今年ノ年度ハマダ締切ツテ居リマセヌガ、アト一箇月カソコラデ濟ミマスノデ、推定ヲ加ヘマシテ想定ヲシマスト、極ク内輪ニ見積リマシテモ大體五割殖エテ居ルノデアリマス、所ガ一方客車デゴザイマストカ、線路ノ延長デアリマストカ、職員ノ數デアリマストカ云フヤウナ方面ヲ眺メテ見マス、是ハ色々々々關係、生産力ノ關係モゴザイマス、又資材ノ關係モゴザイマス、人手ノ關係モゴザイマスガ、各方面デソレ等ノ需要ガ非常ニ多イノデアリマシテ、私共ガ企畫致シマスヤウナ資材ノ増加、ソレカラ人手ノ増加ト云フコトガ思フ通りニ參リマセヌ(伊藤委員「ソナナコトヲ聞イテ居ルノデアリマセヌ、是カラドウスルカト云フ點デス」)其ノ狀況ハ大體五割ト云フヤウナ増加ニハ追隨シナイ、併シナガラソレダケデ吾々ハ放ツテ置ク譯ニハ行カナイ、是ハドウシテモ何トカシナケレバナラヌト云フノデ、或ハ出來ルダケ車ノ修繕ヲモ手早クヤルトカ、從來豫備車トシテ居ツタモノヲ全力ヲ擧ゲテ運轉スルトカ云フヤウナ方法、或ハ又運賃ノ方面カラ出來ルダケ團體トカ或ハ割引ノ御客サント云フモノヲ廢メマシテ、サウ云フ御客サンニハ成ベク出テ戴カナイヤウニ、自肅シテ戴クト云フヤウナ方法モ執ツテ居ルノデアリマス、併シナガラソレ等ノ方法ハ皆何ト申シマシテモ消極的ナ方法デアリマシテ、又鐵道ヲ利用サレル方々ノ御協力ヲ得ナクテ

ハナラナイ問題ナリデアリマス、私共ガ成
ベク急用ノナイ方ニハ遠慮シテ戴キタイト
幾ラ申シマシテモ、相當ニ用アル御客サ
ンガアルノデアリマシテ、ソレ等ノ御客サ
ントノ差別ト云フヤウナコトハ是亦中々難
カシイ問題ナリデアリマス、併シナガラ或
ハ出勤ノ時間ノ喰違ヒヲ或ル程度ヤツテ戴
クト云フヤウナ方法、又先程申シマシタヤ
ウニ今年ナドハ團體ノ取扱ハ一切廢メマシ
タ、ソシナヤウナコトドドウヤラヤツテ來
テ居リマスガ、御話ノ通り向ホ混雜ガ中々
緩和出來ナイ、之ニ付テ過般來モ各官廳其
ノ他民間ノ方々ニモ寄ツテ戴イテ、ドウ云
フ風ニシテ自肅自戒シテ行クガ、又旅客ヲ
制限シテ行クカト云フ方面ニ付テ著々計畫
ヲ進メテ居リマス、其ノ一ツノ現ハレトシテ
ハ、是ハ多分實行出來ルカト思ヒマスガ、文部
省方面ト協力致シマシテ、學生ノ休暇トカサ
ウ云フヤウナモノヲ少シ喰違ハシテ、休暇ノ
旅行ノ時ニ餘リ混雜シナイヤウニシヨウデハ
ナイカト云フヤウナ話合モシテ居ルノデア
リマス、大體ソシナヤウナコトデゴザイマ
ス

○伊東委員 ドウモ運輸局長ハ洵ニ消極
的、退嬰的ナ方針ヲ以テ進ンデ居ラレマス
ガ、ソシナコトデハ此ノ行詰ツテ居ル所ノ
鐵道政策ヲ完遂スルコトハ斷ジテ出來ナイ
ト私ハ思フ、モット一ツ根本的ニ國家ノ大
局ニ眼ヲ注イデ、鐵道ガ國防上産業上及ボ
ス影響ガ甚大デアルト云フ大乗的ノ立場カ
ラ、抱負經綸ヲ立テテ之ヲ實行スルダケノ
心ガナケレバ、今ノ鐵道省ハ何ヲシテ居ル
カト言ハレテモ是ハ返ス言葉ガナイト思フ
ノデアリマス、サウデハアリマセヌカ

○長崎政府委員 其ノ設備ノ積極的ナ仕事
ニ付キマシテハ、私共ノ方デハ昭和十三年
事變勃發直後ニ於キマシテ、容易ナラナイ
輸送量ノ増加ヲ來スノデハナイカト云フ想
定ヲ致シマシテ、實ハ輸送量擴充ノ四箇年
計畫ト云フモノヲ立テテ居ルノデアリマス、
ソレヲ毎年大藏當局ト折衝シマシテ、此ノ
實行ヲ著々進メテ居ルノデアリマス、是ハ
併シナガラ十六年位マデ掛ラナケレバ出來
ナイカト思ヒマスガ、是ハ他日豫算ノ分科
會デモ御質問ガアリマシテ御答ヲ致シタノ
デアリマスガ、サウ云フ積極的ナ計畫モ立
テテ居ルノデアリマス

○堀切委員長 今ノ御話デハ、各方面ノ自
肅ヲ希望シテ居ル、修學旅行ナドモ自肅シ
テ貫フト云フコトデアアルガ、鐵道省内部ノ自
肅ハ果シテドレダケ行ハレテ居リマスカ、
從來東北地方ナドノ汽車ニ乗ツテ見ルト、
何時モ大キクナツテ威張ツテ居ルノハ大抵
鐵道省ノ人デス、殊ニ關係家族マデアレニ
乗セルノハ餘リニヒドイデハナイカ、例ヘ
バ大藏省ノ專賣局デ專賣局員ガ煙草ヲ一擱
ミツツ「ボケット」ニ入レテ來テソレヲ家族ニ
渡シテモ宜イカト云フ問題ニモナリマス
（「ヒヤ〜」鐵道省ノ内部ノ自肅ハ一體出
來テ居リマスカドウカ、相變ラズ家族ナドハ
此ノ混雜ノ際ニモ只デ乗ツテ居リマスカ
○長崎政府委員 之ニ付キマシテハ嚴重ナ
通牒ヲ出シテ居リマシテ、遠慮スルヤウニ
言ツテ居リマス

○堀切委員長 元來サウ云フコトヲヤツテ
モ宜イノデスカ、政府ノヤツテ居ル事業ニ
對シテ各省デ從業員及ビ其ノ家族ト云フモ
ノニ特別ノ待遇ヲ與ヘル、サウ云フコトヲ
ヤツテモ宜イモノカドウカ、特別ニ「サー
ビス」ヲ鐵道省ノ從業員ノ家族ニノミ與ヘ
ルト云フコトハヤツテモ宜イモノデアアルカ
ドウカ、從來ハヤツテ居タノデアリマセウ
ガ……

○長崎政府委員 ソレハマア混マナイ場合
ニハ從來ヤツテ居リマシタノデスカ、今日
ノヤウニ混雜シテ參リマスト、或ル時期非
常ニ混雜スルヤウナ場合ニ於テハ、サウ
云フ待遇ヲ止メルヤウニシテ居リマス
○伊藤委員 ドウモ運輸局長ヲサウ追及シ
テモドウカト思ヒマスカラ、大臣ガ來マシ
タ時ニ一ツ大イニヤリマスカラ、大臣ニ其
ノ御準備ヲシテ置クヤウニ御願致シマス、
併シ運輸局長ガ出デニナツテ居リマスカ
ラ、此ノ際御尋シテ置カナケレバナラナイ
一ツノ緊急問題ガアルノデアリマス、ソレ
ハ昨日カラ今朝ニ掛ケテ新聞ニ載ツテ居リ
マスル山形縣ノ米坂線ノ荒川ニ於ケル雪
崩ニ因ル列車顛覆事件デアアルノデアリマス、
此ノ問題ハ私ハ實ハ大阪ノ「ガソリン・カー」
事件以上ノ大キナ問題デアラウト思フノデ
アリマス、鐵道大臣ハ先般議場ニ於テドウ
云フコトヲ吾々ニ言明シタカ、再ビ斯ル問
題ヲ起サヌヤウニ十分注意スルト言ツテ置
キナガラ、其ノ舌ノ根ガ乾カナイ内ニ、實
ニ此ノ恐レベキ事件ガ再ビ登場シテ參ツタ
ノデアアル、是ハ吾々ハ相當眞剣ニ此ノ問題
ヲ研究致シマシテ、鐵道省ノ責任ヲ追究シ
ナケレバナラスト思フノデアリマス、一度
ナラズ、二度、應テ三度アルデアラウ此ノ
問題ヲ、吾々議員トシテ放任スルコトハ斷
ジテ出來ナイノデアリマス、唯一片ノ善處
ヲスルト云フヤウナ答辯ニ依ツテハ吾々
ハ承服スルコトハ出來ナイ、特ニ私ハ今
日甚ダ不愉快ナルコトハ、新聞紙ノ記事
ヲ讀ミマスルト、鐵道省ハ之ニ對シテ責任

ガナイカノ如キコトヲ發表致シテ居ルノデ
アリマス、私ハ新聞ノ記事其ノ儘ヲ一ツ
朗讀致シマシテ、反省ヲ求メタイト思フノ
デアリマス、「雪崩ニ依ル不可抗力」ト云フ
題デ「列車顛落火災事件」ニツキ新潟鐵道局
デハ玉置局長以下關係者ハ舉ゲテ善後策ヲ
考究中デアアルガ、差當リ乘客ニ對スル慰藉
方法ヲ講ズルタメ、慘事突發ト共ニ文書課
賠償係三名現場ニ急派調査セシメルト共ニ、
一方本省法規課ト連絡ヲトリ打合中デ、六
日朝法規課員ノ來町ヲ見ル管デアアルガ、問
題ハ慘事ノ原因ガ何處ニアルカニアツテ、
大阪安治川「ガソリン・カー」慘事ノ如キ責
任ガ鐵道側ニアルコトハ明瞭トナツタ場合
ハ鐵道省トシテハ多額ノ弔慰金ヲ支出シナ
ケレバナラヌガ、今回ノ慘事ニツイテハ新
潟鐵道局トシテハ雪崩ニヨル不可抗力ト發
表シテキルトタメ、今ノ處多額ノ慰藉金ハ困
難デアルト當局ハ觀テキル」斯ル新聞記事
ガ出テ居ルノデアリマス、私ハ此ノ新聞記
事ガナケレバ斯ノ如キ緊急質問ヲシナカッ
タノデアリマス、併シナガラアレダケノ慘事
ヲ爲シ、アレダケノ犠牲者ヲ出シテ、サウ
シテ雪崩ニ因ル不可抗力ナリト稱シテ責任
ヲ逃ントスルガ如キ鐵道省ノ態度ニ對シテ
ハ、吾々ハ斷ジテ默視スルコトハ出來ナイ
ノデアリマス、雪崩ハ不可抗力デハアリマ
セヌ、雪崩ハ設備ノ如何ニ依ツテハ之ヲ防
止スルコトガ出來ルノデアリマス、是ノ防
止ヲシナカツタノガ鐵道省ノ責任デアツテ、
鐵道省ノ責任ハ明々白々デアリマス、是ハ
大阪ノ「ガソリン・カー」事件ト同ジク、之ニ
對シマシテ最高ノ弔慰方法ヲ講ジナケレバ
ナラスト云フコトヲ信ジテ已マイナノデア
リマス、運輸局長ハ之ニ對シマシテ、如何

ガナイカノ如キコトヲ發表致シテ居ルノデ
アリマス、私ハ新聞ノ記事其ノ儘ヲ一ツ
朗讀致シマシテ、反省ヲ求メタイト思フノ
デアリマス、「雪崩ニ依ル不可抗力」ト云フ
題デ「列車顛落火災事件」ニツキ新潟鐵道局
デハ玉置局長以下關係者ハ舉ゲテ善後策ヲ
考究中デアアルガ、差當リ乘客ニ對スル慰藉
方法ヲ講ズルタメ、慘事突發ト共ニ文書課
賠償係三名現場ニ急派調査セシメルト共ニ、
一方本省法規課ト連絡ヲトリ打合中デ、六
日朝法規課員ノ來町ヲ見ル管デアアルガ、問
題ハ慘事ノ原因ガ何處ニアルカニアツテ、
大阪安治川「ガソリン・カー」慘事ノ如キ責
任ガ鐵道側ニアルコトハ明瞭トナツタ場合
ハ鐵道省トシテハ多額ノ弔慰金ヲ支出シナ
ケレバナラヌガ、今回ノ慘事ニツイテハ新
潟鐵道局トシテハ雪崩ニヨル不可抗力ト發
表シテキルトタメ、今ノ處多額ノ慰藉金ハ困
難デアルト當局ハ觀テキル」斯ル新聞記事
ガ出テ居ルノデアリマス、私ハ此ノ新聞記
事ガナケレバ斯ノ如キ緊急質問ヲシナカッ
タノデアリマス、併シナガラアレダケノ慘事
ヲ爲シ、アレダケノ犠牲者ヲ出シテ、サウ
シテ雪崩ニ因ル不可抗力ナリト稱シテ責任
ヲ逃ントスルガ如キ鐵道省ノ態度ニ對シテ
ハ、吾々ハ斷ジテ默視スルコトハ出來ナイ
ノデアリマス、雪崩ハ不可抗力デハアリマ
セヌ、雪崩ハ設備ノ如何ニ依ツテハ之ヲ防
止スルコトガ出來ルノデアリマス、是ノ防
止ヲシナカツタノガ鐵道省ノ責任デアツテ、
鐵道省ノ責任ハ明々白々デアリマス、是ハ
大阪ノ「ガソリン・カー」事件ト同ジク、之ニ
對シマシテ最高ノ弔慰方法ヲ講ジナケレバ
ナラスト云フコトヲ信ジテ已マイナノデア
リマス、運輸局長ハ之ニ對シマシテ、如何

ガナイカノ如キコトヲ發表致シテ居ルノデ
アリマス、私ハ新聞ノ記事其ノ儘ヲ一ツ
朗讀致シマシテ、反省ヲ求メタイト思フノ
デアリマス、「雪崩ニ依ル不可抗力」ト云フ
題デ「列車顛落火災事件」ニツキ新潟鐵道局
デハ玉置局長以下關係者ハ舉ゲテ善後策ヲ
考究中デアアルガ、差當リ乘客ニ對スル慰藉
方法ヲ講ズルタメ、慘事突發ト共ニ文書課
賠償係三名現場ニ急派調査セシメルト共ニ、
一方本省法規課ト連絡ヲトリ打合中デ、六
日朝法規課員ノ來町ヲ見ル管デアアルガ、問
題ハ慘事ノ原因ガ何處ニアルカニアツテ、
大阪安治川「ガソリン・カー」慘事ノ如キ責
任ガ鐵道側ニアルコトハ明瞭トナツタ場合
ハ鐵道省トシテハ多額ノ弔慰金ヲ支出シナ
ケレバナラヌガ、今回ノ慘事ニツイテハ新
潟鐵道局トシテハ雪崩ニヨル不可抗力ト發
表シテキルトタメ、今ノ處多額ノ慰藉金ハ困
難デアルト當局ハ觀テキル」斯ル新聞記事
ガ出テ居ルノデアリマス、私ハ此ノ新聞記
事ガナケレバ斯ノ如キ緊急質問ヲシナカッ
タノデアリマス、併シナガラアレダケノ慘事
ヲ爲シ、アレダケノ犠牲者ヲ出シテ、サウ
シテ雪崩ニ因ル不可抗力ナリト稱シテ責任
ヲ逃ントスルガ如キ鐵道省ノ態度ニ對シテ
ハ、吾々ハ斷ジテ默視スルコトハ出來ナイ
ノデアリマス、雪崩ハ不可抗力デハアリマ
セヌ、雪崩ハ設備ノ如何ニ依ツテハ之ヲ防
止スルコトガ出來ルノデアリマス、是ノ防
止ヲシナカツタノガ鐵道省ノ責任デアツテ、
鐵道省ノ責任ハ明々白々デアリマス、是ハ
大阪ノ「ガソリン・カー」事件ト同ジク、之ニ
對シマシテ最高ノ弔慰方法ヲ講ジナケレバ
ナラスト云フコトヲ信ジテ已マイナノデア
リマス、運輸局長ハ之ニ對シマシテ、如何

ナル御考ヲ御持チニナルカ、サウシテ其ノ眞相ヲ若シ御發表出來ルナラバ、詳シク御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス

○長崎政府委員 只今ノ御質疑ニ御答致シマス、鐵道省トシマシテハ別ニ今責任ダトカ何トカ云フコトヲ考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、取敢ズ慘事ヲ惹キ起シタコトニ對スル善後處置、死亡者ノ死體ノ收容、或ハ負傷者ノ病院收容ト云フヤウナコトニ、忙殺サレテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ次第デアリマシテ、其ノ新聞記事ハドウ云フ所カラ起ツタノカ存ジマセヌガ、私ハ大阪ノ「ガソリン・カー」事件ノ時ニモ其ノ現場ヘ行キマシタガ、ヤハリ同ジヤウナ氣持デ行ツタノデアリマス、サウ云フ責任ガ何處ニアルトカ、或ハ何トカト云フヤウナコトハ二ノ次ニシテ、取敢ズ兎ニ角多數ノ人命ヲ害ネタ場合ニ於テハ、ソレヲドウスルカ、其ノ心ダケデ頭ハ一杯ニナツテ居ルノデアリマシテ、今日デモ同ジコトデアリマス、唯此處デ事故ノ模様、只今マデ判明シマシタコトダケヲ御報告申上テ置キタイト思ヒマス、御承知ノヤウニ此ノ事故ハ三月五日、即チ昨日ノ午前八時四十五分、米坂線ノ小國ト玉川ノ間デ起リマシタモノデ、汽車ガ隧道ヲ出マシテ第四荒川橋梁ト云フ橋ノ上ニ於テ雪崩ノ爲ニ、米澤ヲ出テ坂町ニ行ク混合列車、ソレハ機關車ガ一輛、貨車ガ二輛、客車ガ三輛、ソレダケガ川ノ中ニ墜落シタノデアリマス、最後部ノ客車一輛ダケハ墜落ヲ免レテ線路上ニ殘留シタノデアリマス、此ノ事故ノ爲ニ、今朝マデニ判明マ致シマシタ所ニ依リマス、旅客サンデ、亡クナラレタ方ガ九名、負傷ヲサレタ方ガ二十三名ゴザイマス、其ノ他ニ鐵道職員ノ

亡クナツタ者ガ六人、負傷ガ五人、行方不明ガ三人、郵便ノ係員ガ一人、行方不明ニナツテ居ルノデアリマス、之ニ對スル應急ノ處置トシマシテハ、事故發生ト共ニ直グニ多數ノ御警者サント看護婦ヲ急派スル、又附近ノ青年團、警防團ノ方々ノ非常ニ御好意ノアル應援ヲ戴キマシテ遭難者ノ救援、負傷者ノ收容ト云フコトニ努力シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ大體今日マデノ模様ニナツテ居リマス

○伊藤委員 此ノ問題ニ付テハ運輸局長ニ餘リ質問シテモドウカト思ヒマス、此ノ程度ニ止メマセヌガ、運輸局長ハ一日モ早ク此ノ善後策ニ努メラレシコトヲ希望致シマシテ、私ハ之ヲ以テ質問ヲ終リマス

○堀切委員長 ソレデハ午後一時十五分ヨリ又始メマス、是デ休憩致シマス

午後零時十分休憩

午後一時三十九分開議

○堀切委員長 開會致シマス——森田君

○森田委員 先ヅ大藏大臣ニ御尋致シマス、他ノ委員諸君カラ相當論議サレテ居リマスガ、私ハ又私ノ觀點カラ御尋申上テ御答辯ヲ願ヒタイト存ジマス、是ハ私ハ大藏大臣ニ、少クモ私等ト同ジヤウナ考ヲ持ツテ居ル國民ノ誤解ヲ解ク爲ニ御答辯願ヒタイト思フノデアリマス、生産ノ擴充ト増稅トハ相反セヌト云フコトガ、今マデノ御答辯デハ私ニハ肯定致シ兼ネテ居ルノデアリマス、又生産擴充ト低物價政策ハヤハリ一致シナイノダト云フ考ヲ吾々ハズツト持ツテ來テ居リマス、政府ノ諸君ハ、生産擴充ト低物價政策ハ兩立出來ルカノ如ク機會アル毎ニ言ウテ居ラレマス、ソコデ私ハヤハリ自分

ノ質問スルノニ意見ヲ加ヘテ申上ゲナイトドウカト思ヒマスガ、生産ノ擴充ハ眞劍ニ圖ルベキカ、或ハ此ノ低物價政策、消費ヲ抑ヘテ行キ、アル物ヲ食ヒ延バシテ行クト云フ政策デ行クベキカ、ドウチカニ決メテ行カナケレバ、政府トシテモ、ヤハリ行カウトシテ居ル間ニ破綻ヲ來スノデハナイカ、生産擴充ヲ眞劍ニヤラウト云フナラ、其ノ方角ニ方針ヲ導イテ行カウシ、ソレハ到底低物價政策ト相容レナイカラ、生産擴充ハ口デハ唱ヘルガ、其ノ方面ハ出來ルダケデ宜シイ、先ヅアル物ヲ食ヒ延バシテ行カウト云フナラ取り様ガアルト思フ、其ノドウチカヲ採ツテ行カナイデ、ドウチ附カズノ方針ヲ採ツテ行クト、蛇蜂取ラズニナルノデハナイカ、私ニハドウモサウトシカ考ヘラレナイ、先ヅ第一ニ今回ノ生産擴充ト増稅トハ相反セヌト云フコトニ付テ、大藏大臣ハ屢、産業ノ擴充ト云フガ、今日産業ノ發展トカ發達トカ云フ言葉ハ使ハナクテモ宜イト思ヒマス、今日ハ一ツノ事業ヲ必要ダト思ツテ起サウトシテモ、資金調整法デアルトカ、有ユル統制法ニ依ツテ中々許可認可ヲセラレナイ、甚ダシキハ一年經ツテモ——大藏大臣ハ御承知カドウカ知ラナイガ、吾々ハ其ノ方面ノコトヲ知ツテ居リマス、昨年ノ五月ニ資金調整法ニ依リ認可ノ申請ヲシタノデ、今日ニ至ルモマダ許可スルトモセヌトモ決ツテ居ラナイモノガアルコトヲ私ハ知ツテ居ル、サウ云フヤウナ状態デアルカラ、政府ガ何ト云フモ生産擴充ニ氣乗ガシテ居ラナイコトハ明カデアリマス、サウシテ今度ノ増稅ト、生産擴充ヲヤツテ行カウト云フ其ノ産業資本家——日本ニハ金融資本家ト産業資本家ト二ツアツテ、其

ノ點英吉利トハ違ヒマス、英吉利デハ金ヲ持ツテ居ル者ガ自ラ事業ヲヤルガ、日本デハ金ヲ持ツテ居ル者ハ銀行ニ預ケル、ソレヲ借リテ事業ヲヤツテ居ル者ガ大體産業資本家デアアル、今日ガソジ堀ミニサレテハ、統制經濟ノ下ニ有ユルモノヲ認可許可デヤラウト云フ段取りニナツテ、假ニヤツタトシテモ、大體公定價格ハ何レモ生産價格ヨリ低メニ置イテ、何レモ闇取引ニ依ツテ其ノ場ヲ濟マシテ居ルノデアアルガ、若シ政府ノ公定價格ヲ守ツテ行クナラバ、假ニ一圓ノ原價ノモノガ公定價格ハ九十錢ニナツテ居ルノガ、今日ノ實情デアアル、サウ云フ風ニシテ行クナラバ、事業家ハ手ヲ出サヌデセウ、今試ミニ此ノ間ノ資料、資本金二百萬圓ノ會社ガ一割カラ二割五分マデノ間ノ利益ヲ得タ場合、之ニ金ヲ出シタ人間ノ負擔ハ幾ラニナルカト云フ計算ヲシテ貰ツタモノヲ見ルト、會社ノ諸稅金ヲ拂ヒ、個人ノ稅金ヲ拂フト、二百萬圓ノ資本デ一割二十萬圓、儲ケタ場合ニハ約八萬圓ノ收入ガアル、二割五分ノ五十萬圓儲ケタ場合ニハ十二萬七千餘圓ノ手取りニナル、所ガ此ノ中ニハ落チテ居ルモノガアリマスヨ、私ハ知ラス額ヲシテ配ラレタ資料ヲ頂戴シテ居ルガ、臨時利得稅ヤ營業稅及ビ其ノ附加稅ダケデハナイ、今度ノ法律デハ都市計畫稅モ課ケルコトニナツテ居ル、此ノ點ハ法律ニモアルノデアアルカラ、ソレヲ計算ニ加ヘナケレバナラヌガ、是ハ本當ニ計算スル人ガドウ考ヘタノカ知ラヌガ、落シタノカ、忘レタノカ、委員ハソコマデ知ラヌデアアラウト云フノデヤツタノカ、其ノドウチカニ屬シテ居ルト思フ、其ノ他ニマダ會議所ノ負擔モアル、營業稅一圓ニ付幾ラト云フ負

擔方アル、又都市計畫稅モ要ルシ、政府ノ制限外課稅等色々ノ税金ガ要ルノデアルガ、政府ノ出シテ居ル資料ノ通りニ貫フニシテモ銀行ノ金利ニモ足ラズ、其ノ差ハ大變ナモノガアリマス、今日銀行デハ年六分六分ハ貸サヌ、アナタノ監督シテ居レル興業銀行トカ政府ガ助成シテ居ルモノナラバ別問題デアルガ、サウデナイ限リ六分七厘、七分一厘ト云フヤウナ計算デアアル、六分ト計算シテモ借リタ金デハ利子ニウント足ラナイト云フヤウナ状態デ、是デ生産ノ擴充ガ出來ルトカ、産業ヲ現狀維持シテ行カウト云フコトハ困難デアルト思ヒマスガ、假ニソレヲ何トカ維持シテ行カウト云フニハ、税金ヲ納メルニ付テハ金利ノ餘裕ダケハ見テヤツテ、尙且ツ事業家ハ相當危險ヲ感ジテ行クノデアアル、會社ヲ起セバ必ズ儲カルトハ決ツテ居リマセヌ、是ハ會社ニ關係シテ居ラレタ人ナラ能ク分ルノデアリマシテ、會社ヲ作ラナケレバ工場ハ出來ナイノデアリマス、サウ云フモノヲ作ツテ行ケバ必ズ儲カルト決ツテ居レバ、五分デモ六分デモ自分ノ金ヲ持ツテ居ル人ハ或ハ自分デアルカモ知レヌガ、大抵ノ産業資本家ハ可ナリ高イ利子ノ金ヲ借リテヤツテ、株價ノ上ルノヲ見込ムカ、配當ガ上ルヤウニシナケレバナラヌカラ、サウ云フ風ナ研究ヲシテ行クガ、配當ハ今日抑ヘテシマツテ居ル、大體一割以上儲ケテモイカヌ、儲ケサセナイヤウニシテシマツテ居ル、サウスルト税金ヲ拂ツテ銀行ヘ持ツテ行ク金利ガナイガ、ソレデモヤルデセウカ、今マデノ大藏大臣ハ事業ヲヤツタコトガナイカラ、ソレデモヤルト言フカモ知レヌガ、アナタノ常識デドウデスカ、ソレハ樂シミノナイ、妙味ノナイ

コトデアアルガ、國家ノ爲デアルカラヤルダラウト仰シヤラレルカモ知レヌガ、國家ノ爲ニヤルト言ツテモ人間ハヤハリ欲ノアルモノデス、物質欲ノナイ者ハ、危險ナ一線ニ立ツ産業ニ手ヲ出シハシマセヌ、ソレヨリ公債ヲ持ツカ、銀行ニ預金ヲシテ行キマス、何程カノ利益ガアルトカ、儲ケルト云フコトガ目ノ先ニ見エナケレバ産業ニ手ヲ出サヌノデハナイカト思フノデアリマスガ、大藏大臣ハ此ノ點ドウ御考ニナリマスガ、櫻内國務大臣、先ヅ第一ノ御尋ハ、増稅ガ生産擴充ニ反セヌカドウカト云フ御尋デアリマスガ、増稅致シマス、其ノ結果トシテ生産擴充ノ上ニ於テ多少ノ影響ガナイツト云フコトハ私申シマセヌ、隨テ増稅ヲ致スニ際シマシテハ、生産擴充ニ惡影響ヲ及ボサザルヤウニ十分注意シテ、假令影響スル場合ガアリマシテモソレガ最小限度デ済ムヤウニ考慮致シテ立案シテ積リデアリマス、ソレカラ低物價政策ト生産擴充トニ付テ、ドツチニ重キヲ置イテ居ルノカ、低物價政策ナラ低物價政策、生産擴充ナラ生産擴充ト自ラ方針ヲ決メテ行ツテ然ルベキデハナイカト云フ御話デアリマスガ、ソレハ私森田サンノ意見ト少シ異ツテ居ル所ガアリマス、物價政策ヲ根本的ニ解決致シマスノニハ、生産ノ擴充ガ出來テ、生産品ガ澤山ニ出テ、民間ノ需要ニ應ジテ生レル場合ニ於テハ、私ハ物價ハ低落スルト思ツテ居リマス、若シ生産擴充ガ出來ズ、物資ガ足ラズシテ、需要ガ多イ場合ニハ物價ハ騰貴致スト考ヘテ居リマス、然レ今日ノ日本ノ實情カラ申シマス、生産擴充ヲ致スコトガ色々ナ資料ノ關係其ノ他種々ノ關係ニ於テ困難ニナツテ居ル、隨テ所謂一般ノ物

資ニ付テハ生産ガ年々増加シツツアル趨勢ガ、或物ハ停滞シ、或物ハ其ノ進歩ガ少クナツテ居リ、或物ハ減ツテ居ル、斯様ナ關係ニ對シテ、反對側ノ需要ノ方ハ非常ニ増大シテ來タ、資金ハ非常ニ澤山社會ニ撒布セラレテ、購買力ガ殖エタ、一方ニ於テ購買力ガ殖エタ、ソレデ供給スル所ノ品物ガナイ、不足シテ居ル、斯ウ云フ建前カラ物價ガ騰貴致スト云フコトニナツテ居ルコトハ自然ノ勢デアラウト思ヒマス、故ニ根本的ニ低物價政策ト云フモノヲ完遂致シマスノニハ、是ハ或ル程度ハドウシテモ生産擴充ヲ致シマシテ、需要ニ應ズルダケノ物資ガ生産ヲサレルヤウニナルト云フコトガナケレバ、本當ノ低物價ニハナラヌト思ヒマス、又低物價トスルノニ非常ニ困難デゴザイマス、法ノ力ヲ以テバカリ致シマシテモ、是ハ容易ニ其ノ成績ヲ舉ゲルコトガ難カシイデハナカラウカト思ツテ居リマス、ソレデ現在ハ御承知ノ通り今ノ生産擴充ハ十分ニ行カナイ、品物ハ足ラヌ、資金ハ澤山出ル、斯ウ云フ關係カラシテ物價ガ騰貴スルト云フヤウナ状態ニナツテ居ルノデアリマシテ、生産擴充ト低物價ト云フモノガ必ズシモ矛盾スルトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、併シ今御話ノ如ク、今日ノヤウナ時代ニ於テハドウデアアルカト云フト、物價ヲ高クシテ——物價ヲ高クスレバ生産擴充ノ方ガ、是ハ經濟界ノ實情ニ對シマシテ儲カルト云フコトニナレバ皆一生命ニナツテ作ル、隨テ生産擴充ガ出來ル、物價ヲ安クシテ置イテ生産ヲシロト言ツテモ生産ガ擴充出來ナイ、是ハ御話ノ通りデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ私共モ深く考慮ヲ致サナケレバナラヌト思ヒマス、況ヤ

今實例トシテ御舉ゲニナリマシタ所ノ生産費ハ殆ド一圓内外デアアル、公定價格ハソレガ九十錢位デアアル、斯ウ云フコトニナリマス、ソレハ生産ガ不可能ニナツテ來ルト思ヒマス、不可能ニナレバ更ニ物資ガ不足ニナツテ値段ハ上ツテ來ル、勢ヒ閣取引ガ起ツテ來ル、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、故ニ低物價政策ト云フ言葉ハ、不適正ナル價格ニ依ツテ低物價政策ヲヤツテモソレハ繼續シナイト私ハ思フ、即チ適正ナル物價ヲ決定致シマスノニ際シテ、出來得ル限リ低物價ニ即應シテ、無駄ヲ省イテ、サウシテ安イ値段ニ依ツテ生産ヲスルヤウニサセテ、サウシテ其ノ生産シタルモノガ多少ノ利潤ヲ含ンダモノデ賣買スルト云フヤウニ致サナケレバナラヌト思ヒマス、即チ適正ナル價格、此ノ適正ナル價格ヲ定メマスニ際シマシテハ、所謂低物價政策ノ見地カラ、有ユルコトヲ考慮シテ、適正ナル物價ヲ定ムベキデアルト考ヘテ居リマス、斯様ナル見地カラ私ハ此ノ物價政策ト生産擴充トハ實ハ車ノ兩輪ノ如キ關係ヲ持ツモノデアルト思ヒマス、其ノ點ニ此ノ經濟政策ヲ立テテ、サウシテ指導シテ行クガ適當ナ方法デアルト存ジテ居ルノデアリマス、而シテ現在ノ事業家ト云フモノハ金融資本家トハ違フ、金融資本家ト産業資本家トハ自ラ違ツテ居ツテ、サウシテ金融資本家ハ金ヲ貸シ、或ハ預金トシ、或ハ國債ヲ持ツテ其ノ利子ヲ以テ多ク行ツテ居ルガ、産業資本家ハ所謂自分ノ金モ無論投ズルノデアルケレドモ、一面ニ於テ銀行カラ借入金ヲシ、其ノ他カラ借入金ヲシテ事業ヲ營ンデ、其ノ事業ノ利益ノ向上、竝ニ株式デアアルナラバ、其ノ株式ノ格價ノ昂騰ト云フコトヲ

目的トシテ、サウシテ其ノ事業ニ熱心ニナ
ツテヤツテ居ル、此ノ際ニ一割ト云フ今ノ
例ヲ御擧ゲニナリマシタガ、二百萬圓ノ會
社ニ於テ二十萬圓儲ケテモ僅ニ七分位ニシ
カナラスコトニナル、斯ウ云フ御話デアリ
マス、ソレハ事實私モサウ思ヒマス、現在
ノ大體ノ方針ハ今御話ノ如ク、割見當マデ
ハ六分配當カラ一分ツツ上ゲテ行ツテ、一
割ノ配當マデハサセルノデアルガ、其ノ一
割ノ配當ヲ致シマスノニハ實際ノ利益率ハ
一割四分ト五分ニナラナケレバ、出來ヌ
ノデアリマセウ、其ノ程度マデハ認メテ行
ク、而シテ今ノ利益ノ一割ノ場合ニ於テノ
例デアリマスガ、成程税金トソレカラ銀行
カラ借りテ居ル金利トヲ拂ヒマスレバ、ソ
レハ實際ニ於テ殆ド手ニ一文モ入ラズシテ
無駄奉公ラスルト云フヤウナ狀況ニナルノ
ミナラズ、場合ニ依ツテハ持出シラシナケ
レバ仕事ガ出來ヌト云フヤウナ場合ガ多々
アルト思ヒマス、隨ヒマシテ私ガ此ノ間ノ
委員會デモ申シマシタ通り、日本ノ今日ノ
事業界ノ現狀ハ、金融資本家ト事業資本家
トハ違フノデアルカラ、此ノ産業資本家ガ
仕事ラスル場合ニ於テ株式ヲ擔保ニ置イテ、
即チ其ノ事業資金ヲ得ル爲ニ要スル所ノ金
利ト云フノハ引クノガ當リ前デアアル、即チ
從來ハソレヲ引カズシテハ配當ノ方ノ課税
ヲ二割控除スルダケデアリマシタガ、今度
ハ其ノ方ハ廢メテ代リニハ、其ノ企業ニ要
シタル所ノ資本金ノ利子ハ所謂利益ヲ得ル
所ノ經費トシテ之ヲ引ク、單ニ株式ノ問題
バカリデナク、當リ前ノ個人ノ事業ニ於テ
モ、其ノ資本金ニ對スル所ノ利子ハ引クト
云フコトニ致シマシタカラ、其ノ點ニ付キ
マシテハ今回ノ税制ハ大分緩和ザレタト私

ハ考ヘルノデアリマス
○森田委員 海軍ノ方ハ御見エニナツテ居
ルヤウデスガ、陸軍ノ方ハ御見エニナラヌ
デセウカ、一緒ノ方ガ私ハ都合ガ好イノデ
スガ……
○堀切委員長 陸軍ノ經理局長ハ本省ニ用
事ガ出來テ御歸リニナツタサウデス、後程
見エルダラウト思ヒマスガ、海軍ノ方ハ御
居デニナリマスカラ、ソツチカラ先ニヤツ
テ下サイ
○森田委員 私ノ申上ゲルコトヲ御聽キ願
ツテ、海軍ト陸軍ト相談ヲシテ御返事ヲ願
ツテモ結構デス、私ハ軍部ニ御尋シテ見タ
イコトハ一點シカナイ、殷賑産業ト云フカ、
軍需産業ト云フカ、此ノ方面ガ非常ニ隆盛
ヲ極メ、且ツ非常ナ利潤ヲ擧ゲルト云フコ
トノ原因ハ何處ニアルノデアリマスカ、陸
海軍共軍需ノ註文ハ單價ハ或ル程度ハ無理
ノ點マデ切下ヲ要求サレテ居ルヤウニ私ハ
承知シテ居リマス、船舶ノ備料ノ如キハ
恐ラク市場ノ半値位ニ下ゲテ居ル、サウス
ルトドウシテ斯ウ云フ方面ガ殷賑ヲ極メ
カト云フ原因ハ御調ニナツテ居リマスカ、
御調ニナツテ居リマセヌカト云フコトデア
リマス、海軍ノ方デ若シ御調ニナツテ居
バ今御返事ヲ戴ケバ、ソレニ引續イテ御質
問ヲ申上ゲテモ宜イト思ヒマス

○武井政府委員 只今御尋ノ意味ガ實ハ私
ハツキリ了解シ兼ねルノデアリマスガ、非
常ニ隆盛ニナツテ居ルト云フノハ、儲ケガ
多クテ隆盛ニナツテ居ルト云フ意味デアリ
マスカ、或ハ其ノ方面ノ事業ガ盛大デ煙突
カラ盛ニ煙ガ出テ居ルト云フ意味デアリマ
スカ、若シ後ノ意味デアリマスレバ、豫算
面ヲ見マシテモ此ノ數年間ニ五倍六倍ノ大

キサニナツテ居リマスカラ、殷賑デアアルノ
ハ當然ノコトデアリマス、又ウント儲ケガ
アルカト云フコトデアリマスレバ、海軍ニ
關スル限り私共ノ調ベテ居ル範圍デハ大シ
ク儲ケハナイト見テ居リマス、是ハ森田サン
モ既ニ御承知ト思ヒマスケレドモ、數字デ
今記憶ノ儘ヲ申上ゲマスレバ、海軍デ今註
文ヲ致シテ居リマス會社ノ製品ノ中、一割
以上ヲ海軍ニ納メテ居ルモノダケヲ採リマ
シテ約五十社ノ利益率ヲ調ベタモノガアリ
マス、率ニ致シマシテ一割四分五厘程度、
一割三分ノモゴザイマス、配當ニ致シマ
シテ七分見當、最近ノ事業年度ノ計算デア
リマスガ、サウ云フ實情デアリマスカラ、
非常ニ儲ケ過ギテ居ルト云フ意味ノ御尋デ
アリマスレバ、ソレハ海軍ニ關スル限りハ
大口ノ註文ヲシテ居ル所ニハナイト申上ゲ
テ宜イト思フノデアリマス、唯ソレ等ノ會
社ニ材料、原料等ヲ供給スル子會社方面ニ
ナリマスレバ、是ハ吾々ノ直接ノ關係デア
リマセヌノデ十分取調モシテ居リマセヌシ、
又取調ベタ所デ、儲ケ過ギル、モウ少シ減
ラシタラドウカト云フヤウナ話合ヒモ付キ
兼ネル、サウ云フ狀況ニアリマス、ソレダ
ケ御答致シマス

○森田委員 私ノ御尋ガ分ラナカツタラシ
イ、二通りノ意味デ御答ニナリマシタガ、
ヤハリ殷賑ヲ極メルト云フコトハ、工場ガ
多クナルコトモアリマスガ、利益ノ點デア
リマス、ソレカラ今御答辯ノ中ニ儲カラナ
イ、配當ハ平均シテ七分デアアル、或ハ總利
益ハ一割四五分デアルト仰シヤツタガ、ソ
レハ決算報告面デセウ、ソレハ私ハ不足致
シマセヌ、併シ御承知ノ通り今日ノ税金ハ、
色々ナ名目ヲ付ケテ非常ニ搾取スルカラ、

合理、合法的ニ、社内配當ト云フトラカシ
イデスガ、サウ云フヤウナコトヲヤツテ居
ル、今日汽車ニ乗ツテ見テモ、大抵ノ軍需
會社ノ課長ハ一等ニ乗ツテ居ル、又軍需工
業會社ニ居ル職工ハ、少イ人デモ日給五六
圓、多イ人ハ十四五圓モ取ツテ居ル、ダカ
ラ此ノ方面ノ人ハ如何ニモ儲ケテ居ル、此
ノ點ハアナタ方ニ原因ガ分ツテ居ルカト云
フコトヲ御尋シタノデアリマスガ、今ノ答
辯デハ、其ノ原因ガ御分リニナラヌノデア
リマスカ、ドウデスカ、分ツテ居リマスカ
○武井政府委員 ソレハ二三目ニ著ク方面
デ、今仰シヤツタヤウナ如何ニモ儲ケ過ギ
テ居ルト御感ジニナル點モアルカト思ヒマ
スガ、私共ノ大量觀察デハ、サウハ考ヘナ
イノデアリマス、内容的ニ立入りマシテ、
其ノ會社ノ實情ガドウデアアルカト云フコト
ニナリマス、今日マデノ所ハマダ調査致
シテ居リマセヌ、御承知ノヤウニ、昨年ノ
十月ニ軍需品工場事業場検査令ト云フモノ
ガ發令サレマシテ、ソレニ基イテ關係會社
ノ原價ノ計算ヲコチラ側デ進ンデ行フ、監
査ヲスルト云フ制度ガ確立致シマシタカラ、
ソレニ依リマシテ將來ハ内容的ニ分析シテ
見ルコトニナルト思ヒマス、今日マデノ所
ハ、表面カラ取調ベテ、先程御答シタヤウ
ナ程度ニ承知シテ居ルダケデアリマス

○森田委員 御答ハ能ク分リマシタ、是ハ
私ノ見テ居ル觀察デアリマスガ、私ハ陸軍
ニセヨ、海軍ニセヨ、アノ軍需工場ハ註文
サルルモノノ單價ガ高イトハ思ツテ居リマ
セヌ、無理ヲ言ウテ、總テノ物ガ上ツテ居
ルニモ拘ラズ、一割下ゲロトカ五分下ゲロ
トカ値切ツテ居ラレル、ソコデ軍部ハ納メ
ル物デ儲ケテ居ルノデハナイ、是等ノ關係

○武井政府委員 只今御尋ノ意味ガ實ハ私
ハツキリ了解シ兼ねルノデアリマスガ、非
常ニ隆盛ニナツテ居ルト云フノハ、儲ケガ
多クテ隆盛ニナツテ居ルト云フ意味デアリ
マスカ、或ハ其ノ方面ノ事業ガ盛大デ煙突
カラ盛ニ煙ガ出テ居ルト云フ意味デアリマ
スカ、若シ後ノ意味デアリマスレバ、豫算
面ヲ見マシテモ此ノ數年間ニ五倍六倍ノ大

ハ軍部ニアル、サウスレバ軍部ニ納メル物
 デ儲ケヌノ、ドウシテアノヤウニドシ、
 儲カカト云フト、私ハ斯ウ見テ居ル、若
 シ私ノ見テ居ルコトガ違ツテ居レバ御教ヲ
 乞ヒタイノデアリマスガ、陸軍ト云フカ、
 海軍ト云フカ、軍部ノ方デ、要スルニ一口
 ニ申上ゲレバ、色々ナ物ヲ註文セラレル時
 ニ證明ヲ發行ナサル、鐵デアルトカ、色々
 ノ原料ノ買入ノ配給ガ取レルヤウニ證明ヲ
 發行ナサル、私ハ其ノ證明ヲカツチリト一
 ツヤツテ貫ツタラドウカト云フ意見デアリ
 マス、十シカ材料ノ要ラヌ所ニ十三トカ
 十五トカ配給ヲ得ラレルヤウナ證明ヲ
 發行セラレルカラ、サウスレバ鐵デモ
 鋼材デモ公道相場ノ非常ニ安イ物ヲ貫
 ツテ、軍部ヘ納メタ残リデ造ツタ物ヲ非常
 ニ高イ値デ民間ニ供給シテ居ル、今日民間
 ノ方面カラ色々ナ物ヲ買ヒニ行クト、機械
 ハ公道價格ト云フモノガナイ、「リベット」
 一本打ツノ、元ハ二十五錢カ三十錢デ船
 舶ノ修理ガ出來テ居ツタノガ、今日デハ二
 圓、三圓モ掛ルト云フヤウニ高クナツテ居
 ルカラ、軍部ニ納メル物デハ儲カラナイガ、
 此ノ方面デ原材料ノ證明ヲ餘分ニヤラレル
 カラ、ソレニ依ツテ今度民間ノ註文ニ應ジ
 テ行キ居ル結果、其ノ利益ガ非常ナモノデ
 アル、私モ多少其ノ方面ノコトハ知ツテ居
 リマスガ、是ハ成程軍部ノ單價ヲ切下ゲヨ
 ト議會デ註文シテ居ルガ、軍部ノ註文シテ
 居ル單價ハ、アレ以上下ゲト云フノハ無
 理ダ、唯裕トリガ何處ニアルカト言ヘバ、
 是ダケノ仕事ヲ請負ハセタカラ是ダケ材料
 ヲ貫ヘ、經理デ證明シテヤラウト云フノデ、
 非常ニ餘裕アル證明ヲ出シテ呉レルカラ、
 ソレニ依ツテ民間ハ非常ニ配給ガ少クナツ

テ來ルト思ヒマス、其ノ材料ヲ貫ツテ來タ
 人ガ、軍需品ヲ造ツタ残リデ民間ニ供給ス
 ルモノヲ造ル、ソレヲ今度ハ公道價格デナ
 ク、高ク買ハサレテ居ル、ダカラ此ノ方面
 ノ人ハ非常ニ儲カルノダト私ハ思フ、此ノ
 原因ガ陸軍ヤ海軍ニハ分ツテ居ラネバナ
 スガ、ドウデアラウカト云フ心配ヲシタノ
 ト、一番近イ例ヲ申スト、是ナラ何人デモ肯
 定セラレルト思フガ、今日「ガソリン」ノ統制
 ヲ非常ニヤツテ居ル、自家用自動車ハ十一
 「ガロン」、「タクシー」ハ七十五「ガロン」デ
 ハナイカト思ヒマス、ソレガ閣切符ガ一圓
 五六十錢デ手ニ入りマス、一圓五六十錢出
 シテ閣切符ヲ手ニ入レルカラ自家用車ガ乘
 廻サレテ居ルソデ、十一「ガロン」バカリデ
 ハサウ乗廻セハシナイ、是ガドノ方面カラ出
 テ來ルダラウト調ベテ見ルト、大體貨物自
 動車ノ方面カラ出テ居ル、ソレデハ貨物自
 動車ハドウ云フコトデ手ニ入レテ居ルカト
 調ベテ見ルト、軍部ノ荷物ノ運搬ヲ請合フ、
 軍部ノ荷物ノ運搬ヲ請合ヘバ、ソレニ對シ
 テ「ガソリン」切符ヲ餘計貫ヘルヤウニナツ
 テ居ル、ソコデ入用以上ノ「ガソリン」ヲ貫
 フ、十五「ガロン」アレバ宜イ所ヲ二十「ガ
 ロン」、三十「ガロン」貫フ、サウシテ其ノ
 殘ツタモノヲ閣相場デ賣ツテ居ル、石油ハ
 六十五錢カ三錢デ買ヘルノニ、消費者ガ買
 ウテ行ク閣切符ハ非常ニ高イ、私ハア、云
 フノハ、運送業者ニサウ云フヤウナ利益ヲ
 與ヘルヨリモ、運送ヲ請合ウタ人々ニ必要
 ナダケノ證明ヲ與ヘテ、殘リハヤハリ一圓
 五六十錢貫ツテ居ル人々ノ方ニヤツテ貫ヒ
 タイ、「タクシー」營業者ガ七十五「ガロン」
 デハ立ツテ行ケナイト思フ、是ハ私ハ議論
 ノ餘地ハナイト思フ、自家用車モ十一「ガ

ロン」デハドウニモナラヌ、自家用車ニ對
 シテハ今日馬鹿氣タ高イ税金ヲ取ツテ居
 ル、皆ガ不自由シテ居ルナラバ宜イガ、一
 方ニハ一圓五六十錢出セバ切符ハ幾ラデモ
 手ニ入ルト云フヤウニナツテ居ルノハ、私
 ハ海軍トカ陸軍トカ區別シテ言フノデヤナ
 イ、ドウシテ入ルノカ、私ガ探ツタノデハ、
 軍部ノ荷物ノ運搬ヲ請合ツタ貨物自動車
 ガ、警視廳カラ貫フカ商工省カラ貫フカ知
 ラヌガ、「ガソリン」配給ノ證明ヲ貫ツテ、
 殘リハ一圓五六十錢デ賣ツタ方ガ相場ノ三
 倍ニナルカラ利益ダト云フノデヤツテ居
 ル、斯ウ云フ方面ニ少シ頭ヲ御使ヒ願ヘバ
 宜イノデハナイカ、徒ニ軍部ノ註文品ノミ
 單價ヲ御下ゲナサイト言ツテモ、ソレハ無
 理デス、アレ以上言フナラバ、帳簿ニ就イ
 テ御監督ニナツテモ分ル、原料ヲ幾ラデ仕
 入レテ、工賃ハ幾ラ、差引幾ラ儲カルト云
 フコトガ分ルト思フ、今日職工ノ奪ヒ合フ
 ヤツテ、有ユル方法デ職工ヲ募集シテ居ル、
 ソレデモ尙且ツ儲ケガアルト云フノハ、現
 在ノ配給證明ニ裕トリガアル、今ノ「ガソ
 リン」デモ、斯ウ云フ問題ガアルノデサウ云
 フコトガ出來テ來タノデハナイカ、私ガ調
 ベタノデハサウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス
 カラ、ドウカニ軍部ノ方ニ於テモ、註文ヲ
 スルナラ、値切ル、値切ラレルノガ惡イトハ
 言ハヌ、結構デスガ、モウ一ツ抜ケテ居ル
 穴ヲ防グ方法ヲヤツテ貫ハヌト、合法的ニ
 行カヌノデハナイカ、私ハ陸軍ト海軍ニ御願
 スル、國民ニ會テナイ、大キナ増稅ヲヤツ
 テ負擔ヲサセルト云ウテ居ル折ニ、斯ウ云
 フ方面ニ抜ケテ、思ハザル一小部分ノ者
 ニ法外ナ利益ヲ與ヘテ居ルコトヲ無視シテ
 置イテ、此ノ増稅ニ賛成スルコトハ國民ノ

爲デナイト云フ考カラ、兩軍部ノ方ノ御出
 席ヲ願ツタ譯デアリマス
 ○武井政府委員 只今ノ御質問ノ御趣意ハ
 將來大イニ吾々ノ參考ニナリマスノデ、其
 ノ點ハ感謝致シテ置キマス、一言申添ヘテ
 置キマスガ、原材料ノ證明ノ問題ハ、是ハ
 大體海軍デ註文致シマスモノハ、九分九厘
 マデ海軍内部ニ工作廳ガアリマシテ、其處
 デ製造ノ實際ノ經驗ガアリマスルカラ、其
 ノ物ヲ註文スレバ、其ノ爲ニ鋼材ガ幾ラ要
 ル、針金ガ幾ラ要ルト云フコトハ大凡ソ見
 ナ證明ヲスルヤウナコトハ今日マデノ所致
 シテ居ラス答デアリマス、但シ工作上ノ「ミ
 ス」等モナキニシモアラズデ、原材料材料ニモ
 多少ノ「マージン」ヲ付ケルコトハ已ムヲ得
 マセヌガ、此ノ程度ノ、通常アリ得ル「マー
 ジン」ヲ付ケテ證明ヲスル、ソレガ大體
 ノヤリ方デアリマス、固ヨリ多數ノ役所デ
 多數ノ人間ガ證明ノ衝ニ當ツテ居リマスカ
 ラ、時ニハ誤ツテ餘分ノ證明ヲ與ヘルト云
 フコトモ絶無ト申上ゲマセヌガ、大體ノ實
 情ハサウナツテ居リマス、併シ尙ホ只今ノ
 御話ハ大イニ參考ニ致シタイト思ヒマス
 ○森田委員 大藏大臣ハドウデスカ
 ○堀切委員長 大藏大臣ハ十分間バカリ他
 ノ委員會ニ出テ居リマスカラ、モウ暫ク御
 待チ下サイ、海軍ニ對シテ御尋ガアリマシ
 タラ此ノ際如何デスカ——ソレデハ大藏省
 ノ政府委員ニ對シテ御質問ヲ願ヒタイ
 ○森田委員 商工大臣ハ如何デスカ
 ○堀切委員長 政府委員ノ方ニ御質問ヲ願
 ヒタイ
 ○森田委員 私ハ事務ノ問題ニ入ツテ行ク
 コトモ澤山アルノデアリマスガ、ヤリツケ

テ居ラスカラ、順ニ行カスト工合ガ悪イノ
デスガ
○堀切委員長 ソレデハ長野君、アナタハ
事務ノ方ニマダ残ツテ居ツタノデアリマス
ネ

○長野(長)委員 私人産業組合ノ課税問題
ニ付キマシテ、更ニ主税局長カラ一ツ御答ヲ
願ヒタイト思ヒマス、拂込濟出資ニ對スル
剩餘金年三分ニ滿タナイ場合ニ免稅トスル
コトニナツテ居リマスルガ、元來産業組合
ハ、殊ニ信用組合ハ、無限責任、有限保證
責任ト云フノガ常例デアリマス、ソコデ比
較的小額ノ資産ヲ持ツテ居ル者ハ、此ノ出
資金以外ニ、詰リ自己ノ全財産、或ハ大部
分ノ財産ヲ事實上資金ニ提供シテ居ルト同
様ナノデアリマス、然ルニ此ノ免稅點ヲ拂
込出資金ノミニ對スル剩餘金年三分云々ト
云フコトニ相成ツテ居ルコトハ不當デア
ルヤウニ思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ御
伺シタイト思ヒマス

○大矢政府委員 是ハ度々御答致シテ置キ
マシタ通り、剩餘金ノ中、事業ノ分量ニ應
ジテ分配スルモノハ稅課標準ノ中ニ取入レ
ラレテ居ラナイ、結局出資ニ應ジテ配當ス
ル部分ニ付テノ剩餘金ガ課稅ノ對象ニナル
ノデアリマスルガ、是モ餘リ小部分ノ者マ
デモ課稅スルノハ如何カト思ヒマスノデ、
此ノ程度ノ限界ヲ置イタノデアリマス、今
ノ無限責任トノ關係ト云フノハ、直接起ツ
テ來ナイデハナカラウカト存ジマス

○長野(長)委員 併シナガラ事實ニ於テ拂
込出資金、其ノ無限責任又保證責任トシテ、
事實上提供シテ居ル所ノ資産ト云フモノハ、
是ハ資金トシテ提供シテアルト同様ノ意味
ニナツテ來マス、又ソレニ依ツテ茲ニ組合

ノ信用ト云フモノモ確保セラレテ居ル譯デ
アリマシテ、是ハドウシテモ認メナケレバ
ナラス、今日ノ農業方面ノ學問ノ上カラ是
ハ動カスベカラザル鐵則デアルト私ハ信ジ
テ居ルノデアリマス、之ニ對シテハ如何ニ
御考ニナリマセウカ

○大矢政府委員 信用組合等ガ將來大キナ
損失ヲ生ジマシテ、出資者ノ無限責任ニ依
ル補填ヲ要スルト云フ場合ガ生ジマスレバ、
御説ノヤウナ點ガアルノデアリマスケレド
モ、是ハ現實ニ出資シテ居ル金額ヲ標準ニ
スルノガ適當デアツテ、無限責任ノ額ヲ豫
メ協定シテ之ヲ定メルト云フノハ困難カト
存ズルノデアリマス

○長野(長)委員 見解ノ相違ニナリマスシ、
又時間ノ關係ガアリマスカラ是レ以上ハ申
上ゲマセスケレドモ、是ハ更ニ一ツ十分ニ
御研究ヲ願ヒタイモノダト思ヒマス、次ニ
積立金ハ、組合員ガ組合ノ健全ナル發達ヲ
圖ル爲ニ、當然配當ヲ受ケラルベキモノヲ
留保シテサウシテ殘シタモノデアリマス、
又法律ニ依リマシテ或ル部分ニ付テハ積立
ヲ強制セラレテ居ルモノモアルノデアリマ
ス、ソコデ積立テ分ニ對シテハ特別配當
即チ利用高ニ應ズル配當ニ免稅ヲ致シテ居
ルト同様ニ免稅スベキガ當然ノコトデア
ルト思フノデアリマス、然ルニ其ノ考慮ガ此
ノ特別法人稅ノ中ニ加ヘラレテ居ナイノハ
如何ナル理由デアリマセウカ、ソレニ付テ
伺ヒタイ

○大矢政府委員 剩餘金ノアル場合ニ積立
ヲ強制セラレルト云フノハ、私ハ事業ノ分
量ニ應ジテ剩餘金ヲ配當スル場合ニ於テ、
サウ云フ強制ハナイト存ジテ居リマス、出
資ニ對スル配當ヲスル場合ニ一定ノ制限ガ

アルノデ、事業ノ分量ニ應ジテ配當スルト
云フノハ産業組合本來ノ行キ方カト存ジマ
シテ、其ノ點ニ付テ制限ハナカツタノデハ
ナイカト思ツテ居リマス

○長野(長)委員 法定積立金ハ法律ニ依ツ
テ強制的ニ決メラレテ居リマス、之ニ付テハ
主税局長ノ御説明デハ納得行キマセウカ、
是モ能ク御研究ヲ願ツテ置キタイノデア
リマス

次ニ稅法第六條ノ剩餘金三分未滿ニ對ス
ル免稅ハ、當然聯合會ノ方ニモ及ボサナケ
レバナラヌト思フノデアリマス、然ルニ聯
合會ノミ除外ヲ致シテ置ク理由ハ如何ナル
モノデアルカ、其ノ點ニ付テ伺ヒタイ

○大矢政府委員 ソレハ前ニモ御答致シテ
置キマシタ通り、比較的基礎ノ鞏固デナイ
小サナ法人ニ對シマシテノ免除規定デゴザ
イマス、聯合會トナリマスト單一組合ヲ基
礎ニシテ其ノ上ニ立ツテ居ルノデアリマシ
テ、相當基礎モ鞏固デ規模モ比較的大キイ
ノデアリマスカラ、單位組合ト區分スルノガ
適當デアアルカト存ジテ居ル次第デアリマス

○長野(長)委員 主税局長ハ先日私ガ御尋
申上ゲマシタ際ニ、三千圓以上ノ預金ハ四分
ノ一程度デアツテ、主ニ市街地デアルト御
答ニナツタヤウニ思ヒマス、然ルニ其ノ後、
殊ニ大藏省等ノ統計ニ基キマシテ調査シテ
見マスルト、多少見當ガ違ツテ居リハシナ
イカト思フノデアリマス、現ニ昭和十四
年——昨年ノ十二月マデノ市街地信用組合
ノ貯蓄状態ニ付テノ數字ニ依リマスト、特ニ
五十組合ヲ調査シテ綜合シ歸納シ結果ニ
依リマスト、貯金總額ニ對スル割合ハ三千
圓以上ノ貯金ハ三七%、五千圓以上ノ貯
金ハ二五%、即チ四分ノ一ト仰シヤラレタモノハ

五千圓以上ノモノデアツテ、三千圓以上ノ
モノハ三七%モアル、斯ウ云フ數字ヲ得テ居
ルノデアリマス、之ニ付テハ當局トシテハ
如何ナル基礎數字ヲ持ツテ居ラレマスカ

○大矢政府委員 只今御述ニナリマシタ數
字ハ何處ノ調査デゴザイマセウカ

○長野(長)委員 産業組合中央會等ニ於テ
モ發表シタモノガアリマス

○大矢政府委員 私共ノ承知シテ居ル所ニ
依リマスト、十四年中ノ調査ハ出來テ居
ナイト思ヒマス

○長野(長)委員 ソレデハ先日モ御願ヲシ
テ置キマシタガ、大藏省獨自ノ御調査ハ差
當リハ四分ノ一デアアルガ、今調査中デア
ルカラ出來次第成ベク早く廻シテ戴クコトニ
ナツテ居リマスガ、モウ出來タノデアリマ
スカ

○大矢政府委員 大藏省ハ勿論農林省等ニ
付キマシテモ調査致シテ居リマスルガ、未
ダ十分ノ資料ヲ得テ居ナイ、サウ云フ狀況
デゴザイマス

マス

○長野(長)委員 此ノ稅率ガ一般法人ノ百分ノ十八ニ對シテ、特別法人ノ方ハ百分ノ九ト半分ニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ昭和十三年ニ於テ產業組合ト他ノ金融機關トノ收益率ノ大藏省統計ニ發表セラレテ居ル所ヲ見マスルト普通銀行ガ一割九厘一毛、特別銀行ガ二割、信託ガ一割二厘三毛ニ對シマシテ產業組合ハ僅ニ四分四毛ニ過ギナイノデアリマス、此ノ數字カラ推シマスルト、一般ノ法人ニ於キマシテハ利益金ノ百分ノ十八ト致シマシテモ、尙ホ是ハ大分輕イノデアリマス、然ルニ產業組合ノ方ハ四分四毛ト相成リマスト是ハ極メテ重荷デアリマス、大分無理デアルト思フノデアリマス、之ニ對シテハ如何ナル御考ヲ持ツテオ居デニナリマスカ

○大矢政府委員 今ノ產業組合ノ率ノ四分四毛ト云フノハドウ云フ御計算カ存ジマセヌケレドモ、恐ラク總テノ產業組合ノ出資額ニ對スル利益ノ割合カト存ジマス、御承知ノ通り產業組合ノ約半分程ハ殆ド剩餘金ヲ出シテ居ナイト云フ状態デアリマシテ、剩餘金ヲ計上シテ居ルモノニアリマシテモ、其ノ相當程度ノモノガ年三分以下ニナルノデゴザイマス、斯ウ云フ年三分以下ノ剩餘金ノナイモノハ此ノ度ノ課稅ヲ受ケマセヌカラ、サウ云フモノヲ省キマス、收益率ハ必ズシモ低クナイデハナカラウカト存ズル次第デアリマス、銀行其ノ他ノ金融機關ノ方面ニ於テハ、法人稅ノ百分ノ十八ノ外ニ資本ニ對スル稅モゴザイマス、又地方財源ニナル營業收益稅ノ負擔等モアリマシテ、ソレ等ト比ベテ見マシテ、私ハ特別法人稅ノ稅率ガ剩餘金ニ對シテ百分ノ九ト云フノ

ハ、高過ギルト云フヤウナ感ジハ致シテ居リマセヌ
○長野(長)委員 是モ大分見解ノ相違ト思ヒマスカラ、餘リ掘込シテ御尋ハ致シマセヌ
○田中政府委員 昭和十三年末ノ產業組合ノ合計ニ於キマシテ、一組合當リノ出資金ハ一万八千三百六十一圓デゴザイマシテ、剩餘金ハ、一組合當リ一千六百九十九圓デアリマス、出資金ニ對スル剩餘金ノ率ハ約九%程度ニナツテ居リマス
○長野(長)委員 平準化シテアル所ノ地方ニ於キマシテハ、此ノ課稅ニ依ツテ當然資金ノ流出ガ著シクナルノデアリマス、特ニ我國ノ信用組合ハ市街地ニ於テ其ノ傾向ガ著シク現ハレテ來テ居ルノデアリマス、現ニ市街地信用組合ハ關西地方ニ於キマシテハ一錢四厘五毛程度デアツテ、世界ニ於テモ一番低イト云フ風ニ認メラレテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ點ニ於テモ此ノ市街地信用組合ニ付テハ相當ニ保護ヲシマシテ、其ノ堅實ヲ發展ヲ圖リ、中小商工業者或ハ勞働者等ニ對シテマデモ其ノ恩典ノ及ブヤウニ十分力ヲ盡シテ行クコトガ、政府トシテハ大切ナコトデアルト考ヘルノデアリマス、然ルニ之ニ對シテ相當重イ稅ヲ課スルト云フコトハ如何ナモノデアルカ、更ニ先般ハ主稅局長ハ多少大口ノモノガ流レテモ、ソレハ全體ニ影響ヲ及ボサナイト云フ御見解ノヤウデアリマシタケレドモ、私ガ平素調査シタ所カラ考ヘマシテモ大口ノモノガ出マスルト、小口ノモノハ當然ソレニ附イテ流レテ行クノデアリマス、殊ニ市街地ノ信用組合ハ萬一取付等ガ行ハレルヤウナコトニナリマスルト、理事者ガ其ノ資産ヲ提

供シテ行カケレバナラヌ制度ニ相成ツテ居ルノデアリマス、最近此ノ問題ニ付キマシテモ、事實上左様ナ實例ガナイデハナイ、又將來ニ於テモ此ノ點ニ付テハ深甚ノ考慮ヲ拂ツテ行カケレバナラヌト思ヒマス、是等ノ見地ニ立チマシテモ、此ノ稅率ヲ此ノ案ニ依ツテ押進メマスルトハ、頗ル危険デナイカト考ヘルノデアリマス、私ハソレ等ノ點ヲ憂慮スル次第デアリマスルガ、當局ハ之ヲ如何ニ御考ニナリマスカ
○大矢政府委員 信用組合ノ預金ニ對スル利率ハ相當從來高カッタノハ事實デゴザイマス、最近農村ノ方面ニモ相當資金ガ廻ルヤウニナリマシテ、昨年頃ヨリ漸次農村信用組合等ノ預金ノ利率モ下ツテ來タノハ事實デゴザイマスケレドモ、今日デモマダ都會地方面ノモノニ對シテ相當隔リガアルヤウデゴザイマス、市街地信用組合ニ於キマシテモ、ヤハリ普通ノ銀行等ニ比シテ多少高目ニナツテ居ルノデハナカラウカト存ズルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ度是等ノ預金ニ對シマシテ百分ノ五程度ノ課稅ヲ致ストシマシテモ、稅引ノ手取ハ普通銀行ノ預金ニ對シマシテ可ナリ高クナツテ居ルノデアリマスカラ、金利關係、稅引手取ノ關係ニ於キマシテ、此ノ關係ノ課稅ニ依ツテ農村信用組合ノ預金ガ都市ノ方面ニ流レル、或ハ又市街地信用組合ノ預金ガ他ノ金融機關ノ方ニ流レテ行クト云フ風ニハ實ハ考ヘテ居ナイノデアリマス、貯蓄銀行等トハ相似タ點モアリマスガ、貯蓄銀行ノ預金モ此ノ度信用組合ト同ジヤウニ課稅ヲ受ケルノデアリマスカラ、此ノ兩者間ニ於キマシテモ、今回ノ課稅ニ依ツテ資金ノ移動ハ起リ得ナイコトト存ジテ居ルノデアリマス

○長野(長)委員 ソレハ或ハ局長ノ獨斷デハナイカト思ヒマス、事實ハ左様ナ憂慮スベキ傾向ノ事實ノアルモノモナイデハナイノデアリマス、此ノ點ニ付テモ、實際ニ此ノ組合方面ニ於テ調査セラレタモノガアル譯デアリマスカラ、ソレ等ニ付テ大藏當局トシテモ十分御打合せニナツテ御研究願ヒタイト思ヒマス、要スルニ產業組合課稅ノ問題ニ付キマシテハ、非常ニ御親切ナ御答辯ヲ受ケマシタガ、尙ホ私トシテハ、當局ニ於カレテハ數字等ニ付テモウ少シ新シイモノヲ檢討シテ戴キタイ、又御答辯ニナリマシタ點ニ付テモ、多少私ト見解ノ違フ點ニ付テ私モ能ク反省シテ研究シテ見マスガ、當局ニ於カレテモ、一ツ至急ニ御研究ヲ願ヒタイ、此ノ今回ノ產業組合課稅ト云フコトニハ無理ガアリハシナイカ、當事者ノ方面デハ無理ガアルト斷定シテ居リマス、是ハ體驗シタ者ノ心カラノ叫ビデゴザイマス、吾々ハドウツチカト云フト、其ノ懇ヘヲ直接聽イテ居ル者デアリ、又多少ハ直接調ベテモ居リマス、當局ハ動モスレバ、產業組合ガ農林省關係デアルトヨリシマシテ、自然之ニ付テハ御研究、御調査ガ手薄ニナル虞ガナイデモナイト云フコトハ、吾々國民ノ側カラ心配スルノデアリマス、ソレデドウカ吾々國民ガ納得シマスルヤウニ、單ニ見解ノ相違ヲ對立スルコトナク、斯ウ云フ次第デアアルカラ誤ツテ居ル、是ガ確カダト云フ風ニ御説明ヲ願ハナクテハナラヌ筋合ノモノト思ヒマスカラ、是等ニ付テモ篤ト御研究ヲ願ヒタイノデアリマス、要スルニ、產業組合課稅ニ付テハ、相當再檢討ノ必要アリト云フコトヲ私ハ茲ニ私ノ意見トシテ斷言致シテ置キタイト思ヒマス

○長野(長)委員 此ノ稅率ガ一般法人ノ百分ノ十八ニ對シテ、特別法人ノ方ハ百分ノ九ト半分ニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ昭和十三年ニ於テ產業組合ト他ノ金融機關トノ收益率ノ大藏省統計ニ發表セラレテ居ル所ヲ見マスルト普通銀行ガ一割九厘一毛、特別銀行ガ二割、信託ガ一割二厘三毛ニ對シマシテ產業組合ハ僅ニ四分四毛ニ過ギナイノデアリマス、此ノ數字カラ推シマスルト、一般ノ法人ニ於キマシテハ利益金ノ百分ノ十八ト致シマシテモ、尙ホ是ハ大分輕イノデアリマス、然ルニ產業組合ノ方ハ四分四毛ト相成リマスト是ハ極メテ重荷デアリマス、大分無理デアルト思フノデアリマス、之ニ對シテハ如何ナル御考ヲ持ツテオ居デニナリマスカ

ソレカラ醫療利用組合ニ付キマシテハ、此ノ前厚生大臣ニ於テモ、剩餘金ノ如キモノハドウシテモ内容充實、擴充ノ方面ニ使ハナケレバナラス、又全國三千ノ醫者ノナイノニ泣イテ居ル農山漁村ニ對シテ、診療所等ヲ普及スル上ニ於テモハ、相當考ヘナクテハナラヌト云フ意味ノ御回答ヲ受ケタヤウニ思フノデアリマス、厚生大臣モ之ヲ吾々ト同様ニ認メラレテ居ルノデアル、就キマシテハ、大藏當局ハ單ニ課稅ト云フ點ノミカラ御主張ナサルコトナクシテ、之ヲ廣ク國民生活ノ全面及ビ國家ノ利害ト云フ大局カラ御覽ニナリマシテ、果シテ此ノ課稅ハ正當ナモノデアルカ、寧ロ僅カナ金額デアリマスカラ、此ノ際醫療利用組合ノ課稅ハ、暫クノ間之ヲ免稅ニスルト云フコトヲ考ヘラレルノガ妥當デハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、就キマシテハ、何レ此ノ結論トシテノ問題ハ、大臣ノ御高見モ承リタイト思ヒマスガ、産業組合ノ問題ニ付キマシテハ之ヲ以テ打切りマス

○中島委員 一寸關聯シテ、所得稅法案第二十一條ノ第二項ニ「銀行貯蓄預金、産業組合貯金其ノ他命令ヲ以テ定ムル預金ノ利子及産業組合、工業組合、商業組合等命令ヲ以テ定ムル法人ヨリ受クル剩餘金ノ分配ニ付テハ前項中配當利子所得甲種第三號ニ規定スル稅率百分ノ十八之ヲ百分ノ五トス」トアリマスガ、此ノ稅率ヲ低クシテアル意味ハドウ云フ譯デスカ、多分初メテ課ケルノダカラ、産業組合其ノ他ノ特別法人ニ對シテ低クシテアルコトダト思ヒマスガ、サウ解釋シテ宜シイデスカ

○大矢政府委員 只今ノ中島サンカラノ御尋ノ點ハ至ク其ノ通りデアリマス、從來課稅シテ居ルカウツモノニ初メテ課稅スルノデゴザイマスカラ、他ト比較シテ百分ノ五ト致シテ次第デアリマス、尙ホ長野サンノ先程ノ御質問ニ對シテ一言御答ヲ致シマス、農村信用組合、市街地信用組合ノ最近ノ一口三千圓以上トカ、五千圓以上トカ、一萬圓以上ノ預金ノ數字ト云フモノハマダ調査ガ出來テ居ナイノデ、正確ナコトハ申上ガ兼ネマスガ、是ハ最近ト致シマシテハ十四年度デスガ、ソレヲ今直グ調べルト云フノハ事實上出來ナイコトカト存ジマスノデ、御諒承願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ産業組合ニ對スル研究ガ不十分ダト云フ御話デゴザイマス、私今マデ御説明ヲ申上ガタ所ニ不十分ノ點ガアルノデ、サウ云フ御言葉ガアツタカト存ジマスケレドモ、兎ニ角産業組合ニ對スル課稅ト云フモノハ永年ノ問題デ、相當私共研究シテ居リマス、此ノ度ノ案ヲ作ルニ當リマシテモ、十分農林當局ト打合せマシテ、資料モ出來ルダケ戴イテ調査シテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマシテ、特別法人ニ課稅ヲスルノハ、産業組合以外ニ商業組合、工業組合等モアリマス、之ニ比ベマシテ産業組合ノ方ノ調査ダケガ特ニ不十分ダト云フ譯デハゴザイマセヌ、私共ト致シマシテモ相當調査ヲ致シタ積リデゴザイマスカラ、此ノ點御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

醫療利用組合ニ付キマシテ更ニ御話ガゴザイマシタガ、醫療利用組合ノ今日ノ實績カラ見マスルト、此ノ仕事ノ性質上剩餘金ヲ殆ド得テ居ナイノデアリマス、寧ロ缺損ヲ計上シテ居ルト云フノガ普通デゴザイマシテ、他ノ事業ヲ併セ行ウテ、他ノ事業ヨリ生ズル剩餘金ヲ醫療利用ノ方ノ穴埋メヲ

シテ居ルト云フコトデゴザイマス、是ハ仕事ノ性質上サモアルベキコトダト存ズルノデアリマス、隨ヒマシテ他ノ産業組合ト特ニ區分セズシテ、一應課稅スル建前ニ致シテ置キマシテモ、實際ノ經營ガ右ノヤウデアリマス上ニ、更ニ拂込出資ニ對シテ年三分以下ノ時ハ免稅スルト云フ關係モアリマシテ、事實上課稅ヲ受ケルコトハナイト存ジテ居リマス

○中島委員 主稅局長ノ御答辯デハ、産業組合ニ對スル課稅ノ百分ノ五ト云フモノハ、初メテアルノダカラ半分ニシテヤルト云フノデアリマスカラ、サウスルト産業組合バカリテハアリマセヌガ、其ノ他ノ組合ノ發展ニ從ツテ、慣レテ來レバ他ノ稅率ト同ジヤウニ百分ノ十二直スト解釋シテ宜シイデスカ

○大矢政府委員 今回ハ此ノ程度ヲ以テ適當トシテ居ルノデアリマシテ、之ヲ將來ドウスルカト云フコトハ、將來ノ貯蓄銀行等ノ經營如何、他ノ金融機關ノ經營如何等ニ依ツテ考ヘテ行カナケレバナラスコトカト存ジマス、現在ト致シマシテハ此ノ程度ヲ以テ適當トスル、直グニ之ヲ變ヘルト云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマセヌ

○中島委員 サウスルト産業組合即チ信用組合ノ方ヘ、他ノ銀行ヨリ預金ガ餘計集中カレテ來ルト云フ傾向ガアレバ——集中ト云フ意味デナクシテ段々「バランス」ガ取ナクナル、産業組合ガ健全ニナルト預金ガ其ノ方ヘ集マルノデ、普通銀行ガ苦シクナル、サウ云フ意味カラ行キマシテ、或ル場合ニナツテ來レバ百分ノ十ト同ジヤウニ課ケル、斯ウ云フヤウニ解釋シテ宜イデスカ、要スルニ産業組合ノ將來ノ發展如何、發展ノ方向ニ依ツ

テハ其ノ他ノモノノ百分ノ十ト同ジニスル、初メハ百分ノ五ヲ基準ニシテ行ク、初メハ低イガ段々稅率ガ高クナツテ來ル、サウ云フ意味ニ解釋シテ宜イデスカ

ソレカラ私ノ考ト致シマシテハ、長野君ノ御議論ハ産業組合一點張ノ御議論デアリマスケレドモ、私ハ此ノ原案ガ宜イト思ヒマス、私共ノ信ズル所ニ依リマス、産業組合ダケガ課稅カラ免レルト云フコトハナイ、原案ノ成立如何ハ別トシテ、法ノ精神ハ宜イト思ヒマスカラ、當局ハ一部ノ議論ニ拘泥セズ、堂々トシテ所信ニ邁進サレンコトヲ希望致シマス、黨議ハマダ決定シテ居マセヌ、決定シテ居ナイ黨議ニ付テ勝手ニ委員ガ贊否ヲ言フコトハ間違ツテ居リマス

〔關聯シテ一寸……〕「委員長」ト呼ビ其ノ他發言スル者多シ

○堀切委員長 只今ハマダ質問ノ時間デアリマス、討論ノ時間デアリマセヌ、討論ハ後デ願ヒマス——森田君

○森田委員 大藏大臣ノ先程ノ御答辯ハ、大體私ト同感ノ點ノ方ガ多カツタト思フノデアリマスガ、併シ肝腎ナ所デ不一致ニナツタ、生産ノ擴充ヲ圖ルノニハ、私ガ言ウツタノハ低物價政策ヲ堅持シテハイカヌ、大藏大臣ハ生産擴充ト低物價政策トハ矛盾シテ居ラス、兩方トモ並行シテ行クノダト云フ、私共ハ屢々聽イテ居ルガ、ソレハ具體的ニ教ヘテ戴カナケレバナラスカラ、具體的ニイカヌ點ヲ御話シタ、物價ト云フノハ徒ニ人ノ力ヲ以テ拵ヘタ人工相場ト云フモノデ安定スベキモノデモナケレバ、實行出來ルモノデモナイ、物價ヲ下ゲルノモ上ゲルノモ、要ハ需要ト供給ノ問題デアルノデア

リマスカラ、消費ニ對スル供給ガ十分デア
ル——十分デナクテモ十ノ消費ニ十一ノ供
給ガアルト云フナラバ、物價ハ上レト云フ
テモ上ラナイ、昭和五年ニアナタノ方ノ民
政黨内閣御作りニナツタ重要産業統制法
ノ目的ハ上ゲルノガ目的デ作ツタ、當時ア
シナニ下ツタノデハ産業ガ破滅スルト云フ
ノデ、アノ法律ハ作ラレタノデアリマス、
今日ハ其ノ反對ニ何トカシテ物價ヲ抑ヘ付
ケヨウトスル、私ハ政府ニハ非常ナ矛盾ガ
アルト思フ、政府ニハ矛盾ガアルト云フノ
ハ、政府ノ力ヲ以テシテハ官僚ノヤラウト
シテ居ル事ヲ押シ切レヌノデハナイカ、從
來ノ政府ガ私ハ甚ダ遺憾ナガラ官僚ノ力ヨ
リハ政府ノ力ガ弱カツタト思フ、人ハ兎
モ角モ私ハサウ思フ、ソレデアルカラ今
日此ノ物價政策ノ如キモノモガツチリシ
ナイ、私ハ政府ガ少シ力ガ足ラナイト思
フ、今ノ政府ハ力ガアルト仰シヤルカモ
知レナイガ、ソレデモアノ程度デアアル、
モウ少シ力ヲ出シテ、本當ニ物價問題ヲ解
決スルト云フ勇氣ガアツテ欲シイ、物價問
題ノ解決ハドウシテモ生産ノ擴充ヲ圖ツテ
行カナケレバイケナイ、需要ヨリモ供給ヲ
多クシナケレバイケナイ、其ノ半面ニ通貨
ヲ徒ニ膨脹サスヤウナ政策ヲ執ツテハイケ
マセヌ、此ノ二ツヲウマク關聯サシテ統制
ヲ取ツテ行クナラバ物價ハ上ラズニ濟ム、
要スルニ生産擴充方面ニ行ク資金ナラバ、
資金調整局デ無暗ニ抑ヘテ、公債ニ直接流
レテ行カスノモ、間接ニ公債ニ流レテ行カ
スノモ結果ハ同ジコトデアアル、國內ノ資金
ノ調整デアラカラ國內ノ資金ノ調整ヨリ一
歩モ外ニ出テハ居ナイ、國內資金ノ調整
ハ、九州ノ者ガ預金シタノガ北海道デ使ハ

レヨウガ、北海道ノ預金ガ東京ニ行カウガ、
何處デモ宜シイ、ア、云フ現在ノ資金調整
法ノ方針ヲ聽イタリ、或ハ其ノ折衝ニ當ツ
テ見ルト、日本銀行ガヤルノカ大藏省ガヤ
ルノカ知ラヌガ、法律ノ本旨ヲ超越シタコ
トヲ言ウテ居リマス、買ヘバモウ賣ラヌト
云フヤウナ一札ヲ入レ、或ハドウ云フ計算
デ之ヲ經營シテ行クノカト云フ經營ノ方法
ニ立入ル、斯ウ云フコトハ全ク資金調整デ
ハナク、事業ノ調整ヲヤツテ居ル、ソレガ間
違ツテ居ル、兎モ角モ生産擴充ヲ圖ラウト
思ヘバ、國內資金ニ付テハサウ難カシク言
ハズニ、工場設備ノ擴張或ハ原料ノ仕入ト
云フヤウナコトニ對シテハ思切ツテヤラシ
タ方ガ宜イノデハナイカ、サウスルト斯ウ
云フ問題ガ起ル、是ハ屢言ハレタコトデ
アルガ、國內ノ物價ガ不足シテ居ル、是ハ
其ノ通りデアアル、ソレハ私否ミマセヌ、併
シ物價ガ不足シテ居ルノハ政府ノヤリ方ガ
悪イカラデアアル、本當ニ品物ガ影ヲ隠ス、
是ハ女中モヨク言フコトデスカラ、大臣ハ
才宅ヘオ歸リニナツテ聽イテ御覽ナサイ、
吾々ノ所デハ、政府ハドウシテ統制シテ物ヲ
賣ラサヌヤウニスルノガラウカ、統制ヲ執ル
ト云フ聲ガ新聞ニ出ルト直グ物ハ市場カラ影
ヲ隠シテシマウ、「マツチ」デモ砂糖デモサウ
デアアルガ、先般砂糖ノ統制ハ切符制度ニスル
ト云フコトガ刊ニ出タ、所ガ翌朝ニナルト
砂糖ハ今度切符ニナツテ是カラハ買ヘヌヤ
ウニナルガラウト云フノデ、砂糖屋ノ店先ニ
黒山ノヤウニ集ツタ、何デモ統制ト云フト
國民ハモウ品物ガナクナル、今ノ内ニ買ツ
テ置カ、ナケレバナラヌト云フノデ、ソコニ
買占ガ起ル、ソレデ政府ガ統制ト云ヒサハ
シナケレバ、品物ニ不自由ハナイ筈デアアル、

ソレデアラカラ一面ニハ統制ヲ執ルト云フ
コトヲ言ハナイ方ガ品物ニ不自由ヲ來サナ
イト思フ、モウ一ツハ、生産擴充ニハ利潤
ヲ與ヘルコトデス、ソレニハ色々議論モア
ルシ、此ノ委員會デモ屢聽イテ居ルガ、之
ヲ具體的ニ言ヘバ、生産原價ヨリモ何程カ
ノ利潤ヲ與ヘテ、其ノ利潤ガ手許ニ殘ルヤウ
ニ樂シミヲ付ケテヤリ、事業ヲヤレバ金ガ
殘ルト云フ樂シミヲ付ケテヤルコトデアリ
マス、所ガ其ノ利潤ヲ右カラ左ヘ卷上ゲヨ
ウト云フ計畫ヲ立テルノガ惡イト思フ、追
追ニ取上ゲテ行クノハ宜イガ、今儲カレバ
ソレヲ直グ今取ツテシマフゾト云フヤウニ
ヤツテ行クコトガ、果シテ生産擴充ニ副フ
カ副ハヌカト言ヘバ、私ハ副ハヌト思フ、
殊ニ生産擴充ヲヤツテ行ツテ物價ガ上ルコ
トハ、ドノ階級ガ困ルコトモアリマセウ、ソレ
働者、農民ガ困ルコトモアリマセウ、ソレ
ハ勿論デアリマス、併シナガラ一番深刻ニ
困ルノハ月給取デアアル、私ハ月給取ニハ大
正八年ニヤツタヤウナ相當ノ臨時手當ヲ與
ヘテ、生活ニ困ラセナイヤウニシテ置イテ
我慢サセテ、サウシテ消費ヨリモ供給ノ方
ガ多クナル所ニ到達サセタ時ニ、適當ナ統
制ヲ執ルベキデアアル、本當ニ生産擴充ヲ圖
ラウト思フナラバサウ云フヤウニヤルベキ
デアアル、所ガ今日ハサウデハナイ、一旦政
府ガ低物價政策ヲヤルト云ツタ面目ガアル
カラ、出來ヌデモ宜イ、此ノ邊デオ茶ヲ濁
シテ行カウト云フコトナラバ、其ノ方針デ
ヤツテ行クノモ已ムヲ得ヌ、ソレナラバ徹
底的ノ消費節約ヲ行カナケレバナラヌ、徹
底的ノ消費節約ヲヤツテ食ヒ延バシテ行ク
ト云フコトハ一面アリ得ルコトト思ヒマス
ガ、兎ニ角政府トシテハ現在ノヤウナドツ

チ付カズノ曖昧ノ態度デナク、ドツチカニ
ハツキリトサレテ、國民ニ向フ所ヲ知ラシ
メル必要ガアル、今日經濟界ニ居ルヤウナ
人間ハ、低物價政策ト生産擴充ト矛盾シ相
反スルコト位ハ皆知ツテ居ル、ソレヲドノ
内閣モ此ノ内閣モ皆出來ルヤウニ言フカ
ラ、生産擴充ドコロデハナイ、減退シテ居
ル、唯何デモ擴充シテ居ルノハ企畫院ノ机
ノ上ノ數字ダケデアアル、十三年ヨリ十四年、
十四年ヨリ十五年ト云フヤウニ書イテアル
ガ、ソレハ机上ニ書イテアルダケデ、事
實ニ於テハ減退シテ居ル、ソレハ減退スル
筈デス、縱カラ言ツテモ横カラ言ツテモ殖
エヨウ筈ハナイ、今ノ大藏大臣モ商工大臣
モ農林大臣モ皆民間カラ出テ居ルノデア
ルカラ、官僚ガ色々ナ獻策ヲシテモ——ソレ
ガ善イ事ナラ用ヒテモ宜イガ、今ノヤウナ
國ヲ惡クスルヤウナ獻策ハ用ヒル必要ハナ
イ、ビシ／＼撥ネ付ケテ本當ノ國情ニ即シ
タコトヲ國民ニ向ツテ仰シヤルナラバ、政
府ノ仰シヤルコトヲ信賴致シマスガ、今ノ
ヤウナ歴代内閣ノヤツタヤウナコトヲ言フ
ナラ信賴シマセヌヨ、私達デモアナタガ此
ノ議會デ言フコトヲ聽イテ居ルト、出來ヌ
コトヲ言ツテ居ルカラ信賴致シ兼ネル、出
來ル事ヲ仰シヤツテ、國民ニ隨イテ來サセタ
方ガ宜イノデハナイカト云フノデアリマス、
此ノ點ハ解決ハ難カシカラウト思フガ、今ア
タハ兩方出來ルヤウニ仰シヤツタカラ、兩方
ハ出來ヌコトヲ今私ガ申上ゲタノダガ、モウ
一ツソコニ奧ノ手ヲ出シテ貰ツテ、出來ル所
ヲ教ヘテ戴ケレバ結構ダト云フノデアリマス
○櫻内國務大臣 低物價政策デ生産擴充ガ
出來ルト云フノデハナイノデス、私ノ申ス
ノハ車ノ兩輪ノ如キモノデアアル、低物價政

策ヲ根本的ニ行ハウトスルト、ドウシテモ生産擴充ヲシナケレバナライ、其ノ生産擴充ガ出來サヘスレバ、需要供給ノ關係上、生産品ガ多クナレバ物價ハ安クナツテ來ルト云フノデアリマシテ、其ノ點ニ付テハ森田君ト同一意見デアリマス、唯茲ニ私ガ併行ガ出來ルト云フ風ニ言ツタト云フ御話デアリマスガ、是ハ車ノ兩輪ノ如キモノデアルト申スノデアリマス、現在ハ生産ノ擴充ガ之ニ伴ハナイカラ物價ハ上ルガ、今度ハ生産ガ出來ルヤウニスルノニハ、出來タ製品ヲ高ク買上ゲサヘスレバ生産ハドクノ出來テ來ルノデハナイカト云フノガ、森田君ノ御意見デハナイカト思フ、併シ生産出來タモノヲドクノ儲カレヤウニ値ヲ上ゲルト云フコトニ致シマス、現在ノ物價ハ循環的ニドクノ上ツテ行ク傾向ヲ起シマス、サウ云フ傾向ヲ起スト、低物價政策ノ堅持ガ出來ズ、總テノ計畫ハ全部根柢カラ壞レル虞ガアルノデアリマス、故ニ一面ニ於テ生産擴充ヲヤツテ、物價ノ根本的値下ヲ行フヤウナ方法ヲ執ルト同時ニ、一面ニ於テハ低物價政策ハ何處マデモ堅持シテ行カナケレバナラスノデアリマス、ソコデ低物價政策ト云フコトハドウカト云フト、生産ヲシテ引合ハヌ價段ガ低物價ト云フノデハアリマセヌ、即チ物價ノ昂騰ヲスル場合ニ於テ昂騰シナイヤウニ、成ルベク安ク物ヲ生産スルヤウニ指導シ、而シテ生産者ガ大ナル利潤ヲ以テ高クシナイヤウニ致シマシテ、兎ニ角適正物價ヲ拵ヘテ、ドウナリ斯ウナリ生産業者モ引合フ程度ニ價格ガ公定サレナケレバ、公定相場ガアツテモ實際ニ於テ實行ハ出來ナイダラウト思フ、私ハ森田君ノ意見ト大ナル相違ハナイト思ヒマスガ、森田君

ノ御意見デハ、値ヲ多少上ゲテモドクノ生産ヲヤツタラ宜カラウト云フ御話デアリマスケレドモ、ソコガ中々「デリケート」ナ所デ、簡單ニ考ヘ得ラレナイノデアリマス、昭和五年ニ拵ヘマシタ産業統制法ニ付テ、アレハ値ヲ上ゲル爲ニ拵ヘタノデアルト云フ御話デアリマスガ、アノ産業統制法ハ値ヲ上ゲル爲ニ拵ヘタト云フ意味デハナイノデアリマス、即チアノ産業統制法ハ、一面カラ言フト生産品ノ價段ヲ安クシテ、需要者ガ安イ品物ヲ買ヘルト同時ニ、生産業者モ亦多少ノ利潤ガ得ラレルヤウニスル、ソレニハ二重投資ヲ止メルヤウニシ、又無用ナル競争ヲ止メルヤウニスル、サウシテ其ノ生産品ノ價格ヲ出來ルダケ合理化シテ、安ク生産サセテ、生産業者モ多少ノ利潤ヲ得ルコトガ出來ルヤウニスルト共ニ、消費者階級モ亦ソレニ依ツテ相當安ク物ヲ買ヒ得ルヤウニスル、斯ウ云フノガアノ時ノ産業統制ノ趣旨デアリマス、當時非常ニ誤解シテ、大キナ資本家ガ潰レ掛カツテ居リ、ソレガ合同ミタイナ風ニナリマシテ、價段ヲ引上ゲルナドト云フコトヲシマシタカラ、實際ノ情勢ハ値上法ト云フヤウニナツタヤウニ見エマスケレドモ、産業統制法ノ趣旨ハサウ云フモノデハナク、今日ノ統制法ト大ナル相違ハナイト考ヘテ居リマス

ソレカラ資金調整法ノ運用ガ間違ツテ居ル、資金調整法ニ依ツテ出願シタルモノニ對シテ許可ガ非常ニ手間取ル、是ハ私モ度々耳ニ致シテ居ルコトデアリマシテ、何トカシテ之ヲ迅速ニ決定シナケレバナラヌト思ヒマス、此ノ資金調整法ノ運用ニ當ツテ非常ニ手數ヲ拵ケマシテ、サウシテ手間取ル、手間取ル結果ト致シマシテ、先ヅ東京ノ人ハ宜シイケレドモ、關西、大阪、名古屋方面ノ人ハ其ノ爲ニ度々東京ニ出テ來ル手數ヲ掛ケル、サウシテ折角許可ヲ得テモ、商機ヲ逸シテ何ニモナラヌト云フコトハ私度度耳ニ致シテ居リマス、故ニ是ハ許可スルノニモ、不許可ニスルノニモ、極メテ迅速ニ決定致スベキモノト存ジマシテ、私任官以來其ノ事ハ篤ト申渡シテ居ル譯デアリマス、唯是ガ許可、不許可ト云フ場合ニ於キマシテ非常ニ考慮サレマスル事柄ハ、即チ折角許シテモ、成程資金ハ出來ルガ、其ノ仕事ニ對スル所ノ資材ハドウデアルカ、又其ノ仕事ノ他ノ生産擴充ニ影響スル所ガドウデアルカ、斯ウ云フ資材關係、努力關係、及ビ他ノ事業ニ對スル所ノ關係、又需給關係等ヲ相當調査スルノニ手間取ツテ參リマシテ、其ノ爲ニ遲レテ居ルト云フコトモ、是ハ幾分忍ズベキ點ガアリマスガ、併シ今日ノヤウナ戰時狀態ニ於テ斯ウ云フコトニ手間取ツテハナラヌト云フ御議論ハ全然同感デアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ私ハ特ニ力ヲ致シタイト思フテ居ルノデアリマス

ソレカラ資物ノ缺乏ハ政府ガ惡イノダ、政府ガ切符制度ヲ行フト云フヤウナコトヲ言フカラ、アル品物ガカスレルノダ、是ハ私常ニ申上ゲテ居リマスガ、私ハ如何ナル場合ニ於テモ今日マデ是レノ物ニ切符制度ヲ行フト云フコトハ、一度モ申シタコトハアリマセヌ、即チ森田君ノ御話ノ如ク、切符制度ト云フモノヲ行フ場合ニ於テハ、總テ前以テ準備ヲ致シテ置イテ、其ノ後ニ切符制度ヲ行ハウト決心シタ以上ハ、今日發令シテ明日カラ行フダケノ準備ガ出來テ居ナケレバナラヌト私ハ思ヒマス、單ニ切符制度バカリデハナク、ソレガドウ云フ影響ヲ齎スカト云フコトヲ考ヘテ、此ノ切符制度ヲ行ヘバ此處ニ摩擦ガ起ル、此處ニ斯ウ云フ結果ガ起ルト云フコトヲ十分ニ考ヘテ、サウシテ之ヲ實行致サナケレバ意外ナル結果ヲ齎スモノデアリマシテ、私ガ如何ナル場合ニ於テモ切符制度ト云フコトヲ申シテ居リマセヌノハ、即チ其ノ點デアリマス、今日ノ時代ニ於テ所謂物資統制ヲ致サナケレバナラヌ必要ガアルト云フコトハ固ヨリデアリマスノデ、必要ニ應ジテハ切符制度モ行ハナケレバナラナイト思ヒマスガ、苟モ私カラ是レノ物ニ對シテ切符制度ヲ行フトコトガ必要デアルトカ云フヤウナ事柄ハ、一言モ申サナイノハ森田君ノ御話ノ通りデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、品物ノカスレルト云フコトハ洵ニ人情ノ機微デアリマシテ、品物ガ賣レナクナルト、直グ前以テ買集メヲヤル、而シテ此ノ買集メヲヤルノハ資産階級デアアル、國民大衆ノ困ツテ居ル人ハ買集メヲシタクテモ出來ナイ、ソレデ會テ木綿ノ反物ガナイ、ナイガ、イザトナツタラ幾ラモ出テ來ル、私ハソコニ森田君ノ御心配ノ點ハ御尤モダト思フノデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ政府トシテハ十分ニ注意ヲ致シテ行キタイト思ヒマス、併シシナガラ今日此ノ大キナ事變ヲ抱ヘテ居リマシテ、非常ニ大キナ物資ヲ戰地ニ送ツテ居リマス、殊ニ日滿支綜合經濟ノ上カラ言ツテ、東亞新秩序建設ノ上カラ言ツテ、現ニ昨年アタリハ十何億ノ物資ヲ向フカラ輸入シタリ、滿洲並ニ支那ノ方ニ出シテ居リマス、隨テ國內ニ於ケル物資ガ幾分ノ不自由ヲ起スト云フコトハ當然デアリマス、總テノ物資ガ完全ダ、満足ダ、斯ウ云フヤウナコトハ申スコトガ出來ナイノデア

リマシテ、日本ノ問題トシテハ徹底的ニ消費ノ節約ヲヤツテ、此ノ東亞ノ新秩序建設ト云フ大事業ヲ完成スル爲ニ全力ヲ盡スコトガ必要デアラウ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス。

○森田委員 御話ノコトハ能ク分リマシタ、アナタト私ノ意見ハ違ハヌ、ドウカ一ツ之ヲ實行ニ移シテ戴キタイ

〔委員長退席、木村委員長代理著席〕

併シアナタノ仰シヤツタコトデ一點同意シ兼ネルコトガアル、資金調整法ニ關シテ許可ヲスルニ際シテハ、原材料ノ點カラ見テ、此ノ事業ヲ經營スルニ差支ナイカドウカヲ究メルト仰シヤツタガ、ソレナラバ資金調整法ヲ改正シナケレバナラヌト思ヒマス、吾々モアレヲ作ル時カラ關係シテ居ルガ、是ハ國內資金ノ調整スルノデアツテ事業ノ調整デハナイ、モウ一ツ分リ易ク言ヘバ、此ノ事業ヲ許可スレバ此ノ物ガ買ヘルカ買ヘナイカ、工場ニ其ノ物資ガアルカナイカト云フコトヲ究メルノガ資金調整法ノ役目ヂヤナイト云フコトハ、當時賀屋大藏大臣ハ此ノ委員會ノ席上デ明瞭ニシテ居ルシ、法律ノ目的モ資金ノ調整ヲ圖ルノニアル、隨テ資金調整法ニ於テ許可ヲ受ケテ今日實行不能ニ陥ツテ居ル者ハ澤山アル、併シ其ノ金ハ何モソレガ國內資金ノ上ニ邪魔ヲ致シテ居リマセヌ、誰モ高利ノ付ク金ヲ借りテ金庫ノ中ニ入レテハ居ラナイノデアリマシテ、資金調整法ニ依ツテ宜イト思ヘバ許可ヲ與ヘヤウシ、惡イト思ヘバ許可ヲ與ヘマイシ、要スルニ迅速ニシテ戴キタイ、許可ニナツタラ其ノ工場ニ要スル原材料、機械等ヲ買ヒニ行クノハ許可ヲ受ケタ人ガ極力奔走シマス、サウシテ商工省カラ配給ヲ

受ケル必要ガアルナラバ、其ノ方面ニ奔走ヲシマス、此ノ資金調整法ノ認可ヲ申請シテ、片一方デ許可ヲシテ居ツテモ——船舶ノ如キデモ斯ウ云フ問題ガ起ツテ居ル、一箇年モ經ツテカラ漸ク許可ニナツテ居ルモノガ澤山アル、其ノ爲ニ造船業者ハ早ク原材料ノ手當ガ出來ナイシ、一箇年間ニ物價ハ騰貴シテ居ルノデ二年前ノ値段デハ出來ナイカラ、幾ラ上ゲルカト云フコトガ問題ニナツタ、サウ云フナヤナ不利益ヲ資金調整法ノ出願者ニサシテ居ル、一ツ此ノ點ヲ御考ニナツテ戴キタイ、ソレカラ斯ウ云フコトガアル、之ヲ矯正シテ戴キタイ、オ役人ニ特ヲ頼ミニ行ツテ、オ役人ガ認可、許可ヲスル時ニハ、何カ自分ノ「ボケット」ノ物デモ出シテヤルカノ如キ感ヲ持ツ、許可シテ上ゲヨウト云ツテ、思フ著セテヤル、向フデハ其ノ積リデナイカモ知レナイガ、吾々ノ見ル所デハ恩義ガマシクヤルヤウニ思ハレル、自分ノ金ヲ出スノデハアルマイシ、國家ノ爲ニ寧ロ早クヤツタ方ガ宜イノニ、自分ノ机ノ中ニ長ク書類ヲ入レテ置カヌト權威ガナイヤウナ考ヲ持ツテ居ル、私ハ各方面カラ此ノ點ヲ知ツテ居リマス、急イデヤルト豫算ヲ取ル時ニ、大藏省デ人手ガ十分アルヤウニ思ハレルカラ、是ハ急イデヤツテハイカヌ、サウ云フ風デヤツテ居ルカラ、是ハ中々埒ガ明カヌ、ソコニ政府ノ威令ガ官僚ニ行ハレテ居ラナイ、ソレハサウダ、今度デモ、アナタ方ガ此ノ内閣ヲオ作りニナツテ、米内内閣ガ出來、サウシテ此ノ議會ニ臨マウト云フナラバ、本當ハ稅制デアラウト、豫算デアラウト、能ク檢討シテ、自分達ノ思フ所ガ政綱、政策ニ出テ來ナケレバ噓ダ、所ガアレ程人氣ノ惡

カツタ阿部内閣ノ作ツタモノヲ、ソツクリ其ノ儘出シテ居ル、少シモ變ツテ居ナイ、其ノ點ヲ申上ゲテ置キマス、アトハ大藏大臣ノ思ツテ居ラレルコトニハ全然贊成ダカラ、法律ノ本旨ニ適フヤウニ迅速ニヤツテ戴キタイ、生産擴充ニ大イニ資金ノ許可シテヤル、ソレデ原材料ガナクテ工場建設ガ出來ヌナラ、其ノ資金ハ使ハヌ、公債ニ流レテ行キマス、アノ國內ノ資金調整法ハ公債ニ金ガ流レテ行クヤウニスルノガ目的デ作ツテアル、其ノ目的ヲ直グ達スルカ、少シ手間ガ要ルカノ違ヒデアリマス、ソレハ手間ガ要ツテモ何レハ行キマス、ソレデ此ノ生産擴充ト低物價政策ニ反スルコトヲ現政府ハヤツテ居ル、少クトモ大藏大臣ハ之ニ對シテ同意ヲ與ヘタト新聞ニ出テ居ルノハ、例ノ石炭ノ補助金ノ問題デス、私ハ石炭ノ補助金ヲ石炭會社ニヤルノガ惡イト言フノデハナイ、併シナガラソレニ依ツテオヤリニナルノガ、大藏大臣ノ「ボケット・マネー」カ、商工大臣ノ「ボケット・マネー」ヲ出シテヤルノナラ、私ハ大贊成ダ、ソレナラバ異論ハナイ、所ガサウデハナイ、公債ヲ印刷シテ、サウシテ日本銀行ニ交付シテ紙幣ヲ出シテヤルナラバ、如何ニシテモソレダケノ通貨ノ膨脹ハ免レマセヌ、通貨ノ膨脹ガズツトヒドクナツテ行ツタ結果、紙幣ノ價值ガ下ツテ來テ居ルノデアリマスカラ、通貨ハ努メテ膨脹サセナイ政策ヲ取ツテ行カナケレバイカナイ、今日石炭ヲ買フ方ノ人々ハ金ヲ出スノヲ大儀ガツテハ居ナイ、何レノ會社ニシテモ何レノ工場ニシテモ、大手ヲ振ツテ生産者ガ賣ツテ呉レル價格ニ石炭ノ價格ヲ決メテ賣ヒタイ、サウシテ政府ニ補助シテ貰ハナケレバ自分達ハ立ツテ行カ

ヌト言ウテ居ル工場ハ一箇所モアリマセヌ、其ノ陳情ヲヤツテ居ル會社ハアリマセヌ、唯政府ガ低物價政策ト云フコトヲ言ウテ居ル手前、ヤハリ賣ラス値段ハ以前ノ値デ賣ラセヨウガ、生産原價ハ上ツテ來タカラ政府ガソレヲ補償シテヤラウト云フ、サウ云フコトヲ今國家ガヤツテ居ルト國家ノ財政ハドウナルカ、私ハヤハリ國家ノ財政モ會社ノ財政モ一個人ノ財政モ同ジダと思フ、買フ方ガ高ク買ハヌト云フノデハナイ、高ク買ツテ宜イ、五圓ナラ五圓、四圓五十錢ナラ四圓五十錢上ゲテ、公定價格ヲ改訂スレバ、買フ方ハ金ヲ出ス、買フ方ニ金ヲ出サスナラバ、現在通貨ヲ發行シテ居ル範圍デ取引ガ出來ル、公債ヲ發行シテ、一億圓カラノ通貨ノ膨脹ヲサセズニ濟ム、併シナガラ買フ方ガ到底私ノ經營ハ困難デアルカラ御助ケ下サイ政府様ヨト言ウテ來ルナラバ、又考ヘナケレバナラヌガ、左様ナコトハ言ウテ來テ居ラス、何ノ爲ニ政府ハ賣買者ノ間ニ介在ラシテ、大キナ損失ヲ石炭ヲ全然使ハナイ國民ニ、關係ノナイ者ニマデ掛ケルカ、私ハサウ云フ政策ヲ執ルコトハ二ツモ三ツモノ意味ノ上ニ於テ低物價政策ニ反スルト思フ、ソレハ通貨ガ膨脹スルカラデアアル、通貨ヲ膨脹サセナイヤウニ行カウト思ヘバ、左様ナ補助政策ヲ執ラズニ、購買スル人ニ五圓價格ヲ上ゲテ、公定價格ヲ上ゲテヤツテ買ハシテ行ケバ膨脹ガ防ゲル、折角五圓増シテ貰ツテモ通貨ヲ膨脹シテ炭坑ニ消費スル所ノ消耗品其ノ他ノ物ガ上ツテ來レバ何ノ價值モナイノデス、折角五圓増シテ貰ツタカラトテモ、採掘スル原價ガ又ソレダケ上ツテ來レバ何ノ價值モナイ、私ハ此ノ點ナドハアナタ方ノヤウナ民間ノ

事ガ能ク分ツテ居ル人ガ居ラレナガラ、斯ウ云フ政策ヲ新聞デ見タ時ニ驚イタ、如何ニモ妙ナコトヲヤツテ國民ニ迷惑ヲ一層掛ケルト思ツタガ、アレハ併シ新聞宣傳デスカラ間違ツテ居リハシナイカ、一ツ大藏大臣ノ御話ヲ承リタイ、間違ヒデアツテ欲シイト私ハ思ツテ居リマスガ……

○櫻内國務大臣 第一點ハ資金調整法ノ問題デアリマスガ、資金調整法ノ問題ハ成程御話ノ如ク、資金ノ問題サハ關係シテ居レバ宜シイデヤナイカ、資金ヲドンノ許シテヤツテ、其ノ資金ノ許サレタ會社ガドン資材ノ問題ナドハ自分勝手ニ探シテ來ルノデアアル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、若シサウ云フコトヲ致シマス、許サレタ者ガテンノバラノ買煽ツテ來マシテ其ノ資材ヲ探シ歩イテ、サナクトモ資材ノ缺乏シテ居ル所ヲ皆奪ヒ合スルコトニナツテ、總テノ仕事ガ皆中途半端ニナツテ、國ノ生産ヲ上ゲテ行クコトガ出來ナイヤウナ状態ニナリマス、其ノ結果ト致シマシテ所謂物價ノ大騰貴ヲ招クヤウニナリマスノデ、成程資金ノ調整ト云フ問題ニ付キマシテハ、資金ダケノ運用ノ關係ヲ考ヘレバ宜シイノデアリマスケレドモ、總テノ方面ニ對シテ多少調査ヲ致シテ、サウシテ許否ヲ決スルト云フ事柄ハ是ハ考慮スベキコトト思フノデアリマス、唯之ニ付テ日ヲ費シテ、今ノ御話ノ船舶ノ如キ——船舶ダケデハナイ、何デモ商機ヲ逸スルト云フ如キ事柄ガ今日マデ度々起ツテ居ルト云フコトハ遺憾ノコトデアリマシテ、森田君ト全ク同感デアリマスガ故ニ、此ノ點ニ付テハ十分注意致シタイト思ヒマス、併シ石炭ノ増産獎勵ニ對スル補助費ヲ出ス問題ハ、是

ハ通貨ノ膨脹ヲ招クモノデアツテ、物價ヲ騰貴セシメルモノデアアル、需要者ノ方ハ高クテモ喜ンデ買フノニ、其ノ高ク買フモノヲ高ク買ハサズシテ、統制シテ値段ヲ抑ヘテ置イテ、サウシテ一面ニ於テ國ガ助成ヲシテ通貨ヲ増發セラレ、サウシテ物價ヲ騰貴スルト云フコトハ不都合千萬デハナイカト云フ御話デアリマス、私ハ此ノ點ニ付キマシテハ少シ森田君ト意見ヲ異ニシテ居ルノデゴザイマス、ソレハ成程政府ガ紙幣ヲ増發シテ補助金ヲ出ス、補助金ヲ出スダケハ通貨ガ膨脹スルコトハ全ク御説ノ通りデアリマス、併シナガラ之ヲ石炭ノ單價ヲ上ゲマシテ、サウシテ此ノ値段ヲ、今日世間ガ此ノ値段マデ買ツテモ宜イト云フ値段マデ自由自在ニ上ゲタト致シマスレバ、ソレニ依ツテ生産スル所ノ品物ハ忽チニ値ガ上ツテ來ルノデアリマス、其ノ値ガ上ツテ來レバ、ソコデ循環的ニ總テノ品物ノ値ガ上ツテ來ルノデアリマス、隨ヒマシテ今回ノ此ノ増産畫計ノ中ニハ、斯様ナコトヲ考ヘテ入レテアルノデアリマス、低物價政策ニ即應シタ事業ニシテ、其ノ仕事ガ輸出産業、若クハ生活必需品或ハ軍需産業、ドウシテモ斯ウシテモシナケレバナラナイ仕事デ、サウシテ石炭ノ値ガ上ツテモソレニ依ツテ造ル所ノ生産品ノ値ヲ上ゲナイト云フモノニ對シテハ、特ニ商工大臣ノ許可ヲ得テ特定ノ値段ヲ抑ヘルコトガ出來ルヤウニ、私ハ進言シテ置イタノデアリマス、マダ法案ガ確定致シマセヌカラドウナルカ知レマセヌケレドモ、即チ値ヲ上ゲナイ、石炭ノ値ガ上ツテモ、ソレニ依ツテ生産スル所ノ物ノ價格ガ上ラナイト云フ時ニ於テ、石炭ノ價格ヲ上ゲルコトハ私ハ決シテ差支ナイ

ト思ツテ居リマス、而シテ今日ハ石炭ノ値ヲ上ゲテモ其ノ生産スル物ノ値ヲ上ゲズシテヤリ得ル仕事ガ澤山アリマス、ナゼナラバ一ツノ工場ノ中デ十ノ機械ガ置イテアル、然ルニ二臺シカ働イテ居ナイ、而モ人間ハ十臺ノ機械ヲ動かカスダケ雇ツテアル、唯石炭ガ足りナイ爲ニ十臺動カスコトガ出來ナイト云フ時ニハ、其ノ工場ニ於ケル生産「コスト」ノ極メテ一部分タルニ過ギナイ石炭ノ値ガ上ツタトシテモ、石炭ガ得ラレルコトニ依ツテ十臺ノ機械ヲ皆動カスコトガ出來ルト云フコトニナツタナラバ、其ノ工場ニ於ケル生産費ト云フモノハ下リコソスレ、上ルヤウナコトハナイ譯デゴザイマス、サウ云フモノハ今日澤山アル下思ヒマス、併シサウ云フ仕事ガ澤山アルカト云ツテ其ノ方面ニ無暗ヤタラニ石炭ヲ澤山出スト云フコトニナルト、普通の石炭ノ配給ガ出來ナクナリ、一方ニ於テ非常ニ困ル所ガ起リマスカラ、サウ云フ場合ニ於テモ十分注意ヲシナケレバナラヌノデアリマスガ、其ノ事業其ノモノガ第三國ヘノ輸出ノ製造工業デアリ、或ハ軍需資材ノ製造工業デアリ、或ハ生活必需品ノ製造工場アルナラバ、其ノ點ニ對シマシテハ私ハ特定價格ヲ以テ配給シテモ宜イト思ヒマス、併シナガラ全般の石炭ノ値ヲ上ゲマシレバ、石炭ノ値ハ一應ニ對シテ五圓ナラ五圓上ゲタ所ガ、其ノ五圓上ゲタ結果ソレニ依ツテ生産サレル品物ノ値段ガ十圓モ二十圓モ上ツテ、全般の物價ノ騰貴ヲ招クヤウナコトガアリマシタナラバ、ソレハ私ハ今日ノ低物價政策ノ建前カラ非常ニ困ル状態ニ陥ルト思フノデアリマス、故ニ食糧品並ニ食糧品ニ關係スルモノ及ビ生産ノ基本デアアル所

ノ石炭、是等ニ對シマシハ全般の適正價格ガ出來テ、サウシテ總テノ物ノ價格ト云フモノガ低物價政策ヲ堅持シタ上ニ於テ適正價格ガ決定致サレル場合マデハ、或ル程度臨時措置トシテ補助金ヲ以テ之ヲ補助シテ行クコトハ私必要ダト考ヘテ居リマス、一タビ之ヲ上ゲレバ中々容易ニ下ゲルコトノ出來ナイコトハ森田君モ能ク御承知ト思ヒマス、隨ヒマシテ斯ノ如キ時代ノ二時的方法トシテ助成金ヲ或ル程度出スト云フ事柄モ、私ハ已ムヲ得ナイコトト思ヒマス、若シ今日石炭ノ如キ基本産業ニ屬スル品物ヲ値上致シタ結果トシテ、總テノ物ガ値上致スト云フコトニナリマス、其ノ影響スル所ハ極メテ重大デアリマス、政府ノ此ノ豫算ヲ消費シテ行キマス上ニ於キマシテモ、忽チ容易ナラザル影響ヲ生ジテ來ルノデアリマス、故ニ私今日ノ考ハ、生活ヲ確保スル上ニ於テノ品物ノ價格ヲ上ゲナイト云フ建前ニ於テ多少ノ助成スルコトハ仕方ナイ、産業ノ基礎タル石炭ノ如キニ對シテ多少ノ助成スルコトハ仕方ナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、之ヲ永續的ニ毎年々々ドモマデモ助成ヲ以テ行クト云フ事柄ハ、國家トシテ執ルベキコトデモナケレバヤルベキ仕事デモナイト思ヒマスガ、今日ノ場合ニ於テハ已ムヲ得ズ臨時の措置トシテ行ハネバナラヌコトデアアル、斯様ニ信ジテ居ル次第デアリマス

○森田委員 石炭ノ問題ハ實現シサウデスガ、是ハ此ノ席デ申シマセヌ、何レ委員ニ付託サレタ時ニ私ハ御尋シマス、此ノ場合ノ對策トシテハソレヨリ外ニナイヤウニ仰シヤツタガ、私ハ其ノ點ハ肯定致シマセヌ、併シナガラソレヲ此處デ議論シテモ時間ヲ

潰スノミデアリマスカラ致シマセヌ、ソレハアナタガ能ク冷靜ニ御考ニナルナラバ、此ノ石炭問題ヲ補助政策デ行クノガ宜イカ、買フ人間ニ金ヲ出サスガ宜イカ、國家ノ財政ト國民ノ經濟ト既ニ合セテ行クナラバ此ノ問題ハ自ラ私ハ分ルト思ヒマス——商工大臣ハ出ラレマスカ、出ラレマセヌカ

○木村委員長代理 商工大臣ハ今鑛業法ノ委員會ニ出テ居リマシテ、終ラナイ内ハ分ラヌサウデス

○森田委員 ソレデハ斯ウ云フコトヲ大藏大臣ニ一ツ御聽キンタイ、前回ノ議會デ藏相賀屋氏ガ増稅ノ委員會ノ席上デ言明シタコトデ、用ヒラレテ居ラスコトガアルノデス、斯ウ云フ問題デス、私ハ政治道徳ヲ辨ヘル人ナラバ——丁度昨日モ物品稅申上ガタヤウニ、議員ノ歲費ニ對スル所得稅ノ問題、旅費ヲヤルカヤラスカト云フコトヲ議論シタ時ニ、賀屋君ハ旅費ハ出サンデ宜シイ、議員ニハ旅費ヲ與ヘヌデモ歲費ト云フモノヲ出シテアリマスカラ、斯ウ云フ答辯デアリマス、サウスルト役人ナドノ旅費ニハ所得稅ヲ取ツテ居ルカト云フト取ツテ居ナイ、サウスレバ議員ダケノ旅費ノ代リニ歲費ト云フ名目デ出シテ置イテ、ソレニ對シテ所得稅ヲ取ルコトハイカヌデハナイカト云フ質疑應答ヲヤツタ、其ノ詳細ハ速記録ヲ御覽ニナレバ分ル——次ノ所得稅ヲ改正スル時ニハ此ノコトヲ考慮シマスト明瞭ニ言ツテ居リマス、ソレヲ今度改正ニ當ツテ爲スカト思フト更ニ改正シテナイ、今此處ニ來テ居ラレル人ハ賀屋君ノ時代ノ人々ガ多イ、併シソレガ多カラウト少カラウト、斯ウ云フ公開ノ席上デ議員トノ間ニ質疑應答ヲ重ネテ、次ノ改正ノ機會ニハ考

慮シヨウト云フコトヲ昭和十三年ノ春ノ議會デ言ツテ居ル、然ルニ今度ノ稅法ヲ見ルト——私ハ金額ノ問題ヲ論ズルノデハナイ、政治道徳上甚ダ怪シカラヌコトヲ論ジテ居ル、今度ハ旅費トコロデハナイ、分類所得稅ヲ課ケルノデハナイカト思フ、一般所得稅ヲ取ラスドコロデハナイ、綜合所得稅ノ外ニ分類所得稅ヲ源泉課稅デヤツテシマフノデハナイカト思フ、サウ云フナコトヲヤルノハ、如何ニモ一國ノ國務大臣トシテ責任アル答辯ヲ議員ニ與ヘテ置イテ、ソレヲ改正ノ機會ニ於テ更ニ知ラヌ額ヲシテ出シテ來ルト云フコトハ、德義上私ハ面白クナイト思フ、併シ德義ハ廢レタ、サウ重ンズル必要ハナイ、斯ウ思ハレルナナバ已ムラ得ヌト思ヒマスガ、大臣ハドウ御考ヘニナリマスカ

○櫻内國務大臣 私御承知ノ通りノ譯デ、就任シテカラマダサウ云フ點マデ調べテ居リマセヌガ、兎ニ角議會ニ於テ、國民代表ノ議場ニ於テ考慮スルト申シタコトハ、其ノ大臣タルト次ノ大臣タルト問ハズ、引繼ガアリマスル以上ハ其ノ問題ニ對シテ十分研究考慮スベキデアルト思ヒマス、私ハ其ノ引繼ヲ受ケテ居リマセヌカラ存ジマセヌケレドモ、併シ是ハ相當考慮シタ結果出來ヌコトニナツタノデハナカラウカト思ヒマス、尙ホ政府委員ヨリ御答申上ゲマス

○大矢政府委員 ソレハ懺カ昭和十三年ノ春ノ議會デ、支那事變特別稅法創設ノ場合カト思ヒマス、森田サンカラ其ノ當時御尋ガアリマシテ、私共ト致シマシテ議員ノ歲費ハ現行所得稅法上課稅スベキハ勿論、將來モ斯ウ云フモノハ課稅スベキモノト考ヘテ居ルト御答申シタ思ツテ居リマス、其

ノ當時太田政務次官カラ、議員ニ對シテ森田サンノ仰シヤルヤウナ旅費ヲ支給スル必要ガアルカドウカト云フコトニ付テハ考究ヲ要スルモノガアルカモ知レナイト云フ風ナ趣旨ヲ御答シテ居ルト私ハ存ジテ居リマス、此ノ度ハ所得稅法ノ第二條第四號ニ於キマシテハ歲費バカリデナク費用辨償ト云フ名前デ支給シテ居ルモノニモ、月額又ハ年額ヲ以テ支給スルモノハ、之ヲヤハリ他ノ俸給給料ト同ジヤウニ課稅スルト云フ建前ヲ執ツテ居ルノデアリマシテ、議員ノ歲費モ當然他ノ俸給給料ト同ジヤウナ性質デアルカラ、課稅スベキモノト考ヘテ居リマス

○森田委員 速記録ヲ御調べ下サイ、私ハ主稅局長カラ答辯ヲ承ツテ居リマセヌ、時ノ大藏大臣賀屋氏ト三四回應答ヲ重ネテ居リマス、明カニ次ノ改正ノ時ニハ考慮スルト言ハレテ居リマス、昭和十三年ノ春ノ増稅委員會デス、御調べニナレバ直グ分ル、私ガ斯ウ云フ風ニ問ウテ行ツタ賀屋君ガ困ツタデアリマセヌカ、議員ハ御承知ノ通り三箇月間モ東京ニ上京シテ宿ヲ取ツタリ車馬費モ要ル、之ニ旅費ヲ支給セヌ、地方官ナドガ陳情等ニ上京シテ來ル時ハ「バス」ヲ貰ツタ上ニ旅費ヲ取ツテ居ル、不都合デナイカト言ウタラ、賀屋君ニ對シテアナタ方ガ入智慧ヲシタ、何か「メモ」ニ書イテ渡シタ、ソレハ歲費ト云フモノヲ上ゲテアリマスカラ旅費ハナイノダト答辯シテ居ル、ソレカラ私ハサウデスカ、ソレハ迂濶千萬デシタガ、歲費ハ旅費デスカト言ウタラ然リト云フ、ソレナラバ旅費ニ所得稅ヲ取ツテ居ルノハドウカ、役人ヤ軍人ニ取ツテ居ルカト云ウタラ取ツテハ居ナイ、然ラバ此ノ點ニ付テハドウスルカト云ウタラ、次回

ノ所得稅ノ改正ノ時ニハ考慮シヨウ、アナタハソシナコトヲ言フガ、ソレハアノ時ノ速記録ヲ讀ンデ見レバ直グ分ル問題デス、サウ云フコトハ明々白々ニナツテ居ル、今度ハ實費辨償ニシタト云フガ、ソコノ所ハ讀ンデ居ナイノデ、若シ實費辨償ト云フナラバ、ソレハ市會議員ヤ、若シハ町村會議員ガ實費辨償トナツテ居ル、アレハ辨償代デス、町村會議員ナドガ貰ツテルノハ、僅カノ辨償代デアリマス、サウ云フ方面カラマデ分類所得稅ヲ取ラレ尙ホ餘計取ル人ハ其ノ上ニ綜合所得稅マデモ課ケラレルコトニナル、サウ云フコトヲヤルコトガ宜イデセウカ、宜イト云フ御考ナラバ私ハ何ラカ言ハンノデアリマスガ、旅費カラマデ所得稅ヲ取ル、ソレナラ私ハ官吏ノ旅費カラモ取ラナケレバイカヌト思フ、議員ガ三箇月間上京シテ——其ノ時斯ウ云フ答辯ヲシタ、東京ニ出張シテ來テ家ヲ借りテ居ル人ハ、宿泊料ハ要ラヌデハナイカト云フコトマデ言ハレタガ、ソレハ要リマス、ソレカト云ツテヤハリ家ヲ借りテ居レバ家賃ガ要リマス、國ト兩方ノ生活ヲヤツテ居ル、ガカラソレハ旅費ニナルベキ筋ノモノニハ所得稅ヲ課ケテハイカヌ、金錢ノ多寡ノ問題デアリ、筋ガ通ラスト云フコトヲ私ハ言ウタ、筋ヲ通シテ行カウデハナイカト云フ議論デアリマス、其ノ當時ノコトハ御調ニナレバ直グ分リマス、ソレカラ此ノ間ノ質問、私ハ其ノ問題ハ速記録ヲ持ツテ來テ願ヒタイト思フノデス

○大矢政府委員 此ノ問題ニ付キマシテハ、當時森田サンカラ大藏大臣ニ御尋ニナツテ、大藏大臣カラ相當御答ガアツタノハ事實デアリマス、其ノ内容等ハ更ニ速記録ヲ

見ルト分ルコトダト思ヒマスガ、大藏大臣ニ引續キ森田サンガ二日ニ互リマシテ質疑應答サレマシテ、當時松隈國稅課長及比太田政務次官カラ、相當詳細ニ御答シテ居ル筈デアリマス、何レ速記録ヲ見テ更ニ御答致シタイト存ジマス、尙ホ今回ノ所得稅法改正ニ當リマシテ、十分是等ノ點ヲ考究致シマシタガ、ヤハリ課稅スルノ適當トスル、斯ウ信ジマシテヤツタ次第デゴザイマス

○森田委員 アナタノ御話ノ通り二日ニ互ツテヤツタコトハ間違ヒナイ、翌日ハ事務ノ方ノ問題デ質疑應答ヲ重ネタノデス、是モ御覽ニナレバ分リマス、ソレハ速記録ノ上ニ現ニ證據ガ殘ツテ居ルカラ、是以上水掛論ヲセヌデモ宜イデセウ、ソレハ後廻シニシテ、其ノ當時質屋藏相ガ考慮——尤モ考慮ト云フコトハ今アナタガ御話ニナツタヤウニ、考慮シタガヤラス、今度ノ齋藤問題ナドデモ大變違フアナタノ黨ノ問題ダガ、考慮スルト云フコトハ、考ヘテ見ルト云フコトデアツテ、考ヘテ見タ結果ドツチニ行クカ分ラヌ、辭任スルノドウノ斯ウノト云ツテ居ル、併シナガラ考慮スルト云フコトハ、何ト云ツテモチツト腰ヲ落付ケテ考ヘ、冷靜ニ判斷スレバ自分ノヤツテ居ルコトハ無理ダ、無理ダト分レバ、ドウナルガ宜イカ考ヘ直スト云フコトガ、考慮デハナイデセウカ、世間一般ニ通ツテ居ル考慮ト云フコトハソコニ落付クモノト考ヘテ居ル、大藏大臣ハ一體考慮シタデセウカ、考慮シタ結果課セルコトニナツタ、ソレハサウ云フ答辯モ出來ラダラウ、今アナタノ所デ考慮ト云フコトニ付テノ食違ヒガ、現實ノ問題トシテ起キテ居ルデアリマセヌカ、ダカラ

シテ私ハ考慮ト云フコトハ若シサウデナケレバサウデナクテモ宜シイ、旅費ト云フモノニ課セルナラ全部ドソノ課ケナサイ、議員ノダケ課セルト云フコトハイケマセヌ、今度ハ此ノ機會ニ明瞭ニ致シテ置キタイ、旅費ニナル部分ニ對シテハ之ヲ所得稅トシテ分類ニセヨ、綜合ニセヨ課セルベキ性質ノモノデハナイ、何モ自分ノ所ノ家計費ニナルノデハナイ、其ノ點ハ一ツ御考慮キ下サイ、私ハ若シ今ノ通りニナサラウト云フナラバ、私ハ議員ノドナタト雖モ異論ガアルト思フ、此ノ旅費ニ對スル部分ニ稅ヲ課スルコトガ宜イト云フ今ノ主稅局長ノ答辯ハ獨善デス、自分ガ議員デナイカラ、ソノナコトヲ言フ、若シ主稅局長ノ旅費ニ所得稅ヲ課セルト云フタラ、此ノ人ハ大抵反對スルダラウ(笑聲)

次ハ此ノ間關聯質問デ私ガ質問シタ問題デアリマス、私ハ此ノ問題ハアノ當時ノ質疑應答ダケデハ満足ヲ致シマセヌ、法人ノ寄附ハ支出ニ認メル、個人ノ寄附ハ支出ト認メヌト云フ問題デアリマス、ソレハ法人ノ方ニハアナタガ仰ツシヤル通りニ、土地ノ値上リモ有價證券ノ値上リモ税金ニ取ツテ居ルカラ、寄附ノ如キモノモ支出ト認メル、ソレハ私モ其ノ通りト認メマス、其ノ代リ土地ヲ賣リ、有價證券ヲ賣ツテ損ヲシタ時ニハ、ソレハ支出ノ部ニ認メテ、營業ノ利益益以テ「カバール」シテアリマス、即チ法人ハ收入ガアツタ場合ニ稅ヲ取ラレルガ、ナカツタ場合ニハヤハリ損失金ト認メテアルノダカラ無稅デアリマス、此ノ點ハ宜イトデス、個人ノ方ハ寄附ハ認メヌ、其ノ代リ土地ヲ賣ツテ儲ケタ時ニモ稅ヲ取ツテナイト、アナタハ仰ツシヤルガ、ソレモ其ノ

通り、取ツテナイカラ個人ノ方ニハ損ヲシタ時ニモ引イテナイ、分ラナケレバ幾ラデモ申上ゲルガ、個人ノ場合ニハ儲ケテモ取ツテナイ、隨テ損ヲシタ時ニモ引イテナイ、其ノ點ハ私ハ分ラナケレバナラヌト思フ、法人ノ場合ハ儲ケタ時ハ取ルガ、損ヲシタ時ハ取ツテナイ、無稅デアリマセヌカ、サウスルト法人ノ寄附ダケハ除外トシテ認メ、個人ノ寄附ダケハソレヲ認メヌト云フコトニシテ行クト、今度ノ稅法ノ改正ノ結果ドウシテモ地方ハ強制寄附ガ流行ツテ來テ、ソコニ非常ナ衝撃ガ起ルト私ハ思フ、今ノヤウニ學校ノ講堂ヲ建テル、橋ヲ架ケル等、有ユル戸數割ヲ以テ支辨シテ居ツタヤウナ事業ガ、皆寄附事業ニ變ツテ來ルガ、其ノ時ニ個人ノ支出ヲ所得カラ引イテヤルコトニスレバ、案外イザコザガ少クテ濟ムコトハナイカ、而モ法人ニ引イテ居ルノデアルカラ個人ノ寄附モ支出ニ認メテヤレバ宜イデヤナイカ、ソレガイカヌナラバ法人モ取止メナケレバイカヌ、ソレハ公平ニ扱ハナケレバイカヌ、法人ノ寄附ハ之ヲ支出ト認メ、個人ノ寄附ハ之ヲ支出ト認メ、個人ノ寄附ハ之ヲ支出ト認メ、不公平ガ云フコトハ、ドウシテモ其ノ間ニ不公平ガアル、若シ夫レ個人ノ一時所得ヲ認メテナイカラ、一時損ヲ認メルナラバ、ソレモ書キ加ヘテ宜イデハナイカ、而シテ今度ノ修正條項ニ加ヘテモ構ハヌ、ドチラカ一ツ認メヨウデハナイカ、法人モ認メルノナラ、個人モ認メル、勿論御官ヤ御寺ニ寄附シタト云フヤウナモノハ是ハ今日別問題デ、ソレハ稅ノ形ヲ成シテ居ルノト違フ、此ノ點ハ主稅局長デモ宜イシ、大藏大臣デモ宜イガ、其ノ不公平ヲ繼續スルガ宜イカドウカト云フ問題ナノデアアル、之ヲ聽キマセウ

○大矢政府委員 法人ノ場合ニ於キマシテハ財産ノ處分益モ益金ニ認メマス、財産ノ處分損モ損ニ認メマス、入ツテ來ルモノハ益金、出テ行クモノハ損金、而シテ寄附金モ出テ行クモノデアルカラ損金デアリマス、個人ニ於テハ入ツテ來ルモノハ總テ所得ニ認メテ居リマセヌ、財産ノ處分益ノヤウナモノヲ益金ニ認メテ居リマセヌ、隨テ財産ノ處分損モ損ニ認メテ居リマセヌ、寄附金モ所得ヲ得ルニ必要ナル限度ノモノハ損ニ認メテ居リマセヌ、其ノ人ノ社會的地位、資産ノ多寡等ニ應ジテ寄附シテ行クモノハ、所得ヲ得ルニ必要ナル經費ト認メラレマセヌカラシテ、所得カラ差引キマセヌ

○森田委員 ソレデハ私ノ言フノト一ツモ違ハナイ、違ハナイカラ法人ノ寄附ヲ認メヨウデヤナイカ、個人ノ寄附モ法人ノ寄附ト同様ニ認メタラドウダト云フノデス

○大矢政府委員 サウ致シマスルト、法人ノ所得ノ計算ト個人ノ所得ノ計算トヲ、同ジヤウニシナケレバナラヌト云フコトニナリマス、私ハ法人ノ所得ノ計算ト個人ノ所得ノ計算トハ立テ方違ツテ居ルカラ、寄附金ニ付テモ自ら違ツタ扱ヲシナケレバナラヌト云フノデアリマス、アナタノ仰ツシヤル法人ト個人ト同ジヤウナ計算ニセヨト云フノハ、獨リ寄附金バカリデハナイ、財産ノ處分益モ所得ニ見ロ、處分損ヲモ經費ニ見ロ、其ノ上デ初メテ寄附金モ經費ニ見ロ、斯ウ言ハナケレバナラナイ、ソコニ寄附金ダケ取ツテ來テ法人ト同ジヤウニ扱ヘ、其ノ他ノモノハ其ノ儘ニシテ置ケト仰シヤルヤウニ私ハ伺ヒマシタガ……

○森田委員 サウ言ツタノデハナイ、主稅局長ハ速記録ヲ見レバ私ノ言フコトハ御分

リニナルノデア、私ガ言フノ之ニ逆ニ考ヘテ見タラ宜シイ、個人ノ方ハ一時所得ヲ認メテナイ、一時損モ認メテナイ、是ハ認メテモ宜イ、ドツチニシテモ同ジダト云フコトデア、ドツチノ道ヲ行ツテモ、一方ニハ收入ガ認メテアルカラ支出ヲ認メ、一方ニハ收入ガ認メテナイカラ支出ヲ認メテナイ

〔木村委員長代理退席、委員長著席〕

一時所得ノ問題ガサウ云フ譯ダカラ、サウ云フ風ニナツテ居ルノニ、獨リ寄附金ダケハ法人ハ支出ニ認メテアルガ、個人ハソレニモ拘ラズ支出ニ認メテナイカライカスト言フノデア、若シ所得ノ計算方法ヲ變ヘヨウトスルナラバ、變ヘテ宜シイ、大體景氣ト云フモノハ十年ニ一度來ルカ、二十年ニ一度來ルカデ、從來ノ例ニ依ツテ日露戰爭以來ノ波ノ線ヲ引イテアルノヲ見ルト、十年ニ大體一回來テ居ル、是ハ大藏大臣モ能ク御承知ノ答デア、ソレデアアルカラ個人ノ方モ一時所得ヲ認メ、一時損ヲ認メテ貰フノダガ、サウ云フモノヲアナタノ方カラ出シタコトガナイ、ナゼナラバ自分ノ方ガ損デアアルカラ出サナイ、法人ノ方ハ出シテ居ルガ、出ス方ガ損ト見レバ出サナイ、得ト見レバ、出スト云フヤウナヤリ方ヲスルカラ親切ガナイ、本當ヲ言フナラバ同時ニ親切ニ扱ツテ貰ヒタイ、ソレデアアルカラ私ハ此ノ個人ノ寄附モ認メテアルコトガ宜イ、法人デ認メテアル以上ハ、...法人ノ問題デハ一時所得ヲ認メテアルカラ、一時損モ認メテアル、個人ノ方ハ一時所得ヲ認メテナイ代リニ、一時損ヲ認メテナイカラ同ジコトデナイカト云フ、同ジコトデアアルカラ寄附金モ同ジヤウニシテヤラウデヤナイカ、

ソレヲ早ク言ヘバ所得稅法ヲ、個人ノ一時所得ヲ認メ、個人ノ一時損ヲ認メルヤウニ改正スレバ宜シイ、ダカラ大藏大臣ハ之ニ一ツ同意ヲセラレタラドウカト思フ、私ノ質問スルノハ同意デアアルカドウカト云フコトデス、主稅局長ト私ノ双方ヲ御聽キニナツタラ、御分リニナルト思ヒマス

○大矢政府委員 分リマシタ、アナタノ仰

セノ通り個人ノ所得モ、法人ノ所得計算ト同ジヤウニナルコトガ出來ル、其ノ方ガ適當ナリトスレバ、寄附金モ法人ト同ジヤウニ扱ツテ然ルベシト存スルデアリマス、私ハ個人ノ所得計算ハ法人ノ場合ト現行法モ違ヘテ居リ、改正法ニ於テモ違ヘテ居ル、之ヲ法人ト個人ト同ジヤウニスル譯ニハ行カナイ點ガアル、之ヲ前提ニシテ御答シテ居ツタ次第デアリマス、アナタノ仰シタルノハ、ソレハ獨リ寄附金ノ問題デヤナク、總テノ計算ヲ同ジヤウニナル、斯ウ云フ趣旨ナラバ、一ツノ御見解ト存ジマスガ、但シ私共ハ現在ノ程度ニ於キマシテハ、我國ニ於テサウ云フ所得ノ計算方法ハ、個人ニ付テ致スノハマダ適當デナイト考ヘテ居リマス

○櫻内國務大臣 法人ノ寄附ヲ損金ト見

テ、個人ノ寄附ヲ損金ニ立テヌト云フコトハ不都合デアアルカラ、ドツチモ同ジヤウニシタラ宜イダラウ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、此ノ問題ニ對シマシテハ、主稅局長カラ先刻モ度々申上ゲマシタ通り、法人ノ計算ト個人ノ計算トガ違ツテ居ルノデアリマシテ、計算ノ仕方ガ根本ニ於テ違ツテ居ルノデアリマスカラ、寄附金ト云フモノヲ支出ニ見ルト云フ事柄ハ、是ハ實際ノ上ニ於テ甚ダ困難ガアルデハナイカト思ヒマス、若シ個人ノ收入カ

ラ寄附金ガ自由ニ出來ルト云フコトヲ假定致シマシタナラバ、是ハ私ハ左様ナ人ハ日本ニハナイト思ヒマスケレドモ、稅ヲ免レル故ニ寄附スルト云フヤウナ事柄ガ、存外起ツテ來ヌトモ限ラナイデアリマス、又寄附ト云フモノノ金額ガ、非常ニ色々ナ口數デ殖エテ來ルヤウナ場合モ起ツテ來ルデアリマス、會社ノ金ノ方ハ何ト云フテモ會社事業ノ目的ノ範圍ヲ逸脱シテ、多額ノ寄附ヲスルト云フヤウナコトハ出來得ナイコトデアアルデアリマス、個人ノ場合ニ於キマシテモ、其ノ個人ノ營業ノ所得ニ要スル所ノ寄附金ハ、是ハ經費ト認メテ居ルノデアリマス、唯其ノ人ノ社會的地位、或ハ其ノ人ノ特質ニ基ク所ノ寄附金ダケガ除外サレテ居ルノデアリマシテ、事業ノ利益ヲ得ル爲ニ、所得ヲ得ル爲ニ使フ寄附金ハ、是ハ經費ノ中ニ繰込メ居ルノデアリマスカラ、私ハ現在ノ儘差支ナイト思ツテ居リマス

○森田委員 分ツタヤウナ分ラヌヤウナコ

トヲ仰シヤルガ、只今大藏大臣ノ仰シヤツタ寄附ヲ個人ガスレバ稅ヲ免レルト云フノハドウ云フ譯デス、寄附ヲスレバ稅ヲ免レルノハ當然デヤナイカト思フ、自分ノ手許カラ出テ行クモノハ、ソレヲ御除ケテナイト云フノデス、其ノ人ノ分ニ相應シタト云フガ、寄附ハ何ノ寄附デモ身分相應ニヤラナイモノハアリマセヌ、但シ衆議院ノ寄附ハ十圓均一ニナツテ居ルガ、地方デハ其ノ人ノ所得稅ノ納メ高ニ依ツテ取ツテ居リマス、講堂ヲ建テルノデモ、橋ヲ架ケルノデモ、或ハ災害ノ起ツタ場合デモサウデアアル、御承知ノ通り近來ハ物ヲ國ニ移管シテ呉レト云ヘバ、ソレニハ條件ガ付クノデス、學

校ニセヨ何ニセヨ同ジデア、國ニモ市町村ニモ力ガナイカラ強制寄附見タヤウナモノデス、ソレデアアルカラサウ云フ寄附ヲ出シタ者ハ、稅金ヲ免レル虞ガアルトアナタハ仰シヤツタガ、寧ろ免レサシタイ、サウ云フ寄附ニ出シテ行ク金ニマデ稅金ヲ取ラセルノハ本當デハナイ、是ハ今ノ法律ヲ行ケバ特別住民稅ノヤウナモノデア、デアアルカラ私ハ支出モ認メテアルガ宜イ、是カラ稅金ヲ取ルベキ筋合ノモノデアアリマセヌ、アナタハ稅金ヲ免レル虞ガアルト云ハレレガ、ソレドコロデアハナイ、大イニ稅金ヲ免レサセタイ、今ノ主稅局長ノ御答辯デハ明日ノ朝マデヤツテモ同ジコトナンデア、私ノ言フ通りヲ認メテ居ル、認メテ置イテ、若シ計算ノ方法ガアナタニ分ラナケレバ、法人ノ方モ個人ノヤウニスレバ宜シイダラウト云フト、其ノヤウニハ致シ兼ネルト云ハレレ、アナタガ本當ニソレニ同意ナラバ、宜シイ個人モ法人モ同ジヤウナ計算方法デアラウ、斯ウ言ヘバ宜イガ、個人ハ法人ヨリ餘計取ラウト云フ御考ガアルカラ、其ノ計算方法ニ同意ナサラヌ、本當ヲ言ヘバ個人モ法人ト同ジヤウニ總收入カラ總支出ヲ認メテ、其ノ殘ツタモノニ所得稅ヲ課ケテ行クト云フヤリ方ガ宜イ、サウシテ行ケバ寄附ノ問題モ自ら頭ノ中ニ入ツテ來ル、私ニ言ハセレバサウ云フコトヲセヌデモ、頭ノ中デ一方ハ收入ヲ認メテ支出ヲ認メテ居ル、一方ハ收入ヲ認メテ支出ヲ認メテ居ナイカラ、隨テ寄附ハ兩方認メテヤレヌト云フ、五分々デアアル、サウシテ四ノ五ノ言ハレレガ、分ツテ言フノカ、分ラヌ言フノカ知ラナイガ、本當ハ皆分ツテ居ル答デア、是ハ議論ヲヤツテモ仕方ガナイ、討

論マデニハ深甚ノ考慮ヲシテ才置キナサル
方ガ宜シイト思フ、私ハ此ノ點ハ明瞭ニシ
タイト思フ

○櫻内國務大臣 森田君ノ御議論ハ私大體
分リマシタガ、無論學校ノ建築デアルト
カ、道路ノ改修デアルトカ、色々ナ問題ニ
對スル寄附ト云フモノハ今日澤山アリマス、
サウ云フモノガ私ハ脱税ニナル虞ガアルト
申スノデアリマセヌ、ソレハ此ノ利益ノ
金額ヲ少クスル爲ニ、寄附ノ行爲ガ行ハレ
ル場合ガナイトハ限ラナイデアリマス、
私ソレヲ申上ゲルコトハ差控ヘタイト思ヒ
マス、唯先刻モ申シマス通り、現在ノ案ノ
建前ハ、所得ヲ得ルニ必要ナ部分ハ認メマ
スガ、今ノ寄附金ト云フモノハハ全ク未
確定ノモノデアリマシテ、何處ニ何時寄附
スルノカ、何時寄附ガ起ツテ來ルノカ全ク
分ラヌヤウナ状態デアリマス、隨ヒマシテ
一定ノ建前ノ豫算ヲ組ム上ニ付キマシテハ、
是ハ意外ナ誤算ガ起ツテ來ルト思ヒマス、
ソレカラ個人ノ收支豫算ヲ會計ヤ法人ト同
ジヤウナ風ニ取扱フコトハ、是ハ可ナリ難
カシイノデアリカト私ハ思ヒマス、法人
ノヤウニスツカリ帳簿ガ出來テ居ルト云フ
譯デモナシ、是ハ非常ニ錯雜ナコトニナリ
ハシナイカ、斯ウ云フ見地カラ今ノヤウナ
建前ニナツテ居ルノデアリマシテ、少シ個
人ト法人トノ違フト云フコトヲ御諒解願ヒ
タイト思ヒマス

○森田委員 政府ノ方デハ、取ルコトニ都
合ノ好イ方ハ錯雜デモヤルト言フシ、ソレ
カラ收入ノ減リサウナ分ニハ、錯雜ナコト
ハヤラヌト言フシ、實ニ勝手ナ答辯ヲヤル
コトニハ私ハ遺憾ノ意ヲ表シテ居ル、サウ
云フ筋合デアリカヌ、復雜ナコトハ、今日

ノ遊興稅ヲ取立テテノデモ、物品稅ヲ取立
テテノデモ、隨分復雜ナ徵稅デ、今ノヤウ
ナ問題ドコロデハナイ、今ノ個人ノ收入支
出ヲ見ルト云フコトハ會社ト同ジコトデ
ス、此ノ點ハ意見ノ相違シタ儘次ノ問題ニ
移ルコトニシマス

是カラ私ノ御尋シタイノハ、此ノ間主稅
局長サント立話ヲシタ時、綜合所得ノ計算
ヲヤル場合ニ、分類所得稅ヲ引イタモノヲ
所得ト見ルカト言ツタラ、ソレハサウデハ
ナイ、分類所得稅ヲ差引カナイモノヲ所得
ト見ルト云フ御話デス、ソレト同ジ答辯ナ
ラモウ聽カヌデモ宜シイ、併シ私ハソレデ
ハイカヌト思フ、今日ノ綜合所得稅ハ、源
泉課稅トシテ既ニ支拂フ所デ稅金トシテ引
去ツタ殘リヲ貫ツタ金額ニ課稅スベキモノ
デアルト思フ、貫ハヌ金額ヲ所得ト見テ課
稅スルト云フコトハ、ソレハ不收入ヲ收入
ト見テ課稅スルコトニナル、收入シタ金額
ダケニ課稅スベキ筋合デアリカト思フ、
是ハ私ノ意見デス、併シ主稅局ノ方ノ意見
ハ分類所得稅ヲ差引カザル表面ノ支拂金額
ニ綜合課稅ヲ課セル、斯ウ云フガ、大藏大
臣ハソレレ宜イト云フ御考デアリマスカ

○櫻内國務大臣 兎ニ角收入ニ課セルノデ
アリマスカラ、其ノ課ケ方ガ二通りニナラ
ウト、一通リデアラウト、其ノ收入ヲ基本
ト致スコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトト思
ヒマス

○森田委員 收入ノ基本ハ私ニモ分ツテ居
ルガ、收入ガ違フノデス、例ヘバ假ニ株ノ
配當言フナラバ、五圓ト云フ配當ヲ拂フ
ガ、内五十錢ナラ五十錢ハ分類所得稅ヲ引
去ル、ダカラ株主ノ貫フノハ四圓五十錢デ
アル、其ノ場合ニ四圓五十錢ニ稅ヲ課セル

カ、或ハ既ニ政府ガ引去ツタ五十錢ヲモ加
ヘテ課セルカ、此ノ間私ガ立話デ主稅局長
サンカラ聽イタノデハ、其ノ五十錢ヲ引カ
ヌモノニ課セルノダト云フ風ニ聽イタカ
ラ、ソレデハ大變ダ、國民ハ貫ハヌ金ニ綜
合所得稅ヲ課ケラレルベキ筋合ノモノデハ
ナイ、現在ノ配當利得モ、源泉課稅ノ超過
利得稅ヲ拂ツタ殘リヲ收入トシテ見テ居ル
ノデス、デアアルカラ今度モ分類所得稅トシ
テ納メタ所ノ稅額ヲ除ケタモノヲ國民ノ所
得トシテ、ソレニ綜合稅所得ヲ課スベキガ
本筋デアルト思フノデス、大藏大臣ノ答辯
ノ收入ノ原則トシテ居ルト云フコトニ付テ
ハ變リハナイノデス、其ノ收入ハ何處ヲ押
ヘルカ、收入ノ押ヘ場所ヲ私ハ問ウテ居ル
ノデス、金ノ入ラヌ金額ヲ押ヘルカ、入ツ
タ金額ヲ押ヘルカト云フコトデアリマス

○櫻内國務大臣 金ノ收入ハ、例ヘバ五十
圓ノ配當ヲ受ケマス、其ノ中カラ五圓ノ稅
金ヲ拂ツテ四十五圓ヲ受取ルト仰セラレル
ガ、其ノ中ノ五十圓ハ稅デアリマス、即チ
收入ハ五十圓デアアルガ、其ノ中カラ五圓ノ
稅金ヲ課セルコトヲ、代ツテ源泉ニ於テ課
稅スルノデアツテ、收入ハ元來五十圓アル、
其ノ中カラ稅ノ五圓ヲ源泉ニ於テ取立テテ
ト云フニ過ギナイデアリマス、隨ヒマシ
テ綜合課稅ノ場合ニ於キマシテ元ノ所得デ
アル所ノ五十圓ヲ基準トスルコトハ、是ハ
ドウモ已ムヲ得ナイト思ヒマス、ソレハ丁
度法人稅デ、今回問題ニナツテ御議論ニナ
ツテ居ル所ノ稅込、稅引ト同ジヤウナ關係
ニナルダラウト考ヘテ居リマス

○大矢政府委員 今ノ問題ハ要スルニ今度
ノ所得稅ハ、所得ノ種類ニ應ズル負擔力ノ
相違ヲ見テ分類所得稅ヲ課シ、所得ノ高ニ

應ズル負擔力ノ相違ヲ見テ綜合所得稅ヲ課
シ、此ノ分類所得稅、綜合所得稅ガ兩々相
俟ツテ負擔力ニ應ズル課稅ヲスル、何レガ
先カ何レガ後カト云フコトデハナイノデゴ
ザイマス、而シテ主トシテ配當利子ニ付テ
ノ御話デゴザイマスケレドモ、配當利子ニ
於キマシテモ、源泉課稅ヲ受クルニハ本法
施行地内ニ於テ支拂ヲ受クルモノデアリマ
シテ、本法施行地外ヨリ支拂ヲ受クルモノ
ニ付テハ乙種ト致シマシテ、源泉ノ課稅ハ
受ケマセヌ、其ノ外事業所得、不動産所得
ハ源泉課稅ハ受ケナイノデアリマシテ、是
等總テヲ通ジマシテ、大臣ノ御答致シマシ
タ通り、配當利子ナラ收入金、勤勞所得ナ
ラヤハリ收入金、事業所得、不動産所得ナ
ラ收入金ヨリ必要ナル經費ヲ引イタモノヲ
以テ所得ト見ル、サウシテ五千圓以下デア
リマスレバ分類所得稅ノミ、五千圓ヲ超過
スル場合ニ於キマシテハ、分類所得稅ト綜
合所得稅トヲ課稅スル、斯ウ云フコトデア
リマス、唯源泉課稅ヲ受ケル者ハ稅ヲ納メ
ル時期ガ早クナツテ居ル、是ダケノ話デア
リマシテ、所得計算上他ノモノト更ニ異ル
所ハナイノデアリマス

○森田委員 ソレダカラアナタノ意見ハ此
ノ間カラ聽イテ居ラス、初メカラ宜イト言
ウタノデス、アナタハ取ルト言フケレドモ、
ソレハ不都合デアリカト云フコトヲ言ウ
テ居ルノダカラ、取ル取ラヌト云フコトハ
聽ク必要ガナイ、アナタハ綜合所得稅ガ先
ヤラ源泉課稅ガ後ヤラ分ラヌト仰シヤルガ、
後先ハ分ツテ居リマス、源泉課稅ノ方ヲ先
ニ取ツテ、個人ニ收入ガ入ツテ、今度ハ綜
合所得ノ方ガ後ニ課ツテ來ル、源泉課稅ト
綜合課稅トヲ一遍ニ課セル方法ガアリマス

○大矢政府委員 今ノ問題ハ要スルニ今度
ノ所得稅ハ、所得ノ種類ニ應ズル負擔力ノ
相違ヲ見テ分類所得稅ヲ課シ、所得ノ高ニ

應ズル負擔力ノ相違ヲ見テ綜合所得稅ヲ課
シ、此ノ分類所得稅、綜合所得稅ガ兩々相
俟ツテ負擔力ニ應ズル課稅ヲスル、何レガ
先カ何レガ後カト云フコトデハナイノデゴ
ザイマス、而シテ主トシテ配當利子ニ付テ
ノ御話デゴザイマスケレドモ、配當利子ニ
於キマシテモ、源泉課稅ヲ受クルニハ本法
施行地内ニ於テ支拂ヲ受クルモノデアリマ
シテ、本法施行地外ヨリ支拂ヲ受クルモノ
ニ付テハ乙種ト致シマシテ、源泉ノ課稅ハ
受ケマセヌ、其ノ外事業所得、不動産所得
ハ源泉課稅ハ受ケナイノデアリマシテ、是
等總テヲ通ジマシテ、大臣ノ御答致シマシ
タ通り、配當利子ナラ收入金、勤勞所得ナ
ラヤハリ收入金、事業所得、不動産所得ナ
ラ收入金ヨリ必要ナル經費ヲ引イタモノヲ
以テ所得ト見ル、サウシテ五千圓以下デア
リマスレバ分類所得稅ノミ、五千圓ヲ超過
スル場合ニ於キマシテハ、分類所得稅ト綜
合所得稅トヲ課稅スル、斯ウ云フコトデア
リマス、唯源泉課稅ヲ受ケル者ハ稅ヲ納メ
ル時期ガ早クナツテ居ル、是ダケノ話デア
リマシテ、所得計算上他ノモノト更ニ異ル
所ハナイノデアリマス

○森田委員 ソレダカラアナタノ意見ハ此
ノ間カラ聽イテ居ラス、初メカラ宜イト言
ウタノデス、アナタハ取ルト言フケレドモ、
ソレハ不都合デアリカト云フコトヲ言ウ
テ居ルノダカラ、取ル取ラヌト云フコトハ
聽ク必要ガナイ、アナタハ綜合所得稅ガ先
ヤラ源泉課稅ガ後ヤラ分ラヌト仰シヤルガ、
後先ハ分ツテ居リマス、源泉課稅ノ方ヲ先
ニ取ツテ、個人ニ收入ガ入ツテ、今度ハ綜
合所得ノ方ガ後ニ課ツテ來ル、源泉課稅ト
綜合課稅トヲ一遍ニ課セル方法ガアリマス

カ、私ハナイト思フ、源泉課税ヲヤツテ、分類所得稅ヲ課ケタモノヲ、各所カラ報告ヲ集メテ、之ニ綜合所得稅ヲ課ケテ行カナケレバナラヌト私ハ思フカラ、ドチラガ後カ先カ分ラヌト云フコトハナイ、必ズ源泉課稅ガ先ニナル、サウシテ綜合所得稅ノ方ガ後ニ課ル、ドチラガ後ヤラ先ヤラ分ラヌト云フヤウナ曖昧ナコトハ國民ニ言ハヌ方ガ宜イ、ソレデハ所得稅ト云フモノハボツボツ拂ツテモ宜イト云フコトニナルノカ、是ガ先ニ拂フノデナクテ何ゾヤ、後ヤラ先ヤラ分ラヌト云フヤウナ説明ハ私ハ肯定致シマセヌ

○大矢政府委員 私ハ個人ノ所得稅ハ、所得ノ種類ニ應ジテ、負擔力ノ差異ヲ見テ課稅スルノガ分類所得稅、所得ノ高ニ應ジテ課稅スルノガ綜合所得稅、此ノ兩々相俟ツテ各人ノ擔稅力ニ應ズル課稅ヲスルノダ、何レヲ先ニスル、何レヲ後ニスルト云フコトハナイノダ、斯ウ申上ゲテ居ルノデアリマス、尙ホ源泉課稅スルモノニ付キマシテハ、稅ヲ納メル時期ハ先ニナツテ居ル、此ノ事モ申上ゲテ置イタノデアリマス

○森田委員 是ハ源泉課稅ヲシテ殘ツタモノニ綜合所得稅ケルノガ當然ダト思フガ、今ノ大藏當局ノ答辯ハ、悉ク此ノ源泉課稅ヲ引カザル不收入ヲ收入ト見テ課稅スル、斯ウ云フノデスガ、是レ以上押合ヒハシマセヌ、何レサウ云フコトガ至當デアルカナイカハ、全委員ガ判斷シテ決メレバ宜シイ、不收入ヲ收入ト見テ課稅スルト云フコトハ、私ハイカヌト思フ、ソレハ全委員ガ決メタルカラ宜イ、ヤハリ國民ノ手ニ入ラヌ金デモ取ル方ガ宜イト云フナラバ、已ムヲ得マセヌ、ソレハ其ノ時ノ問題ニ殘シテ置キマス、今

ノ問題ハ、全委員ガ協議ヲヤル機會ガアルカ、ドウ云フコトガアルカ、其ノ時ニハ私ノ意見ヲ述ベル、此ノ問題ハ大藏省ト私ト意見ガ全然違フカラ、此處デヤツテ時間ヲ潰ス必要ハナイ

ソレカラ次ノ質問ハ、支那事變特別稅法ハ、此ノ間カラ他ノ委員カラ質問モアツタ、アレハ御承知ノ通りニ支那事變終了後一年經テバ廢メルコトニナツテ居ル、今度ハ臨時利得稅ニ組入レタ、臨時ト云フ名前ハ付イテ居ルガ、今度ハ期限ハ付イテ居ナイ、前ニ臨時利得稅ヲ創設シタ時ニ、昭和十年ノ議會ダツタト思フガ、當分ト云フ文字ガアツタ、當分ト云フ文字デハイカヌト云フノデ、昭和十二年トカ十三年トカ年限ヲ入レタ、今度ハ年限ガ入ツテ居ラヌガ、臨時利得稅ト云フ名前デアリナガラ、此ノ法律ノ施行ノ年限ガ切ツテナイノハドウ云フ譯デスカ

○大矢政府委員 是ハ前ニ明瞭ニ御答シテ置キマシタ、支那事變終了ノ翌年末マデニ廢止スル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、其ノ點ハ今回ノ改正ニ於キマシテモ別ニ觸レテ居リマセヌ

○森田委員 臨時利得稅法ノ何處ヲ見テモ書イテアリマセヌ

○大矢政府委員 臨時利得稅法ハ、所得稅法ノヤウニ新シク全文ヲ改正シタノデハゴザイマセヌ、改正シナイ所ハ元ノ儘ニ殘ツテ居ルノデゴザイマス

○森田委員 分リマシタ、ソレナラバ御手數ヲ掛ケズニ、親切ニ初メカラサウ言ツタラ宜イ、其ノ事ヲ言ツテアリサヘスレバ分ルソレカラ家屋稅ノ問題デス、是ハ併シ此ノ間大藏省ハ慣レテ居ナイカラ餘リヤツテ

吳レルナト云フ話デアツタ、私ハ餘リヤリマセヌ、唯私ハ一點大藏當局ニ御尋シタイノハ、從來家屋ノ賃賃價格ノ決定ニ際シ異論ノアル點ハ、家賃ノ決マツテ居ル賃賃價格ハ宜シイ、サウデナイモノハ異論ガアツテ、行政訴訟モ澤山起キテ居リマス、色々出來テ居ルノデアアルガ、今度ノ賃賃價格ヲ決メル方法ハ、之ヲ讀ンデ見タガ、此ノヤリ方ガ地方ニアツタモノト大差ハナイ、ソレナラバ、家屋ノ賃賃價格ト實情トガ即セヌコトガ澤山出來テ來ルト思フ、地方ニ依ツテ土地或ハ町ノ繁昌スル所、然ラザル所、或ハ同ジ家デモ、建築費ニ依ツテ決定シテ來テ居ルガ、建築費ノ高イモノガ必ズシモ家賃ガ高イトハ決マラナイ、是ハ一ツ主稅局長デモ宜イシ、他ノ説明員デモ宜イガ、地方デヤツテ居ツタ今日行政訴訟ニナツテ居ル其ノ惡イ點ハ何處デアツタカ、若シ分ツテ居レバ御伺シタイ、併シハ慣レテ居ラヌト云フコトデアアルカラ深クハ申上ゲマセヌガ、國ニ移シタ以上ハ地方ニアツタ時ヨリ良クシナケレバナラヌ、地方ニアツタ時ヨリモ斯ウ云フコトデ明確ニシタノダト云フコトガアレバ、御伺致シタイ

○大矢政府委員 從來地方稅トシテ家屋稅ガアツタノデアリマシテ、此ノ家屋稅ノ課稅標準ガ、家屋ノ賃賃價格デアアル、此ノ賃賃價格ハドウシテ決メタカト云フト、今度ノ國稅トシテ起サウトスルモノト、大體同ジヤウナ趣旨ノ規定ガアルノデアリマス、併シナガラ地方稅ト致シマシテ家屋稅ハ永イ沿革ガアリ、殊ニ大正十五年ノ稅制整理ノ際ニ於キマシテモ、財源等ノ關係ヨリ致シマシテ、法文ニ現ハサレテ居ルヤウナ調査決定ノ出來テ居ナイト云フコトハ、是ハ

普ク知ラレテ居ル所デアリマシテ、戶數割的ノ性質ハ多分ニ含マレテ居ルノデアリマス、其ノ點ハ地方稅トシテノ物稅ノ家屋稅ノ非常ナ短所デアリマス、隨ヒマシテ此ノ度國稅トシテ創設スルニ當リマシテハ、此ノ舊來ノ陋習ヲ全ク脱却致シマシテ、物稅ノ本來ノ性質ニ基イテ、課稅標準ノ決定ヲ適當ニ致シタイト存ジテ居リマス、森田サシノ仰セノ通り、國ト致シマシテハ實ハ家屋稅ノ調査ハ十分致シテ居リマセヌ、隨ヒマシテ此ノ際一年限りノ調査デ、是非國稅ニ移シタラト云フヤウナ希望モ、内務省方面ニモ大分アリマシタケレドモ、私共ト致シマシテ、十分ニ調査ノ完畢ヲ期シタイト云フ趣旨ヲ以チマシテ、調査期間ヲ二年ト致シマシタ、各地ノ狀況モ能ク調査致シマシテ、一面ニ於テハ又餘リニ理論ニ走ツテ、農村方面ノ家屋ノ實情ニモ副ハナイト云フ點ガアツテハイケマセヌカラ、出來ルダケ廣ク資料ヲ蒐集シテ、課稅標準ノ調査決定ヲ適當ナルモノニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○森田委員 今日總理大臣ハ出ラレマスカ、出ラレマセヌカ

○堀切委員長 今聞キニ行ツテ居リマス

○森田委員 御願シマス——家屋稅ノ問題ハドウゾ一ツ、從來府縣ガヤツテ居ツタヤウナ風デナク、命令事項ナリヲ作ル時ニハ本當ニ實情ニ即シタ、現在ノヤウニ行政訴訟ガ澤山出ナイヤウナ方法ニ決メテ貫ヒタイト思ヒマス、家屋稅ノ問題ハヤラヌヤウニト云フ註文通リニ致シマセウ、慣レテ居ラレヌ人ヲ相手ニシテヤツテ見タ所デ仕方ガナイ

小所得者ニ對スル問題ノコトニ付テハ、

小笠原君カラ話ガアツタノデ、私ハ小笠原君ト大體感ヲ同ジクシテ居ル、四百圓ヤ六百圓ヲ越シタラ直グニ稅ヲ取ルト云フコトハ、今日ノ場合一層ヤルベキ筋合デハナイト考ヘテ居ル、私ハ今一點、四百圓以上、六百圓以上ニ課スル稅率ト五千圓弱ノモノニ課スル稅率ト同ジデアアル、私ハ本會議デモ申上ゲタ、勅任官二等ノ者ハ五千圓ガ一寸缺ケルノデセウ、サウ云フヤウナ所ノ稅率ト、六百圓、五百圓取ル人ノ稅率ヲ同一ニシタノデハ、負擔ノ均衡ヲナシテ居ナイノデハナイカト云フコトヲ本會議デ問ウタノデアリマス、ソレニ對シテハ明確ナ御答辯ハナカツタ、私ハ今デモ此ノ點ハ稅率ニ等差ヲ設ケルベキモノダ、同ジ分類所得稅デモ、勤勞所得トシテ六百圓ヲ一寸出ル人ニ百分ノ六ヲ課ケ、四千九百圓若クハ四千八百圓取ル人ニモ、ヤハリ百分ノ六ヲ課ケルト云フコトハ、ドウモ負擔ノ均衡ヲ保ツタ、穩カナ案トハ思ハレヌ、併シ法律ヲ

作ル立法技術ノ上カラ言フナラ、面倒ガカラ段階ハ設ケナカツタノカモ知レヌ、私ハヤハリ適當ナ段階ヲ設ケヌト、本當ノ小サイ所得者ハ、是ガ最低ヲ四百圓ナラ幾ラニナル、六百圓ガ幾ラニナルト云フコトハ後日ノ問題トシテ、現在出テ居ル原案ヲ楯ニシテ論ジタ場合ニ、此ノ間ニ適當ナ稅率ノ等差ヲ設ケルベキモノデアアル、現在行ハレテ居ル第三種所得稅法デハ、千圓以上ノ人ト三千圓以上ノ人トハ、相當稅率ニ開キガアルノデアリマス、是等ノ人ガ綜合所得稅ヲ納メルニハ、相當ニ免稅點ヲ上ニ持ツテ行カケレバナラヌガ、同時ニ是等ノ高給者カラハモウ少シ高給ニ取ル、是ハ強チ役人バカリデヤアアリマセヌ、會

社ノ重役ナドニハ其ノ程度ノ所ガ一番多イ、月二百五十圓、三百圓、四百圓ト云フ所ハ寧ロ非常ニ官吏ヨリモ此ノ方面ニ多イノデアリマス、サウ云フ方面ニ多イノデアアルカラ、此ノ稅率ヲ高クシテモ負擔ノ均衡ヲ得ラレヌト思ハヌノデアリマスガ、大藏大臣ハ此ノ點ヲドウ御考ニナリマスカ

○櫻内國務大臣 五千圓マデ百分ノ六ト云フノハ一寸範圍ガ廣イト云フ感ジガ致スノデアリマス、併シ此ノ度ノ稅ノ建前ハ、石段的ニズツト稅率ガ上ツテ行クヤウナ方法ヲ採ツタノデアリマス、今ノ百分ノ六ト云フモノヲ實際ノ數字ニ割當テテ見マス、控除率ノ働キニ依リマシテ八百圓ノ人ハ一分五厘ノ稅率ニナリマス、千圓ノ人ハ二分四厘ノ稅率ニナリ、二千圓ノ人ハ四分二厘ニナリマス、三千圓ノ人ハ四分八厘ニナリマス、五千圓ノ人ハ五分二厘八毛ニナリマス、即チ控除率ノ關係上サウ云フヤウナ率ニナリマス、同ジ百分ノ六デアリマスケレドモ、控除率ノ關係上左様ナ風ニナルノデアリマス、併シ此ノ殖エ方ドウモ適當デナイト云フ御意見デアリマスナラバ、是ハ私御意見ノ一ツトシテ拜聽致スノデアリマスケレドモ、元ノ稅金ハ千圓マデハ成程課稅シテ居リマセヌ、併シ千圓トナルト千圓全體ニ課稅シテ居ル結果、今回ノ稅率トハ自ら其ノ性質ガ違ツテ來ル譯デアリマス、此ノ點ハ少シ御調ベ願ヒマスト分リマスガ、唯稅ノ增加率ガ少イト云フコトニナリマス、或ハ御尤モカト思ヒマスガ、兎ニ角此ノ稅ノ建前ハ今申上マシタ通りニナツテ居ルト云フトコトヲ、御承知願ヒタイト思ヒマス

○森田委員 今ノ控除率ノ關係上多少ノ累進ニナツテ行クト云フ御話ハ、屢、拜承シ

テ居ルノデ、私モ承知シテ居リマス、私ガ申シマスノハ稅率ノ問題ガ、六百圓ヲ過ギル人間ト、四百圓ヲ過ギル人間ガ、直チニ三千圓四千圓ト同率デハイカヌ、同率デハ負擔ノ不均衡ヲ來スト云フコトヲ私ハ御話シタノデアリマス

ソレカラ不動産所得ノ如キモノモ分類所得稅デハ百分ノ十ト全部一緒ニシテアル、此ノ點ニ付テ此ノ間手紙ガ來タ、其ノ手紙ヲ私ハ當局ニ御目ニ掛ケテ置イタノデアリマスガ、四十圓トカ四十五圓ト云フ家賃デ暮シテ行ツテ居ル人間ノ所得ハ百分ノ十ヲ取ル、片方働ク能力ノアル者カラハ百分ノ六ノ稅率ノ稅ヲ取ツテ行ク、是ハ同ジ階級デスヨ、詰リ主人ガ辛抱シテ家ヲ殘シテ置イタカラ、之ヲ人ニ貸シテ親子ガ生活シテ行クト云フ手紙ガ此ノ間來タ、此ノ人ハ家賃四十五圓ヲ取ツテ居ル人デス、サウ云フ人モ、働イテ四十圓、五十圓ノ月給ヲ取ル人モソレハ同ジ階級デアリマス、然レニ健全ナル身體ヲ以テ働イテ居ル人間ニハ百分ノ六デ宜シイ、未亡人ナドニナツテ小サイ子供ヲ連レテ、主人ガ折角月給ノ餘リヤ恩給デ建テテ殘シテ呉レタ家ニ住居シテ居ル者ハ百分ノ十、是ハ要スルニ國民ノ負擔ノ均衡ヲ取ツテ衡平ニスルノダト云フ所ノ、稅ノ改正ニ對シテ遺憾ナ

點ガ澤山アル、不動産ノ所得デモ澤山ニ營業ノ家ヲ持ツテ居ル人ト、然ラザル方面トニ付テハ自ら別ナ稅率ニ據ラナケレバナラヌノデハナイカト私ハ思フ、併シ一ツ此ノ機會ニ御尋シテ置キタイノハ、是ハ今度新設サレタ分類所得稅ニ對スル物價ト同ジデスガ、家賃ヲ上ゲテ來タモノハ上ゲテモ差支ヘナイノデスガ、家賃ハ上ゲナイノデ

スカ、今マデハ課カツテ居ナカツタガ、今度ハ分類所得稅ガ課カツテ一割引カレル、要スルニ事變前ノ家賃ニ今ノ家賃ハ釘付ケサレテ居リマス、サウシテ今度ハ一割引カレル、ダカラ今マデ五十圓デ貸シテ居ツタモノハ四十五圓ノ收入ト云フコトニナルノデアリマスガ、要スルニ是等ノ家賃ハ上ゲルコトヲ認メルノカ認メナイノカ、ソレカラモウ一ツハ斯ウ云フコトデス、一體此ノ家賃ト云フモノハ昭和十二年ノ事變前ニ釘付ケサレタ爲ニ、今日家ヲ建テル人ハアリマセヌ、事變後ニハ是等ノ人ハ屢、増稅ヲ受ケテ居リマス、負擔ハ多クナツテ來タ、修繕費モ前ノ三倍モ四倍モ掛ケナケレバ出來ナイノデアルガ、家賃ハ抑ヘテシマフ、一體コトモ本當ヲ言フナラバ役人ハ月給取デアアル、其ノ月給取ハ借家ニ入ツテ居ルカラ、家賃ヲ上ゲナイヤウニサヘスレバ自分等ガ得ナイヤウニ考ヘテ居ルガ、其ノ結果家ガ拂底シテ來タカラ新シク入ル人間ハ困ツテ居リマス、又今日ニ於テハ建テ手モアリマセヌ、昭和十年ノ事變前ノ家賃ニ止メテ置イテ、所得稅ハ屢、増稅ヲヤル、又修繕費モ上ツテ居ルト云フヤウナコトデハ、ヤハリ人口ガ殖エテソレガ都市ニ集中シテ來ル關係上、私ハヤハリ家ハ建テサセテ方ガ宜イト思フ、是モ物ト同ジコトデアツテ家ガ澤山アレバ家賃ヲ下ゲル、所ガ家ガ少クナツテ住ム人間ガ多クナレバ部屋代モ家賃モ高クナツテ、闇相場モ出テ來ル、斯ウ云フ時ニ分類所得稅ヲ新設シテ、今言フヤウナ四十五圓ノ小サイ家ヲ一軒持ツテ居ル者カラモ一割ノ分類所得稅ヲ取ツテ行カウト云フコトヲヤツテ行クノガ善イカ惡イカ、或ハ取ルモノダケニハ家

第六類第二號 所得稅法改正法律案外三十件委員會議錄 第十七回 昭和十五年三月六日

賃ヲ上ゲルコトヲ認メルカ認メヌカ、之ニ對スル大藏大臣ノ御答ヲ願ヒタイ

○櫻内國務大臣 不動産所得ノ百分ノ十八高イデハナイカ、中ニハ未亡人モ子供等ガソレニ依ツテ生活シテ居ルト云フ御話デアリマスガ、ソレハ御承知ノ通りサウ云フ場合若シモ夫人並ニ子供デアレバ、扶養家族トシテ控除サレルノデアリマシテ、其ノ點ニ付テ緩カスル途モアルデアラウト思ヒマス、ソレカラ家賃ノ値上ノ問題デアリマスガ、是ハ値上ヲ認メナイ建前ニナツテ居リマス、ソレハ恰度月給取ガ税金ヲ増サレタカラ、其ノ税金ヲ増サレタダケ給金ヲ増シテ吳レト云フコトガ出來ナイト同ジヤウナ

風ニ、此ノ不動産ノ所得ニ對シテ、税金ガ増シタカラト云ツテ其ノ税金ヲ増シタト云フ理由デ之ヲ値上スル、斯ウ云フコトハ、月給取ト同ジヤウナ立場デ御考ヘ下サツタナラバ分ルノデアリマシテ、今ノ御話ノ家賃ハ縛ラレテ居ツテ、修繕モウマク出來ナイ、或ハ下水ノ掃除モ十分出來ナイ、費用バカリ掛ツテ、建テルノハ馬鹿々々シイト云フコトニナツテ家賃出來ナイト云フコトハ、是ハ別個ノ問題トシテ私ハ考究スベキモノト思ヒマス、稅其ノモノトシテハ只今申ス通り、俸給取ガ税金ヲ課ケラレタカラト云ツテ多ク要求スルコトガ出來ナイト同ジヤウニ、此ノ稅ガ上ツタカラト云ツテ直チニ家賃ノ値上ヲ認メルト云フコトニハナラナイノデアリマス

○堀切委員長 森田君ノ御質問ニ更ニ追加シタヤウナコトヲ、私今朝大藏大臣ガ才出デニナラナカツタ時稅務當局ニ質問致シマシタガ、軍人ノ未亡人ナドガ自分ノ家ヲ賃シテ、四百五十圓收入ガアレバ所得稅ヲ取

ラレル、同時ニ家屋稅トシテ別ナ稅ガ重複シテ課カツテ來ル、是ハ小地主ト同ジヤウナ關係ニナツテ來マス、收益稅デ取ラレ、同時ニ所得稅デモ取ラレル、此ノ重複課稅ノ點ハ是デ宜シイカドウカ、此ノ點ハ如何デスカ、森田君ノ更ニモウ一ツ加ツテ來マス、是ハ大藏大臣カラドウゾ御答辯願ヒマス

○櫻内國務大臣 或ル場合ニ於テハサウ云フコトモアルコトハドウモ已ムヲ得ナイト思ヒマス

○堀切委員長 ソレナラ此ノ稅率ハ少シ低クスルトカ何トカ方法ヲ設ケル必要ハナイデセウカ

○大矢政府委員 不動産所得ニ對スル稅率ヲドウズルカト云フコトハ、ヤハリ他ノ營業所得、勤勞所得等ニ對スル稅率ト關聯シテ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレカラ地租、家屋稅ハ不動産所得ト或ル程度重複ハ致シマスアレドモ、重複シナイ場合モアルト云フコトハ今日午前申上ゲマシタ無收益ノ土地、自家用宅地等ニ付テハ地租ガ課稅ニナルガ、不動産所得ハ課稅ニナラヌト云フコトガアルノデアリマス、一面地租、家屋稅ノ如キハ不動産所得カラ見ル場合ニ經費ニ見ル、デアリマスカラ不動産所得千圓アルト云フ場合ニハ、既ニ地租家屋稅ハ經費ニ見ラレテ、其ノ所得ノ中カラ支拂ハレナイ、斯ウ云フ風ナ構成ニモナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ二ツヲ全ク同ジ稅種デ重複スルモノト云フ見方モ、少シ行き過ギカト存ジマス、或ル半面ニ於テ重複スル所モアリマスガ、又重複シナイ場合モアル、要スルニ午前申上ゲマシタ通り、分類所得稅ハ純粹ノ從來言ハレテ居ル所得稅ト、ソレ

カラ物稅トノ合ノ子ミタイナ所ガアルノデアリマシテ、ソレガ分類所得稅ノ特徵デアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ不動産所得ト地租、家屋稅トガ或ル部分重複スル點ガアルト云フコトハ申上ゲラレルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ不動産所得者ノ負擔ヲ見ル場合ニハ、ヤハリ此ノ專ラ念頭ニ置イテ、其ノ負擔ノ程度ガドウ程度デ宜イカト云フコトヲ決メテ行カナケレバナラヌ問題ト存ジマス、重複スル部分モアリ、重複シナイ部分モアルト申上ゲルヨリ外ナイト思ヒマス

○堀切委員長 重複モ極ク大キナ所デ重複スルノハ差支ヘアリマセヌガ、今ノヤウニ極ク小サイ所デ取ルノハ酷デハナイカト思ヒマス、後ハ意見ニナリマスカラソレデ宜シウゴザイマス

○森田委員 今ノ委員長ノ御尋ニ續イテ私カラモ申上ゲマス、アノ感ハ私共モ同ジデアリマスガ、私ハ負擔ノ均衡ノ點カラ論ジテ見タイ、分類所得稅ダケ納メタル人、即チ年額五千圓以下ノ小所得者デアル場合ニ、有價證券ノ配當ヲ貰フ人ハ百分ノ十デアリマス、株券ノ配當所得ニ對スル稅金ハ百分ノ十、不動産ノ斯ウ云フヤウナ家ヲ一軒持ツテ居ルト云フ程度ノ五千圓以下ノ人モ百分ノ十デアアル、片一方有價證券ノ配當所得ヲ納メタル人ハ所得稅以外ニハ附加稅モ何モ納メナイ、一方不動産所得ノ方ニ對シテハ家屋稅ガ入り地租ガ入り、ソレダケナラ宜イガ、家屋稅ノ附加稅、地租ノ附加稅ガ入りマス、其ノ外ニ都市計畫稅ガ入り、サウスルト同ジ分類所得稅ヲ納メタル階級ノ人々デ、有價證券ヲ持ツテ居ル人ハ百分ノ十ヲ納メ放シ、貸家ナドヲ持ツテ居ル僅カナ所

得者ハ百分ノ十ノ外ニ地租、家屋稅ヲ取ラレ、是等ノ府縣市町村附加稅ヲ取ラレ、都市計畫稅ヲ取ラレルノデアリマスガ、如何ニモ此ノ不動産小所得者ニハ私ハ平衡トハ思ハレヌノデアリマス、但シ今主稅局長ハ物稅デアルト云フ、成程建物デアルトカ地租トカ云フモノハ物稅デアアルカモ知レナイガ、物稅デアナイノモアル、營業ナドハ物稅デバナナイ、アナタハ地租ノ附加稅トカ建物ノ附加稅ハ物稅デアルト仰シヤラレルガ、營業ハ物稅デヤナイ、モウ一步進ンデ假ニ物稅デアラウト何デアラウト、其ノ小サイ所得階級ノ人ノ株券ヲ持ツテ居ル人ト然ラザル人、勤勞所得者ト然ラザル所得者、月給五十圓、百圓取ツテ居ル者ニ相當スル所ノ先程速ベタヤウニ家賃生活ヲシテ居ル人々ニ、ソレ程大キナ差ヲ付ケナケレバナリマセヌカ、假ニ有價證券ハ百分ノ十デ宜シイ、月給取ハ百分ノ六デアアル、家屋ヲ持ツテ暮シテ居ル未亡人ナドハ百分ノ十デス、ソコニ既ニ分類所得稅率ニ於テ平衡ヲ缺イテ居ルガ、ソレノミナラズ建物ノ方ニハ非常ニ附加稅ガ澤山入ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ガドウモ私ハ平衡トハ思ハレヌガ、大藏大臣ハ二重ニナルトカナラヌトカ云フ問題ヨリモ、率直ニ今ノヤウニ話シテ行ケバ是ダケ餘分ニ負擔スル、私ハ甚ダ有價證券ノ所有者ト不動産所得者トハ開キガアルト思フガ、アナタノ御考ハドウデアリマス

○大矢政府委員 森田君ノ御質問ニ更ニ追加シタヤウナコトヲ、私今朝大藏大臣ガ才出デニナラナカツタ時稅務當局ニ質問致シマシタガ、軍人ノ未亡人ナドガ自分ノ家ヲ賃シテ、四百五十圓收入ガアレバ所得稅ヲ取

ラレル、同時ニ家屋稅トシテ別ナ稅ガ重複シテ課カツテ來ル、是ハ小地主ト同ジヤウナ關係ニナツテ來マス、收益稅デ取ラレ、同時ニ所得稅デモ取ラレル、此ノ重複課稅ノ點ハ是デ宜シイカドウカ、此ノ點ハ如何デスカ、森田君ノ更ニモウ一ツ加ツテ來マス、是ハ大藏大臣カラドウゾ御答辯願ヒマス

○櫻内國務大臣 或ル場合ニ於テハサウ云フコトモアルコトハドウモ已ムヲ得ナイト思ヒマス

○堀切委員長 ソレナラ此ノ稅率ハ少シ低クスルトカ何トカ方法ヲ設ケル必要ハナイデセウカ

○大矢政府委員 不動産所得ニ對スル稅率ヲドウズルカト云フコトハ、ヤハリ他ノ營業所得、勤勞所得等ニ對スル稅率ト關聯シテ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレカラ地租、家屋稅ハ不動産所得ト或ル程度重複ハ致シマスアレドモ、重複シナイ場合モアルト云フコトハ今日午前申上ゲマシタ無收益ノ土地、自家用宅地等ニ付テハ地租ガ課稅ニナルガ、不動産所得ハ課稅ニナラヌト云フコトガアルノデアリマス、一面地租、家屋稅ノ如キハ不動産所得カラ見ル場合ニ經費ニ見ル、デアリマスカラ不動産所得千圓アルト云フ場合ニハ、既ニ地租家屋稅ハ經費ニ見ラレテ、其ノ所得ノ中カラ支拂ハレナイ、斯ウ云フ風ナ構成ニモナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ二ツヲ全ク同ジ稅種デ重複スルモノト云フ見方モ、少シ行き過ギカト存ジマス、或ル半面ニ於テ重複スル所モアリマスガ、又重複シナイ場合モアル、要スルニ午前申上ゲマシタ通り、分類所得稅ハ純粹ノ從來言ハレテ居ル所得稅ト、ソレ

カラ物稅トノ合ノ子ミタイナ所ガアルノデアリマシテ、ソレガ分類所得稅ノ特徵デアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ不動産所得ト地租、家屋稅トガ或ル部分重複スル點ガアルト云フコトハ申上ゲラレルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ不動産所得者ノ負擔ヲ見ル場合ニハ、ヤハリ此ノ專ラ念頭ニ置イテ、其ノ負擔ノ程度ガドウ程度デ宜イカト云フコトヲ決メテ行カナケレバナラヌ問題ト存ジマス、重複スル部分モアリ、重複シナイ部分モアルト申上ゲルヨリ外ナイト思ヒマス

○堀切委員長 重複モ極ク大キナ所デ重複スルノハ差支ヘアリマセヌガ、今ノヤウニ極ク小サイ所デ取ルノハ酷デハナイカト思ヒマス、後ハ意見ニナリマスカラソレデ宜シウゴザイマス

○森田委員 今ノ委員長ノ御尋ニ續イテ私カラモ申上ゲマス、アノ感ハ私共モ同ジデアリマスガ、私ハ負擔ノ均衡ノ點カラ論ジテ見タイ、分類所得稅ダケ納メタル人、即チ年額五千圓以下ノ小所得者デアル場合ニ、有價證券ノ配當ヲ貰フ人ハ百分ノ十デアリマス、株券ノ配當所得ニ對スル稅金ハ百分ノ十、不動産ノ斯ウ云フヤウナ家ヲ一軒持ツテ居ルト云フ程度ノ五千圓以下ノ人モ百分ノ十デアアル、片一方有價證券ノ配當所得ヲ納メタル人ハ所得稅以外ニハ附加稅モ何モ納メナイ、一方不動産所得ノ方ニ對シテハ家屋稅ガ入り地租ガ入り、ソレダケナラ宜イガ、家屋稅ノ附加稅、地租ノ附加稅ガ入りマス、其ノ外ニ都市計畫稅ガ入り、サウスルト同ジ分類所得稅ヲ納メタル階級ノ人々デ、有價證券ヲ持ツテ居ル人ハ百分ノ十ヲ納メ放シ、貸家ナドヲ持ツテ居ル僅カナ所

得者ハ百分ノ十ノ外ニ地租、家屋稅ヲ取ラレ、是等ノ府縣市町村附加稅ヲ取ラレ、都市計畫稅ヲ取ラレルノデアリマスガ、如何ニモ此ノ不動産小所得者ニハ私ハ平衡トハ思ハレヌノデアリマス、但シ今主稅局長ハ物稅デアルト云フ、成程建物デアルトカ地租トカ云フモノハ物稅デアアルカモ知レナイガ、物稅デアナイノモアル、營業ナドハ物稅デバナナイ、アナタハ地租ノ附加稅トカ建物ノ附加稅ハ物稅デアルト仰シヤラレルガ、營業ハ物稅デヤナイ、モウ一步進ンデ假ニ物稅デアラウト何デアラウト、其ノ小サイ所得階級ノ人ノ株券ヲ持ツテ居ル人ト然ラザル人、勤勞所得者ト然ラザル所得者、月給五十圓、百圓取ツテ居ル者ニ相當スル所ノ先程速ベタヤウニ家賃生活ヲシテ居ル人々ニ、ソレ程大キナ差ヲ付ケナケレバナリマセヌカ、假ニ有價證券ハ百分ノ十デ宜シイ、月給取ハ百分ノ六デアアル、家屋ヲ持ツテ暮シテ居ル未亡人ナドハ百分ノ十デス、ソコニ既ニ分類所得稅率ニ於テ平衡ヲ缺イテ居ルガ、ソレノミナラズ建物ノ方ニハ非常ニ附加稅ガ澤山入ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ガドウモ私ハ平衡トハ思ハレヌガ、大藏大臣ハ二重ニナルトカナラヌトカ云フ問題ヨリモ、率直ニ今ノヤウニ話シテ行ケバ是ダケ餘分ニ負擔スル、私ハ甚ダ有價證券ノ所有者ト不動産所得者トハ開キガアルト思フガ、アナタノ御考ハドウデアリマス

○大矢政府委員 森田君ノ御質問ニ更ニ追加シタヤウナコトヲ、私今朝大藏大臣ガ才出デニナラナカツタ時稅務當局ニ質問致シマシタガ、軍人ノ未亡人ナドガ自分ノ家ヲ賃シテ、四百五十圓收入ガアレバ所得稅ヲ取

ラレル、同時ニ家屋稅トシテ別ナ稅ガ重複シテ課カツテ來ル、是ハ小地主ト同ジヤウナ關係ニナツテ來マス、收益稅デ取ラレ、同時ニ所得稅デモ取ラレル、此ノ重複課稅ノ點ハ是デ宜シイカドウカ、此ノ點ハ如何デスカ、森田君ノ更ニモウ一ツ加ツテ來マス、是ハ大藏大臣カラドウゾ御答辯願ヒマス

○櫻内國務大臣 或ル場合ニ於テハサウ云フコトモアルコトハドウモ已ムヲ得ナイト思ヒマス

○堀切委員長 ソレナラ此ノ稅率ハ少シ低クスルトカ何トカ方法ヲ設ケル必要ハナイデセウカ

○大矢政府委員 不動産所得ニ對スル稅率ヲドウズルカト云フコトハ、ヤハリ他ノ營業所得、勤勞所得等ニ對スル稅率ト關聯シテ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレカラ地租、家屋稅ハ不動産所得ト或ル程度重複ハ致シマスアレドモ、重複シナイ場合モアルト云フコトハ今日午前申上ゲマシタ無收益ノ土地、自家用宅地等ニ付テハ地租ガ課稅ニナルガ、不動産所得ハ課稅ニナラヌト云フコトガアルノデアリマス、一面地租、家屋稅ノ如キハ不動産所得カラ見ル場合ニ經費ニ見ル、デアリマスカラ不動産所得千圓アルト云フ場合ニハ、既ニ地租家屋稅ハ經費ニ見ラレテ、其ノ所得ノ中カラ支拂ハレナイ、斯ウ云フ風ナ構成ニモナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ二ツヲ全ク同ジ稅種デ重複スルモノト云フ見方モ、少シ行き過ギカト存ジマス、或ル半面ニ於テ重複スル所モアリマスガ、又重複シナイ場合モアル、要スルニ午前申上ゲマシタ通り、分類所得稅ハ純粹ノ從來言ハレテ居ル所得稅ト、ソレ

カラ物稅トノ合ノ子ミタイナ所ガアルノデアリマシテ、ソレガ分類所得稅ノ特徵デアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ不動産所得ト地租、家屋稅トガ或ル部分重複スル點ガアルト云フコトハ申上ゲラレルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ不動産所得者ノ負擔ヲ見ル場合ニハ、ヤハリ此ノ專ラ念頭ニ置イテ、其ノ負擔ノ程度ガドウ程度デ宜イカト云フコトヲ決メテ行カナケレバナラヌ問題ト存ジマス、重複スル部分モアリ、重複シナイ部分モアルト申上ゲルヨリ外ナイト思ヒマス

○堀切委員長 重複モ極ク大キナ所デ重複スルノハ差支ヘアリマセヌガ、今ノヤウニ極ク小サイ所デ取ルノハ酷デハナイカト思ヒマス、後ハ意見ニナリマスカラソレデ宜シウゴザイマス

○森田委員 今ノ委員長ノ御尋ニ續イテ私カラモ申上ゲマス、アノ感ハ私共モ同ジデアリマスガ、私ハ負擔ノ均衡ノ點カラ論ジテ見タイ、分類所得稅ダケ納メタル人、即チ年額五千圓以下ノ小所得者デアル場合ニ、有價證券ノ配當ヲ貰フ人ハ百分ノ十デアリマス、株券ノ配當所得ニ對スル稅金ハ百分ノ十、不動産ノ斯ウ云フヤウナ家ヲ一軒持ツテ居ルト云フ程度ノ五千圓以下ノ人モ百分ノ十デアアル、片一方有價證券ノ配當所得ヲ納メタル人ハ所得稅以外ニハ附加稅モ何モ納メナイ、一方不動産所得ノ方ニ對シテハ家屋稅ガ入り地租ガ入り、ソレダケナラ宜イガ、家屋稅ノ附加稅、地租ノ附加稅ガ入りマス、其ノ外ニ都市計畫稅ガ入り、サウスルト同ジ分類所得稅ヲ納メタル階級ノ人々デ、有價證券ヲ持ツテ居ル人ハ百分ノ十ヲ納メ放シ、貸家ナドヲ持ツテ居ル僅カナ所

得者ハ百分ノ十ノ外ニ地租、家屋稅ヲ取ラレ、是等ノ府縣市町村附加稅ヲ取ラレ、都市計畫稅ヲ取ラレルノデアリマスガ、如何ニモ此ノ不動産小所得者ニハ私ハ平衡トハ思ハレヌノデアリマス、但シ今主稅局長ハ物稅デアルト云フ、成程建物デアルトカ地租トカ云フモノハ物稅デアアルカモ知レナイガ、物稅デアナイノモアル、營業ナドハ物稅デバナナイ、アナタハ地租ノ附加稅トカ建物ノ附加稅ハ物稅デアルト仰シヤラレルガ、營業ハ物稅デヤナイ、モウ一步進ンデ假ニ物稅デアラウト何デアラウト、其ノ小サイ所得階級ノ人ノ株券ヲ持ツテ居ル人ト然ラザル人、勤勞所得者ト然ラザル所得者、月給五十圓、百圓取ツテ居ル者ニ相當スル所ノ先程速ベタヤウニ家賃生活ヲシテ居ル人々ニ、ソレ程大キナ差ヲ付ケナケレバナリマセヌカ、假ニ有價證券ハ百分ノ十デ宜シイ、月給取ハ百分ノ六デアアル、家屋ヲ持ツテ暮シテ居ル未亡人ナドハ百分ノ十デス、ソコニ既ニ分類所得稅率ニ於テ平衡ヲ缺イテ居ルガ、ソレノミナラズ建物ノ方ニハ非常ニ附加稅ガ澤山入ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ガドウモ私ハ平衡トハ思ハレヌガ、大藏大臣ハ二重ニナルトカナラヌトカ云フ問題ヨリモ、率直ニ今ノヤウニ話シテ行ケバ是ダケ餘分ニ負擔スル、私ハ甚ダ有價證券ノ所有者ト不動産所得者トハ開キガアルト思フガ、アナタノ御考ハドウデアリマス

○大矢政府委員 森田君ノ御質問ニ更ニ追加シタヤウナコトヲ、私今朝大藏大臣ガ才出デニナラナカツタ時稅務當局ニ質問致シマシタガ、軍人ノ未亡人ナドガ自分ノ家ヲ賃シテ、四百五十圓收入ガアレバ所得稅ヲ取

ラレル、同時ニ家屋稅トシテ別ナ稅ガ重複シテ課カツテ來ル、是ハ小地主ト同ジヤウナ關係ニナツテ來マス、收益稅デ取ラレ、同時ニ所得稅デモ取ラレル、此ノ重複課稅ノ點ハ是デ宜シイカドウカ、此ノ點ハ如何デスカ、森田君ノ更ニモウ一ツ加ツテ來マス、是ハ大藏大臣カラドウゾ御答辯願ヒマス

○櫻内國務大臣 或ル場合ニ於テハサウ云フコトモアルコトハドウモ已ムヲ得ナイト思ヒマス

○堀切委員長 ソレナラ此ノ稅率ハ少シ低クスルトカ何トカ方法ヲ設ケル必要ハナイデセウカ

○大矢政府委員 不動産所得ニ對スル稅率ヲドウズルカト云フコトハ、ヤハリ他ノ營業所得、勤勞所得等ニ對スル稅率ト關聯シテ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレカラ地租、家屋稅ハ不動産所得ト或ル程度重複ハ致シマスアレドモ、重複シナイ場合モアルト云フコトハ今日午前申上ゲマシタ無收益ノ土地、自家用宅地等ニ付テハ地租ガ課稅ニナルガ、不動産所得ハ課稅ニナラヌト云フコトガアルノデアリマス、一面地租、家屋稅ノ如キハ不動産所得カラ見ル場合ニ經費ニ見ル、デアリマスカラ不動産所得千圓アルト云フ場合ニハ、既ニ地租家屋稅ハ經費ニ見ラレテ、其ノ所得ノ中カラ支拂ハレナイ、斯ウ云フ風ナ構成ニモナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ二ツヲ全ク同ジ稅種デ重複スルモノト云フ見方モ、少シ行き過ギカト存ジマス、或ル半面ニ於テ重複スル所モアリマスガ、又重複シナイ場合モアル、要スルニ午前申上ゲマシタ通り、分類所得稅ハ純粹ノ從來言ハレテ居ル所得稅ト、ソレ

カラ物稅トノ合ノ子ミタイナ所ガアルノデアリマシテ、ソレガ分類所得稅ノ特徵デアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ不動産所得ト地租、家屋稅トガ或ル部分重複スル點ガアルト云フコトハ申上ゲラレルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ不動産所得者ノ負擔ヲ見ル場合ニハ、ヤハリ此ノ專ラ念頭ニ置イテ、其ノ負擔ノ程度ガドウ程度デ宜イカト云フコトヲ決メテ行カナケレバナラヌ問題ト存ジマス、重複スル部分モアリ、重複シナイ部分モアルト申上ゲルヨリ外ナイト思ヒマス

○堀切委員長 重複モ極ク大キナ所デ重複スルノハ差支ヘアリマセヌガ、今ノヤウニ極ク小サイ所デ取ルノハ酷デハナイカト思ヒマス、後ハ意見ニナリマスカラソレデ宜シウゴザイマス

○森田委員 今ノ委員長ノ御尋ニ續イテ私カラモ申上ゲマス、アノ感ハ私共モ同ジデアリマスガ、私ハ負擔ノ均衡ノ點カラ論ジテ見タイ、分類所得稅ダケ納メタル人、即チ年額五千圓以下ノ小所得者デアル場合ニ、有價證券ノ配當ヲ貰フ人ハ百分ノ十デアリマス、株券ノ配當所得ニ對スル稅金ハ百分ノ十、不動産ノ斯ウ云フヤウナ家ヲ一軒持ツテ居ルト云フ程度ノ五千圓以下ノ人モ百分ノ十デアアル、片一方有價證券ノ配當所得ヲ納メタル人ハ所得稅以外ニハ附加稅モ何モ納メナイ、一方不動産所得ノ方ニ對シテハ家屋稅ガ入り地租ガ入り、ソレダケナラ宜イガ、家屋稅ノ附加稅、地租ノ附加稅ガ入りマス、其ノ外ニ都市計畫稅ガ入り、サウスルト同ジ分類所得稅ヲ納メタル階級ノ人々デ、有價證券ヲ持ツテ居ル人ハ百分ノ十ヲ納メ放シ、貸家ナドヲ持ツテ居ル僅カナ所

リマス、此ノ度國稅地方稅ヲ通ズル稅制改正ニ依リマシテ、此ノ物稅ハ國稅トシテハ廢止致シマシテ、地方團體ノ財源ノ意味ニ於テ、形式上ハ國稅ヲ徵收スルケレドモ、原地ニ還付スルコトニナツテ居ルノハ御承知ノ通りデアリマシテ、此ノ物稅ト致シマシテハ、從來ノ地租、家屋稅ノ本稅ト附加稅ノ合計額ヨリモ、此ノ度ノ家屋稅、地租ノ本稅附加稅ノ合計額ガ或ル程度輕減セラレテ居ル點ハ、是亦御承知ノ通りデアリマシマス、一面ニ於テ是等ハ物稅ヲゴザイマスカラ、所得計算上經費ニ見ラレテ居ルノデアリマス、ソレカラ營業收益稅ニ付テ御話ガアリマシタガ、是ハ此ノ度ハ營業稅トナルノデアリマスガ、是モ物稅ト見テ居リマス、但シ課稅標準ハ純益ヲ取ツテ居ルノデアリマスガ、理論的ニ見レバ是ハ相當議論ノ餘地ガアルト思フノデアリマス、學者方面ニ於テハ相當異論ガアルヤウデアリマシマス、是ハ我國ニ於テハ相當沿革ノアルモノデアリマス、大正十五年ノ稅制改正ノ際ニ於テモ非常ニ論議セラレタコトデアリマシテ、所得稅中樞トシテ收益稅制度ヲ補充スルト云フナラバ、地租、家屋稅ヲ補充スルノハ分ツテ居ルノデアリマス、營業收益稅トシテ營業ノ純益ヲ課稅標準ニスル、稅收ヲ補充スルト云フノハ、要スルニソレハ營業ニ對シテハ特別所得稅ヲハナカラウカ、斯ウ致シマスルト地租、家屋稅トノ間ニ「バランス」ノ取レナイモノガアルト云フコトヲ議會デ非常ニ論議セラレタノデアリマス、是ハ理論上正ニ其ノ通りデアリマス、併シ我國ニ於テ營業稅ハ明治二十九年ニ施行セラレ、其ノ後隨分長イ間變遷ガアリマシテ、課稅標準ノ取り方、稅率ノ定メ方等幾度モ

改正ヲ見マシタケレドモ、是ハ收益稅ト致シマシテモ非常ニ缺陷ガアル惡稅ノ代表ノヤウニ考ヘラレテ居ツタノデアリマス、隨テ大正十五年ノ稅制改正ノ際ニ於テハ、理論上ハ兎ニ角トシテ、實際今マデノヤウナ課稅標準ノ取り方デハイケナイト云フノデ、純益ヲ標準ニシテ居ルノデアリマス、此ノ意味ニ於テ或ハ理論的ニハ物稅カラ相去ツテ居ルノデハナカラウカト云フ森田サンノ御意見モ私御尤モト存ジマスガ、サウ云フ沿革ヲ經テ來テ居ルノデアリマシテ、此ノ度地方團體ノ財源トシテ營業稅ヲ認メル場合ニ於テモ、私共一應物稅ノ建前カラ致シ、何方外形標準、資本金、收入金トカ云フモノヲ取ツテ見ヨウカト思ヒマシタケレドモ、色々缺陷ガアリ、十分ニ成案ハ得兼ネタノデアリマシテ、暫ク從來ノヤウナ課稅標準ヲ取ツテ行クノハ已ムヲ得ナイコトデハナカラウカト存ジテ居リマス、併シカガラ物稅デゴザイマスカラ、所得計算ノ上ニ於テハヤハリ經費ニ見テ居リマス、將來モ事業所得ハ經費ニ見ナイケレドモ、營業稅ハ經費ニ見ルト云フ風ニシテ居ルノデゴザイマス、ソレデ結局配當所得等トノ負擔ノ均衡ノ問題デアリマスガ、理論的ニ言ヘバ森田サンノ御意見ハ一應御尤モノ點ガアルト思ヒマスケレドモ、是ハ本委員會ニ於テモ色々角度カラ檢討セラレテ居ルノデアリマスガ、例ヘバ日本ニ於キマシテハ、從來大正九年マデハ配當所得ハ個人ニハ課稅セラレテ居ナカッタガ、大正九年ニ綜合課稅ニナツテカラ四割ヲ控除シ昭和十二年ニソレヲ二割控除トシ此ノ度ハ其ノ二割控除モ撤廢シテ負債利子ヲ經費ニ見ヨウト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、兎ニ

角サウ云フ沿革ヲ持ツテ來テ居ルノデアリマシテ、從來ノ第三種所得ニ於キマシテモ、配當所得ガ千圓ニ達シナイ場合ニハ總テ免稅デアツタノデアリマス、地租、家屋稅、營業收益稅千圓以下デモ相當高イ比例稅率デ課稅セラレテ居リマシタガ、配當所得ハ千圓以下ノ場合ニハ全然課稅ヲ受ケナカッタ、然ルニ此ノ度ハ配當所得ニ於テモ千圓以下ノ場合ト雖モ百分ノ十ノ稅率ヲ以テ課稅ヲ受クルト云フ風ニナツテ居リマスノデ、此ノ度ノ稅制改正ニ依ツテ借入金ガナイ場合ニ於テハ、配當所得ニ對スル課稅ハ相當急激ニ殖エテ居ルノデアリマス、隨テ理論的ニ申シマスレバ、森田サンノ御意見ノアル所モ一應御尤モトハ存ジマスケレドモ、從來ノ負擔ノ關係カラ致シマシテ、此ノ度ノ稅制改正ニ依ツテ變ツテ行ク、其ノ移リ變リノ時ニ於テ、從來ノ負擔其ノモノモヤハリ相當見テ行カナケレバナラヌデハナカラウカ、從來此ノ程度ノモノヲ持ツテ居レバ此ノ程度ノ負擔ガアルト云フコトヲ前提ニシテ株式ノ投資ノ如キハ致シテ居ル、之ニ非常ニ變化ヲ來スヤウナコトモ、實際問題トシテヤハリ相當考慮シナケレバナラスコトト存ジマス、繰返シテ申上ゲマスレバ、地租、家屋稅、營業稅ノ如キハ從來ヨリモ負擔ガ輕クナツテ居ル、配當所得ハ可ナリ重クナツテ居ル、ソレデ此ノ際ノ改正トシテハ先ヅ適當デハナカラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○森田委員 ソレハ能ク分ツテ居ル、アナタノ答辯ハ、ソコヲ相當巧ク言廻サスト合理的ニ聞エスカラト云フコトハ私承知シテ居リマスガ、要スルニ私ハ率直ニ承リタイト思フ、今ノ地方稅アルガ、一應國ガ取立テテ分與稅デアル、ソレハ其ノ通りデアリマセヌ、大體其ノ通りデアルガ、兎モ角モ負擔ノ均衡ハ整ツテ居ラスデハナイガト云フ問デアツタガ、負擔ノ均衡ガ整ツテ居ラスト云フコトニ付テハ認メラレルヤウデアルカラ、是レ以上追及シマセヌガ、是ハ適當ナ考慮ヲシナケレバナラヌト思フ、不動産所得ト證券所得デハ屢、申スヤウニ負擔ノ差ガ倍以上ニナル、ソコニ大變ナ違ヒガ來ルカラ稍、均衡ノ取レルヤウニシナケレバ、分類所得納稅階級者ノ間ニモ負擔ノ不均衡ガアリマス、片方ヲ下ゲテ片方ヲ上ゲルトカ、片方ヲ上ゲテ片方ヲ下ゲルト云フヤウナコトハ其ノ時ノコトデアアルガ、兎モ角モ不動産所得百分ノ十二ハ大變ナ附加稅ガ要ルガ、證券所得ノ百分ノ十二ハ一文モ要ラスコト云フコトヲ考慮ニ置イテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲテ、此ノ點ハ是デ宜シイソレカラ一ツ大藏大臣ニ伺ヒタイノハ、是ハ此ノ間モ委員會ノ問題ニナツテ、サウデハナイヤウナ言廻シヲナサツタガ、今度ノ改正デ勤勞所得ト證券所得ノ人ハ地方稅ノ負擔ハ要ラスヤウデアアルガ、地租ト家屋稅營業稅ノ所得階級ハ地方稅ノ負擔ヲ附加稅シナケレバナラヌ、アナタノ答辯デハ、所得稅ハ國デ取ツテ、ソレヲ分與稅トシテ地方ヘ戻スノダカラ、所得稅ニハ附加稅ハ課カラヌガ、本稅デ相當稅率ヲ高クシテ、其ノ中デ還付シテヤルノダカラ、所得稅階級者モ地方費ノ負擔ヲシテ居ルト云フ意味ノ御說明デアツタガ、ソレハ獨リ勤勞所得、配當所得ノ人ダケデハナイ、營業所得ヲ納メル人モ、建物所得ヲ納メル人モ、土地所得ヲ納メル人モ所得稅ハ一應悉ク同稅率ヲ

以テ國ニ納メ居ルノニ、單ニ勤勞所得ト配當所得ノ人ダケハ地方附加税ガナイガ、其ノ他ノモノニハ地方附加税ガアル、サウスルト營業者ト土地建物ヲ持ツテ居ル人ダケガ、他ノ證券所得ヤ勤勞所得階級ヨリ餘分ニ地方費ヲ負擔シナケレバナラヌト云フコトハ下ノ邊ニ違ヒガアルノカ、是等ノモノハ今言ツタ物税ダカラ負擔ヲ餘計サセルト云フ御意見デアリマスカ、其ノ邊ヲ一ツ御伺シタイ

○櫻内國務大臣 只今ノ御話ノ點ハ、御話ノ通りデアリマスガ、是ハ從來ノコトヲヤハリ參酌致シタ結果、從來取ツテ居リマスノデ、其ノ點ヲヤハリ考慮ニ入レテアリマシタ結果、一言ニシテ申シマスレバ、從來ノ徵稅ヲシテ居ツタ事柄モ今回ノ稅制改革ノ考慮ノ中ニ入レテアツタ、斯ウ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森田委員 入レテアツタコトハ宜シイガ、ソレダケノ人ガ地方費ヲ餘分ニ負擔スルト云フコトハ御認メニナリマスカ

○櫻内國務大臣 從來通りヤツテ居ル譯デゴザイマス

○森田委員 從來ハ所得稅ハ府縣及ビ市町村ニ附加税ガ付イテ居ツタノデス、今度ハ所得稅ニハ府縣及ビ市町村ノ附加税ハ付イテ居リマセス、營業ト建物ト地租ニダケ附加税ガ付イテ居ル、營業ヲスル人モ土地ヲ持ツテ居ル人モ建物ヲ持ツテ居ル人モ、勤勞所得者、配當所得者ト同様ナ所得稅ヲ納メル、寧ロ勤勞所得ガ百分ノ六ナラバ、不動産所得ハ百分ノ十ト云フヤウナ高率ナ稅ヲ納メル、納メテ行ツタ上ニ、是等ノ人々ダケガ地方費ノ負擔ヲ餘分ニ附加稅ヲ納メナケレバナラヌ點ハドウ云フ譯デアアルカ知

ラヌガ、從來ノ慣例ダト云ハタルガ、從來ノ慣例ノ良クナイ所ヲ正スノガ今度ノ稅制改革デハナイカ、從來良クナカツタモノヲ殘シテ行カウト云フノデハ、改正スル必要ガナイ、負擔ノ均衡ヲ保ツト云フコトノ爲ニヤツタノナラバ、或ル所得階級ニ對シテハ地方費ノ負擔ヲサセズ、或ル所得階級ニ於テハ地方費ノ負擔ヲ二重ニシナケレバナラヌト云フコトハ、如何ニモ不合理デヤナイカト云フコトヲ私ハ尋ネテ居ルノデアアル、從來モアツタノダカラト云ハレルナラバ、所得稅附加稅モ從來アツタノダカラナケレバナラヌ、所ガナイ

○櫻内國務大臣 御承知ノ通り物稅トシテ應益課稅デアリマスカラ、ソレニ對シテ多少課カツテモ仕方ガナイノデアリマス、所得稅ノ附加稅ハ今回ハ全般的ニ廢メタ譯デアリマス

○森田委員 サウナンデス、全般的ニ廢メタ、ダカラ私ガ言ハウトシテ居ルノハ、土地ト建物ト營業ヲシテ居ル人ダケガ、其ノ所得稅ヲ納メル以外ニ地方費ヲ負擔スルトハ認メルカ、斯ウ云フノデス、認メルト仰ツヤツタラ宜イ

○櫻内國務大臣 其ノ通りデアリマス

○森田政府委員 分リマシタ、認メテ貰ヘバ、一ツ考慮シナケレバナラヌコトニナル、サウ云フヤウナコトハ宜クナイト云フコトニナルノデス、商工大臣ガ御見エニナツテ居リマスカラ、商工大臣ニ對スル質問ヲ簡單ニ致シタイ、大藏大臣ニ申上ゲタコトハ省キマス、統制經濟ノコトニ付テ、大藏大臣、商工大臣、農林大臣悉ク民間カラ出テ居ラレルカラ、是デヤリ損ツタラ官僚ヲ笑ヘヌコトニナリマス、今マデハ官僚ヲ笑ウ

テ居ツタガ、ドウデス民間カラ來テモコンナモノデヤナイカト云フコトニナル處ガ十分ニアル、ナゼナラバ本人ガ選ツタツテ手ヤ足ハ變ツテ居ナイ、大臣一人乗込シテ行ツタツテ、敵地ニ乗込ムヤウナモノデ、是ハ自分ガ思フヤウニ人ヲ使ツテ完全ニ出來ヌト思フ、商工大臣ハ人ガ好イカラヤレルカモ知レマセヌ、(笑聲)手腕ガアルカラオヤリニナルカモ知レマセヌガ、兎ニ角生産擴充トカ或ハ低物價政策ニ付テハ、實ハ大藏大臣トモモウ話シマシタカラ、是レ以上ヤツテモイカズ、石炭、助成金ヲ出スコトニハ吾々ハ大キキ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ鑛業法ノ委員會デスルコトニシテ、此ノ席デハ一ツ商工大臣ニ話シテ置キタイノハ、低物價政策ト云フコトハ堅持スルコトハ宜イ、又サウシテ適正物價ニ行クト云フコトヲ言ハレル、ソレハドチラデモ宜イガ、私ハ商工省ニ特ニ望ムコトハ、物價ヲ餘リ喧シク言フダケデハイカヌト云フコトヲ私ハ言ヒタイ、アナタノ方ハ質ト量ト云フコトニ付テドウ御考ニナルカ、單價ト云フモノサヘ釘付ニシテ置クナラバ、質ト量ハドウデモ宜イト云フ風ニ考ヘテオ居デニナリマスカ

○藤原國務大臣 無論質、量、ソレニ單價ト云フヤウナ工合ニ皆既ミ合セテ考ヘナクテハナラヌコトハ、長ク御説明ヲ申上ゲルマデモナイコトデアリマス

○森田委員 サウスルト今日ノ中央物價委員會決メタル適正物價デモ、一體何時決メルノデスカ、物價ガ先ニ走ツテ居ルデアアリマセヌカ、如何ニモ愚圖々々シテ居ツテ、去年ノ五月頃カラ適正物價ヲ決メルト云フコトヲ言ウテ居ルノダガ、三月六日ノ今日

ニナツテモマダ決マラナイ、私ハモウ少シ迅速ニオヤリニナツタラドウカト思フ、機構ガドウノ斯ウノト云ツテ居ル間ニ、物價ノ方ハ先ニ行ツテシマフ、ソレカラ今質ト量ト既ミ合セテ決メラレルト云フガ、ドウ云フ風ニ既ミ合セルカ、規格ヲ設ケテ居ナイノニ、ドウ云フ風ニ既ミ合セラレルカ、既ミ合セテ相手ヲ少シ伺ヒタイ

○藤原國務大臣 規格ノアルノハ無論規格ヲ標準ニシテ行クコトハ當然デアリマス、ソレカラ規格ノナイモノニ付テハ、是ハ常識デ既ミ合ツテ行クヨリ外仕方ガゴザイマセヌ、詰リ優良ナモノニ對シテハヤハリ適正物價ヲ決メル時ニソレダケノ値段ヲ見テヤル、ソレカラ劣等ナモノニ對シテハ又ソレダケノ値段ヲ見テヤル、ソレハ常識ニ於テサウダラウト思ヒマス、ドウ云フコトヲ御尋ニナルノカ知リマセヌケレドモ、マア常識デサウダラウト思ヒマス

○堀切委員長 森田君質問ノ趣意ヲ明ニシテ戴キマス

○森田委員 ドウ云フ意味カト言ハレマスガ、質ト量ヲ既ミ合フト仰シヤルカラ、何ヲ相手ニ既ミ合フカト云ツタラ、常識ト既ミ合フト言フ、何ヲ問ウテ居ルカト云フガソレヲ問ウテ居ル、質問ノ趣旨ハ是レ位明瞭ナコトハナイ、サウスルト、規格ノアルモノト仰シヤルガ、何デモ規格ハ大抵アルノデス、常識マデ付ケテ行ケバ規格ハ皆アル、アナタガ關係シテ居ル紙ノ如キモノデモ、今日ハドウナツテ居リマスカ、恐ラク今日規格ガ備ツタ通りノ公定相場ニハ出テ居ナイ、石炭ノ如キモ、ソレハ「コロリー」或ハ灰分或ハ附著水分ト云フヤウナモノガ是ハ皆決ツテ居リマス、併シ其ノ通りニハ

行ツテ居ナイ、一番分ル問題ハ、アナタノ所デ單價ヲ定メラレル結果トシテ、質ガ落チタカ量ガ落チタカ、豆腐ノ如キモ、一丁ノ價格ハ上ゲヌトシテモ、量ハドノ位減ツテ居リマスカ、或ハ其ノ他何デモ、若シ單價ヲ無理ニ抑ヘレバ量ガ大變減ツテ來ル、量ヲ減サレヌ一升一升ノ買物ナラバ質ヲ落ス、酒デアラウト醬油デアラウト米デアラウト何デアラウト、若シ一升ト云フ計リ賣ヲスルモノナラバ、アナタノ所デ公定價格ト云フモノヲ喧シク言ヒ、罷リ間違ヘバ引ツ縛ラレル虞ガアルカラ、隨テ今度ハ質ヲ落ス、量ヲ落サレヌモノハ質ヲ落ス、質ヲ落サレルモノハ質ヲドシテ落シテ行ク、量ヲ落サレルモノハ量ヲ落シテ行ク、是ハ釘付ケノ物價ヲ決メル委員會ニ、實際ノ事ニ當ツテ居ル人ガ居ラヌカライカヌ、實際ノ事ニ當ツテ居ル人ガ居ラヌカライカヌ、斯ウ云フ規格ノモノハ斯ウ云フ風ニ決メルノダト云フ風ニ中央物價委員會ヲ決メテ行ケバ今ノヤウナ失態ハナイ、早イ話ガ、米ノ如キモノデモ、農民ノ作ツテ居ル米ヲ生産費以下ニ抑ヘタ結果、又一面雜穀ノ統制ヲ執ラナカツタ結果、隨テ何時デモ米ノ半値カ六掛位ノ價格ニ置カナレバナラヌ小豆、大豆、小麦ト云フヤウナモノガ米ト同額以上ニナツテシマツタ、統制ヲ執ラヌカラデアアル、今ノ私ノ問ウテ居ルノハ、分ラヌヤウナコトヲ仰シヤツタガ、此ノ公定價格トカ適正價格ヲ決メタル時ニハ質ト量ト云フモノニ重キヲ置イテ行カヌト何ノ價値モナイ、子供デモ今言ツテ居ル、饅頭ヲ買ツタ所ガ小サクナツタ上ニ砂糖ガ一向入ツテ居ラナイ、價格ハ從前通りデアアル、是デ分リマシタカ、是ハ結局物ガ上ツテ居ルノデア

ル、昔カラ、是ハ商工大臣モ大藏大臣モ聞イテ居ラレルト思フガ、馬鹿ト相場ニハ勝テヌト云フコトガアル、古イ人ダカラ分ツテ居ラレルデセウ、今デモサウデアアル、相場ハ、アナタ方ガ無理ニ或ル所ヘ釘付ケシヨウト云フコトヲヤルノハ、恰度寒暖計ヲ暑イカラ下ゲヨウト云フコトデ無理ニ抑ヘルヤウナモノデアアル、ソレヨリモ、周圍ノ溫度ヲ調節シテ寒暖計ヲ下ゲルヤウニシナケレバナラス、物ノ需給調節ヲ執ツテ行ケバ獨リデニ價格ト云フモノハ落著ク所ヘ落著ク、物ノ調節ヲ一ツモ取ラズニ、價格バカリ一箇所ニ置イテソレヲ一ツ實行シテ行カウト云フ所ニ非常ニ無理ガアル、馬鹿ト相場ニ勝タウトスルカラ勝テナイ、其處ヲ一ツ考ヘテ、本當ニ適シタ方法ヲヤツテ行カナケレイカヌ、其ノ本當ニ適シタ方法トハ、私モ地方ノ物價委員會ナドニ出席シテ、中央物價委員會ノ様子ヲ見ルト、アナタハ今規格ト仰シヤツタガ、規格ト云フモノハアリマセヌ、一等、二等、三等、酒ナラド「レツテル」、酒ノ中味ヲ飲ンデ見テ「レツテル」ト合致スル酒デアアルカドウカ、誰ガ分ルデセウ、ドシナ人デモ分ル人ハナイ、ソレヨリモ「アルコール」分ヲ決メタルカ、或ハ成分ヲ決メテ行クトカ、要スルニ適當ナ所デ決メテ行カナケレバナラヌガ、併シソレハ幾ラヤツテモ、消費ノ調節ノ取レヌ限リ閣相場ノ止マルコトモアルマイシ、私ハ其ノ點ハドウシテモ要ヲ得ヌカラ、先ヅ此ノ需給ノ調節ニ商工省ハ一番重キヲ置クベキモノデハナイカ、サウシテ物價ヲ決メル場合ニハ質ト量ヲ先ニ決メテ置イテ、ソレカラ物價ヲ決メルベキモノデヤナイカ、私ハ相當永年稅ノ委員ニモ關係シテ居ルガ、日本ノ

徵稅歷史始マツテ以來ノ大增稅デス、昭和五六年頃ニハ國稅ノ總額ヲ合セテ見タ所デ、今日ノ増稅ノ八億何千万圓ト云フ收入ハナカツタ、ソレダケノ負擔ヲ國民ニ背負ハセヨウト云フ時ニハ、政府モ眞劍ニ總テノコトヲ研究シテヤルベキデハナイカ、徒ニ低價政策ヲ唱ヘテ、物價ガ高クナツテハイカヌカラ、紙幣ヲ印刷シテ低物價政策ヲ堅持シテヤラウト云フヤウナコトヲ考ヘテハ眞劍デハナイ、質ト量ニ付テ今後ドウ云フヤウニ取締ツテ行カレルカ、明確ナル御答辯ヲ願ヒマス

○藤原國務大臣 御質問ノ趣旨ハ能ク諒解致シマシタ、森田君ノ御尋ノ通りニ、ヤハリ適正價格ヲ設ケテ物價ヲ是正スルト云フコトノ方針ヲ解剖シテ申上ゲマスレバ、ヤハリ其ノ質ト量ト云フモノガハツキリシナイト適正價格ト云フモノガ出來ナイコトハ是ハ當然デアリマス、ソコデ九月十八日ニ物價ヲ釘付ニシテ置イテ、今日マデ何等ノ處置ヲ講ジナカツタカラ、斯ウ云フヤウナ物價ニ釘付ニナツタケレドモ、量ガ減レバ騰貴ト同ジデハナイカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマシテ、其ノ點ニ於テハ政府ニ於テモ森田君ノ御指摘ノ通りニ考ヘテ居リマス、少シモ其ノ點ニ付テハ相違ハナイト存ジマス、ソレ故ニ今此處デ度々申上ゲル通りニ、此ノ低物價政策ヲ堅持シテ行ツテ此ノ時局ヲ乗切ラウトスルノハ、一面ニ於テハ只今ノ御話ノ通りニ消費ヲドウシテモ節約シナケレバナラス、ソレニ付テハヤハリ大藏大臣モ度々申上ゲル通りニ、紙幣ノ増發トカ云フヤウナコトモドウシテモ一面ニ於テハ努力シテ、紙幣増發カラ來ル所ノ物價騰貴ノ趨勢ヲ防グト云フコトニモ非常ナ力ヲ入レナクテハナリマセヌ、ソレカラ又一面ニ於テハ出來ルダケ早ク適正價格ト云フモノヲ決メテ、ソレヲ決メタ以上ハ、詰リ適正價格ハ出來タケレドモ段々質ガ惡クナツタリ、或ハ量ガ減ツテ來タリ、事實上ノ物價騰貴ニナツテハ、サウ云フコトヲシテ居ツテハ何ニモナラナイ、ダカラサウ云フコトニナラナイヤウニ早く適當ナ所ニ之ヲ決メテ、サウシテ此ノ低物價政策ト云フモノニ副フヤウナコトニ之ヲシナケレバナラス、ソレカラ尙ホ附加ヘテ——是ハ申上ゲルマデモナイコトデアツテ、モウ千萬御承知ノコトデアルト信ジマスガ、斯ウ云フ政策ヲ實行シテ、其ノ效果ヲ擧ゲテ、サウシテ低物價政策ヲ徹底セシムルト云フコトハ容易ナラナイコトデアラウト存ジマス、ソレデアアルカラ之ニ對シテ飽クマデ眞劍ニ努力シナケレバ何ニモナラナイデハナイカト云フ御趣意ハ其ノ通りデアリマス、眞劍ニ努力シテヤル積リデ晝夜ヲ分タズ努力ヲ致シテ居ルコトデアリマスカラ、其ノ點モドウゾ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森田委員 低物價政策ト生産擴充ニ付テハ大藏大臣ニ申上ゲテ重複スルカラ申サヌデスガ、是ハ出來ヌデス、低物價政策ト生産擴充トハ兩立出來ヌコトデアアル、藤原商工大臣ハソレハ能ク知ツテ居ラナケレバナラス、斯ウ云フ風ニヒドイ増稅、産業資本家ニヒドイ負擔ヲ課ケテ行クコトハ、結局事業家ノ妙味ヲ殺ガカラ生産ノ擴充ハ出來ヌト仰シヤツテ居ラレル、本會議デハ、十年前ニハサウデアツタケレドモ近頃ハ變ツタト仰シヤラレタケレドモ、近頃デヤナイ、ホンノ近頃變ラレタノデ、サウ長イモノデヤナイ、ソレハドウツチカニ御決メナサイト

云フコトヲ今日大藏大臣ニ御話ヲ申上
 ガタノデス、生産ノ擴充ニ置クカ、低
 物價ニ置クカ、低物價ニ置クナラバ徹底
 的ノ消費統制ヲシテケレバナラヌト云フ
 コトヲ申上ゲタ、ソレカラ通貨ノ膨脹ハ努
 メテ避ケルト仰シヤラレタ、努メテ避ケル
 ト云フコトハ非常ニ結構ノコトデアアルガ、
 サウ云フコトヲ仰シヤルアナタガ大藏省ニ
 向ツテ通貨ノ膨脹ヲサセルヤウナ要求ヲサ
 レタヤウニ新聞ニハ書イテアル、是ハ本當
 カ嘘カ分ラヌ、ソレカラ適正物價ハ何時決
 メマスカ、明確ニ答辯シテ貰ヒタイ、何故
 ナラバ、今日市中ニ脱脂綿ガ無い、買ヒニ
 行ツテモ無い、ドウ云フ譯デアアルカト云フ
 コトヲ製綿家ニ聽イテ見ルト、斯ウ云フコ
 トヲ言フノデス、相當持ツテ居ルガ、ナニ
 サマ一昨年ノ六月二十八日ト昨年ノ九月十
 八日ト云フ所ニ釘付ニナツテ居ルガ、私ノ
 所ノハソレカラ後ニ仕入レテ製綿シタノダ
 カラ「コスト」ガ非常ニ高ウゴザイマス、之
 フ閣下賣ルト縛ラレル虞ガアリマスカラ、
 今度改正價格ガ出ルサウデスカラ、改正價
 格ガ出たら賣リマス、ソノコトヲ言ツテ
 モオ醫者デモ困ツテ居ルシ藥品屋モ困ツテ
 居ルカラ出來ルダケ早ク何トカナラヌモノ
 カ、後カラ値増シヲ貰ツテモ宜イデヤナイ
 カト言ウテ、私ハ會議所ノ會頭ヲシテ居ツ
 タカラ中ニ立ツテ奔走シタノダガ、併シ後
 カラデモ縛ラレルダラウト思ヒマスカラ、
 何ト仰シヤツテモ賣ラウ途ガアリマセヌト
 言ツテ居リマシタ、適正物價ヲ決メルノナ
 ラバ早く御決メニナツテ、國民ノ不自由シ
 テ居ル所ヲ、救済ト言ヘバ語弊ガアルカモ
 知レヌガ、早く物ヲ間ニ合ハス方法ヲ御執
 リニナル御考ハナイカ、適正物價ト云フモ

ノ何時御決メニナリマスカ
 ○藤原國務大臣 森田君ノ御説ノ通り私自
 身モ考ヘテ居リマス、出來ルダケ早く決メ
 タイト思ツテ居リマス、所ガ御承知ノ通り
 ニ政府ノ機構ト云フモノガ私共ノ考ヘテ居
 ルヤウニ簡單ニ行カナイ、サウシテ色々ナ
 手續ヲ經テ段々ニ延ビマス、ケレドモ此ノ
 延ビテ居ルト云フコトハ國民ニ對シテ今御
 指摘ニナツタヤウナ迷惑ヲ來スコトハ能ク
 承知致シテ居リマスカラ、出來ルダケ早く、
 一日デモ早く、一時間デモ早く之ヲ決メタ
 イト思ツテ努力致シテ居リマス、ケレドモ
 マダ今ノ色々ナ手續ガ遅レテ、ソレガ爲ニ
 御満足ニナルヤウナ急速力ヲ以テ之ヲドシ
 ドシ敏速ニ片端カラ決メテ、サウシテ御滿
 足ノ行クヤウナ工合ニシヨウト云フ其ノ希
 望ヲ達スルコトガ出來ナイト云フコトハ洵
 ニ遺憾デアリマスケレドモ、私自身トシテ
 ハ出來ルダケ早く之ヲ決メテ行キタイ、斯
 ウ思ツテ居リマス
 ○森田委員 ソコデス、アナタモ其ノ氣ガ
 アリ、國民モ其ノ通り熱望シテ居ルノデア
 ルカラ、其ノ出來ヌト云フ所ニ何カ故障ガ
 アルダラウト思フ、其ノ早く決メラレヌト
 云フ所ニ何カ政治的ノ故障ガアルカ、事務
 的ノ故障ガアルカ知レヌガ、其ノ故障ヲ早
 ク排除シタラドウデス、アナタハ民間カラ
 役所ニ行ツテモ御分リニナラウト思フガ、
 一ツノ書類ニ何十割ガ捺サレルカ分ラヌデ
 ス、ソレガ即チ今日ノ事務ノ滯滞ヲ來ス原
 因デス、本當ニ行ケバモツト速ク行カナケ
 レバナラヌノダガ、アノ判ヲ揃ヘル爲ニ遅
 レル、私ハ一ツ判ハ抜キニシテモハ早く
 發表シナケレバイカヌノデハナイカ、如何
 ニモ商工大臣ガ一生懸命ニヤラレルコトハ

吾々モ認メマス、認メルガ、併シ實效ガ多
 少デモ學ツテ來ナケレバイカヌ、幾ラアナ
 タガ國民ノ爲ニ、國家ノ爲ニ御働キ下サツ
 テモ實效ガ一ツモ學ツテ來ヌデハ困ルノデ
 アルカラ、一生懸命ニオヤリ下サルト同時
 ニ、其ノ進マヌ根本原因ヲ一ツ早く究メラ
 レテ、斯ウ云フコトデ進マヌノダ、半年
 モーアナタガオ入りニナツテカラ日モ淺
 イガ、兎ニ角此ノ物價ヲ改訂スルト云フコ
 トヲ決メタラ即チ九月十八日ニ「ストップ」
 ヲ食ハシテ、是カラソレニ相當シタ適正價
 格ヲ決メテ行クノダト言ヒナガラ、今私ノ
 申上ゲテ居ル通りソレガ出來ナイト云フノ
 ハ何カ其ノ間ニ故障ガアルノダカラ、其ノ
 故障ノ排除ヲ一ツヤツテ貰ヒタイ、官僚氣
 分ガ邪魔ヲシテ印ノ數ヲ減ス、ソレニ依ツ
 何トカシテ其ノ印ノ數ヲ減ス、ソレニ依ツ
 テ國民ニ便宜ヲ與ヘテヤル、サウナサラス
 ト、今日藥デモ色々ナ物ガアリナガラ手ニ
 入ラズ、國民ガ不自由シテ居ルコトハ、各
 家庭ニ歸ツテ御聞キニナツテモ私ハ分ルト
 思フ、ソレガナイノナラ已ム得ヌガ、ソ
 レガアル、唯閣取引デヤツテ居ル者ハ宜イ
 ガ、閣取引ヲシテ工合ガ惡イ人ハ恐レテ閣
 取引ヲシナイダケノコトデアアル、此ノ方面
 モ一ツ早く解決シナケレバナラヌコトデア
 リマスカラ、適正價格ハ速ニヤル、早クヤ
 ルト仰シヤルノダガ、其ノ月日ヲ仰シヤツ
 テ戴カヌコトハ遺憾デアリマスガ、併シ是
 レ以上其ノ月日ヲ言ヒナサイト云ツテモ言
 ヘナイカモ知レマセヌカラ、至急トカ急速
 トカ云フコトハ何時ノコトヲ指スノカ、ソ
 ンナコトヲ言ツテ居テハ日ガ暮レテシマフ
 カラ、ドウゾ議會ノ此ノ委員會ノアル間ニ、
 何時マデニハ適正價格ヲ決定スル、決メテ

發表スルト云フコトヲ御知ラセ願ヒタイ
 ○藤原國務大臣 森田君ノ御尋ニ付テ辯解
 的ニ申上ゲルヤウニ御聞キ願ツテハ困リ
 マスガ、實際ノ狀況ヲ申上ゲマスレバ、適
 正價格ノ決定スルト云フコトニ付テハ、或
 ハ新聞ナドデ御承知デアツタカモ知レマセ
 スケレドモ、今マデノ中央物價委員會ニ於
 テ一年餘モ掛ツテ色々努力ヲ致シテ來タ歴
 史モアリマスルシ、其ノ機構ヲ變ヘルカ變
 ヘナイカト云フ議會ニ於テノ御質問モアリ
 マシテ、之ヲ變ヘルト云フコトニ致シマシ
 テ、中央物價委員會ニ代ルベキ物價ヲ形成
 スル所ノ委員會ノ組織ノヤウナモノヲ變更
 スル手續ヲ今執ツテ居ルノデアリマス、其
 ノ委員會ノ機構ヲ改正スル所ノ手續ヲ執ツ
 テ居ルノデアリマシテ、此ノ機構ノ改正ヲ
 俟ツマデモナク、前ノ中央物價委員會ニ於
 テ決定シタモノハ其ノ儘無論實行ニ移スノ
 デアリマスケレドモ、其ノ時ト今日トデハ
 大分時勢ガ變ツテ居ルカラ、此ノ機構ノ改
 正ヲ俟ツテ敏速ニ之ヲ實行シヨウ、斯ウ云
 フノガ私ノ今ノ考デアリマス、ソレ故ニ斯
 ウ云フ風ニ説明ヲ申上ゲタラバ御諒解ガ付
 クコトト思ヒマスノハ、右ノ方ニ今行ツテ
 居ルモノヲ、之ヲ九十度ノ角度デ直グニ左
 ノ方ニ廻ハスト云フヤウナコトハ、普通ノ
 場合ニ於テモ中々其ノ實行ハ困難デアルコ
 トハ、森田君ハ事業上ニ於テモ御經驗ノオア
 リノ方ダカラ能ク御諒解ノ出來ルコトト存
 ジマス、今政府ニ於テ私ガ入ツテ行ツタカ
 ラト云ツテ、九十度ニ一遍ニ之ヲ廻レ右デ
 變ヘテ行クト云フヤウナコトハ是ハ出來ル
 モノデナシ、又サウ云フコトヲスルコトガ
 善イカ惡イカト云フト、實際上ニ於テハ善
 イト同時ニ又惡イ點モ伴フモノデアリマス

カラ、ヤハリ總テ右カラ左ニ大變革ヲ起シテ、今マデ斯ウヤツタケレドモ、オ前ガ入ツタカラ明日カラ左ヘ向ケ、右ノ方ヘ行ツタリナドシテハイカヌ九十度ノ角度デ左ニ廻レト云フ工合ニハ、普通ノ場合ニ於テモ出來ナイシ、又サウ云フコトハ出來テモ色ナ支障ヲ來スカモ知レヌト考ヘマスカラ、ドウゾ其ノ邊ハ御諒察ヲ願ツテ、徐々ニ其ノ變革ヲ行フト云コトモ是ハ時勢已ムヲ得ナイト自分ハ考ヘテ居リマスカラ、ドウゾ御諒察ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中島委員 昨日ノ閣議決定シマシタ物價對策審議會ハ、總理大臣ガ會長ニナツテヤラレルヤウデアリマスガ、今森田君ト商工大臣トノ間ノ質問應答ヲ聽イテ居リマシタガ、迅速ニ適正價格ヲ決メテ行クト言ヘバ、アア云フ大キナモノヲ作ツテ海軍大將ノ總理大臣ヲ連レテ來テヤルヨリモ、番頭サンノ前垂掛デ此ノ間マデヤツテ居ツタ商工大臣ガ大將ニナツテヤラレルヤウニシテ、商工省ニ之ヲ置イタ方ガ私ハ宜イト思フガドウデスカ、却ツテアナタノ言フ對策ヲヤルノニ妨ゲニナリハシナイカト思フ、内閣マデ持ツテ行ツテ、アンナ大キナ委員會ヲ拵ヘテ今マデ成功シタ例ハナイ、益、此ノ世間ノ實情ニ遠ザカツタ物價對策委員會ガ出來テシマツテ、サウシテ早くハ出來マセス、而モ其ノ大將ハ海軍大將デス、海ノ上ナラドウカ知ラヌケレドモ物價ヲ決メルコトハチツトモ出來ヤシナイ、此ノ委員會ニ於テモ屢々答辯ヲシマシタケレドモ、何モ答辯ハ出來ヤシナイ、サウ云フヤウナモノヲ海カラ陸ノ上ニ連レテ來テ、河童ヲ猿ミタイニシテシマツテ、木登リサシタヤウナコトヲヤツテ、益、是ハ難カシイコトニナリハセヌカト思フ、アナ

タノ意思ニ反シタ方面ニ行キ居ルナラ斷乎トシテアンナコトハ止メテシマツテ、商工省內デ從來ノ通りデ宜イカラ早クヤツテドンドン行カナケレバ、國民ハバタ／＼斃レテシマフ、制度バカリ拵ヘテシマツテモ、何ニモソレハ出來ヤシナイ、ソレコソ却テ遅ラセル方法デ、益、判ヲ多クスルダケノコトデアル、委員ヲ見マスルト大物價ガ物價ヲ知ラヌ大物價カリデアアル、大物價物價ヲ決メルコトガ出來ルナラバ何モ苦勞ヘセス、常陸山ヤ梅ヶ谷ミタイナ大物價ヲ連レテ來レバ宜イ(笑聲)是ハ洵ニ滑稽千萬デアアル

○藤原國務大臣 御尤モノ御説デアリマスカラ、其ノ内容ヲモウ少シ能ク御話ヲ申上ゲマシテ、サウシテ御諒察ヲ得タイト思ヒマス、中央物價委員會ト云フモノガ商工省ノ内部ニアリマシテ、其ノ中央委員會デ以テ物價ヲ審議致シテ居ツタ、所ガ物價ヲ論ジテ行クト、是ハ寧ろ實際問題カラ言フト、財政政策ニモナルシ、通貨ノ政策ニモナルシ、色々ナ問題ガ起ツテ來テ、ソレガ爲ニ中央物價委員會ト云フモノガ、非常ナ大キナ大物價ガ來テ大キナ議論ヲシナケレバナラヌヤウニナツテ、ソレガ爲ニ適正價格ヲ設ケルコトガ段々遅レテ來タ、ソコデ是デハ困ルト云フコトデ今度ノ機構ノ改正ニナツタ譯デアリマス、ソレデ今度ノ改正ハ中央物價委員會ト云フモノヲ三ツニ切ツテ、サウシテ一番上ノ委員會、一番大キナ委員會ダケケ内閣ヘ持ツテ行ツテ通貨政策ヲドウスルトカ、物資ノ問題ヲドウスルトカ、兎ニ角一番大キナ問題ダケケ内閣ニ持ツテ行ツテシマツテ、サウシテアト二ツ委員會ヲ拵ヘマシテ、商工大臣ガ會長ニナツテ、サウシテ一ツハ專門家ノ專門委員會、例ヘ

バ「マツチ」ヲ決メル時ハ「マツチ」屋サン、醬油ヲ決メル時ハ醬油屋サン、其ノ他各商品別ニ專門ノ委員會ヲ作りマシテ、サウシテ其ノ上ニ又各商品毎ニ關聯ヲシテ居リマスカラ、聯合ノ部長會トデモ申シマセウカ、聯合會トデモ申シマセウカ、サウ云フモノヲ作りマシテ各商品別ニ適正物價ヲ考ヘル、是ハモウ直グ出來ル、今度ハソレト他ノ色色ナ商品ガ關聯シテ居ルカラ、其ノ關聯シテ居ルモノヲコツチトコツチヲ睨合セテ、コツチヲ上ゲルトコツチモ上ゲナケレバナラヌ、コツチヲ下ゲレバコツチモ下ゲナケレバナラヌ、コツチダケ上ゲテコツチヲ上ゲナクチャ釣合ガ取レヌト云フヤウナコトヲ、此ノ聯合委員會ト申シマスカ、部會ト云ヒマスカ、サウ云フ所デ之ヲ決メテ、サウシテ其ノ會長ハ商工大臣ガ勤メテ、ソコデテキキキト、之ヲドシ／＼腰ダメデ決定シテ行キタイ、サウスレバ今マデノヤウニ大物價一ツ出テ貰ツテ、各省ニ相談ナドヲ掛ケナイデテキキキト是ガ敏速ニ決マル、斯ウ云フコトガ今度ノ改正ノ内情デアリマス、ドウゾ之ヲ巧ク運用シテ、サウシテ此ノ目的ヲ達スルト云フ爲ニ、私ハ渾身ノ努力ヲ拂ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テモドウゾ御諒察ヲ願ヒタイ

○中島委員 内閣ニ屬スル物價對策審議會ト云フモノハ、要スルニ大物價ノ祭リ所トシテ、後ハ實際僥得ガドン／＼ヤツテ行クノダ、斯ウ解釋シテ宜イノデスネ、ソレナラバマダ話ガ分ル、ウルサイカラ、煩ハシイカラ祭リ上ゲテ置イテ、後ハテキキキト俺ガヤツテ行クト云フナラバ、商賣人藤原銀次郎ノ面目ガ能ク分ル、アナタガ大臣ニナツテ、アナタガ此ノ物價ヲヨウヤラヌト云フコト

デハ法律上ノ責任ガ、其ノ點ニ於テ屋上屋ヲ作ルコトニナツテ、完ウシ得ナイノデアリマスカラ大問題デアリマス、内閣マデ持ツテ行カナケレバ物價ガ決マラナイト云フナラバ、商工省ハ……(要ラヌ)ト呼フ者アリ)是ハ自分ノ責任ト云フモノヲ他人ニ讓ルコトニナツテ、法律上ノ責任ハ重大ナ問題ダト思ヒマス、屋上屋ヲ架スルコトハ此ノ意味カラ言ヒマシテ、アナタガ言ツタヤウニ大物價祭込ンデ行ク、實際問題ハ俺ガヤツテ行クノダト云フナラバ、吾々ニモ納得ガ出來ル

モウ一ツ消費節約ヲサセルト云フコトヲ言ヒマスガ、消費ノ規正ニ付テノ監督官廳ハ何處デスカ、消費ニ付テハ中央官廳ガナイ、大藏省デモ消費節約ト云フコトヲヤツテ居ルケレドモ、又國民貯蓄獎勵ト云フコトヲ言フケレドモ、實際商工省トシテ消費ト云フコトニ付テノ全國的ノ大規正ヲヤラナケレバナラヌト思フ、ソレニハ機構ト云フモノガ必要デアツテ、其ノ命令一下ニ依ツテ全國ガ動クヤウナ法制的建前、機構ヲ計畫シテ、有ユル技術的機關ヲ作ラナケレバ徹底シタ消費規正ハ出來ナイ、消費規正ニ付キマシテノ大キナ機構ヲ作ラナケレバナラヌ、今監督官廳ハ何處ガヤツテ居ルカ、デン／＼ニヤツテ居ツテ分ラヌ

○藤原國務大臣 此處デ私ハ改メテ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、物價ニ付テノ責任ハ私ガ全然負ヒマス、ソレデ内閣ニ對策委員會ヲ作りマシタノハ、只今モ説明ヲ致シマシタ通りニ、アア云フ大キナ問題デ商工大臣ノミノ力ニ依ツテ動カスコトノ出來ナイヤウナモノ、例ヘバ通貨問題ノ如キモノハ商工大臣ノミノ力ニ依ツテハ、通貨ヲ

縮小シテ物價ノ騰貴ヲ防グト云フヤウナコトハ出來マセヌ、是ハ如何ナル程度ニ、ドウ云フ方法ヲ以テ通貨ノ縮小ヲスルカト云フヤウナコトニ付テハ、物價問題カラ云ツテモ非常ニ重大ナ問題デアリマスカラ、内閣ノ對策委員會ナドヲ審議シテ、大物ニ大キナコトヲ考ヘテ貰フ、此ノ低物價政策ニ適應スル所ノ通貨政策ヲ執ツテ行クト云フヤウナコトハ、私ハ是ハ必要ダト思フ、ソレデアリマスカラサウ云フヤウナ種類ノ大キナ問題ニ付テハ、物價對策委員會ニ諮問シテ、其ノ意見ヲ尊重シテ政策ヲ實行致シタイト存ジマスガ、苟モ商工省ノ管轄ニ於テ、商工大臣ノ權力ナリ責任ニ於テ爲スベキコトニ付テハ、甚ダ不肖ナガラ私ハ輔弼ノ責任ヲ持チマス、又自分ノ確信スル所ヲ實行致シテ參リマシテ、幾分デモ今日ノ此ノ時局ニ相應シイ政策ヲ出來ルダケ早ク實行シテ、國民ニ出來ルダケ迷惑ヲ少クシタイ、例ヘバ一日デモ一時間デモ早ク實行シテ、多少デモ私ノ希望ヲ達スルコトガ出來レバ、私ハ仕合せト存ジテ、飽クマデ其ノ責任ヲ盡シタイト、渾身ノ努力ヲ拂フ積リデアリマスカラ、其ノ點ハドウゾ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○伊藤委員 一寸關聯シテ——私共物價ヲ決メマスコトニ付テ、斯ウ云フコトヲ一ツ御尋シタイノデス、商工省デハ閣下相物價指數ヲ御作りニナツテ居ルカドウカ、是ハ私ノ考ヘ付キデハナイノデス、昨日ノ朝日新聞ニ此ノ物價指數ヲ作レト云フコトガ讀者欄ニ出テ居ルノデス、是ハ實ニ好イ考ダト私ハ思ツタ、實際作ツテ見テ、サウシテ此ノ閣下相場ト云フモノハドウ云フ原因デ、斯ウ云フ高イ相場ニナツテ居ルカト云フコ

トヲチヤント調べレバ、大體物價ノ一切ヲ國民ガドシナニ高イ金ヲ出シテモ買ハナケレバナラナイ物ハドウナツテ居ルカ、是ハドウナツテ居ルト云フコトヲチヤント調べレバ、物價對策ハ出來テシマフノデス、是ハアアシナケレバナラナイ、是ハ斯ウシナケレバナラナイト云フヤウニスレバ、内閣總理大臣ヲ煩ハサナクとも、吾々衆議院ダケデモ出來ルノデス、是ハ朝日新聞ノ記事デアリマシテ、洵ニ好イト思ツテ讀ンダノデスガ、之ヲ一寸商工大臣ニ御注意申上ゲテ、閣下相場物價指數ヲ一ツ御作りニナル御考ハナイカ、御返事ヲ願ヒマス

○藤原國務大臣 只今ノ御質問ハ初メテ承リマシテ、マダ研究ヲ致シテ居リマセヌ、但シ斯ウ云フコトヲ申上ゲマス、專門委員會ヲ組織シテ、今度ハ其ノ當業者ノ代表的ノ方ニ專門委員會ニ出テ貰ツテ、サウシテ其ノ專門委員會ニ於テ專門ノ各種各様ノ物價ノ御協議ヲスルノデアリマスカラ、隨テサウ云フヤウナコトハ明瞭ニナルダラウト存ジテ居リマス

○森田委員 物價ヲ決メル問題ニ付テ閣下相場ノ物價指數ガ出來テ居ラスサウデスガ、ソレデハ適正物價ト云フモノハ出來ヌ、適正物價ト云フモノハ閣下相場ト云フモノヲ、是コソ商工大臣ノ所謂配合スノデナケレバナラスノデハナイカ、現在ノ公定價格ト閣下相場ト配合シテ適正價格ト云フモノヲ此處ヘ持ツテ來ルベキダト私ハ思フ、若シ商工省ガソレニ手ヲ著ケナイデ適正價格ヲ作ラウト思ツタラ、原案ノ作りヤウガナイ、閣下相場ト公定價格トヲ配合シテ、此處ニハ斯ウ云フ無理ガアルカラ斯ウシナケレバナラナイ、併シ此ノ方ハ物價ノ方ガ悪イノダト

カ何トカ云フ風ニ配合セナケレバナラスノデ、私ハヤハリ作ツテ居ルダラウト思フ、作ツテ居ラナケレバ出來ナイ筈デス、ソレカラ商工大臣ハ、二月一日ノ本會議ノ答辯デ、モウ議論ハ盡キテ居ル、實行アルノミダト言ハレタ、其ノ答辯ノ時ニ吾々ハ痛快ニ思ツタ、サウヤツテ貰ヒタイト云フ考デアツタノデスガ、既ニ一月餘リニナツテモマダ實行ハ出來マセヌ、オ負ケニ今聽イテ居ルト、委員會ヲ色々作ルト言ハレルガ、アノ委員會ニハ色々アツテ、議會ノ答辯ニ利用スル爲ニ、議會デ色々質問ガアツタ時ニ、是ハ各方面ノ經驗家、學者、兩院議員ノ御意見ヲ聽イタ案デアルト云フ拔道ニスル爲ノ委員會ガアル、ソレガ一番多イ、物價等ヲ決メル時ニハ委員會ガアツテハ手間取ツテイカヌ、本當ニ率直ニ云フナラバ、其ノ筋ノ專門家ノ意見ヲ聽イテ改正スルトカ、委員會ノ改正ガ出來ナケレバ囑託デモ宜イカラ、其ノ筋ノ人ヲ入レテ、問髪ヲ容レズニ物價問題ヲ決メテ行カナケレバナラヌ、專門委員會ハ今デモアリマス、アナタ

ハ專門委員會ヲ作ルト仰シヤルガ、今デモアルノデス、地方ニモ中央ニモアル、ソレニ各ノ當業者ガ寄ルノダカラ、各、自分ノ方ニ肩ヲ持ツ、鮮魚屋ハ魚ヲ高クシテ貰ヒタイ、酒屋ハ酒ヲ高クシテ貰ヒタイ、肉屋ハ肉屋デ自分ノ地方ノ專門委員會ニ臨ンデ、自分ノコトヲ考ヘル、是ハイカヌ、此ノ人々ハ皆自分ノ島ノモノダケ考ヘテ、他人ノモノハ考ヘナイ、隨テ自分ノ方ニ贊成シテ貰ヒタイカラ黙ツテ居ル、斯ウ云フヤリ方デハ駄目ダト思フ、專門委員會ト云フモノハ置カズニ、物價ニ大體適正テ居ル人ヲ入レテ、將來ニ於テソコデ適當ナ所ヲテキ

パキ決メテ、ソレヲ告示シテ行ケバ間ニ合フガ、今ノヤウニ委員會ガ大勢寄ツテモ甲論乙駁、今日ハ決マラスカラ又研究シヨウデハナイカト云フコトデ、荏苒日ヲ過シテ行ク内ニ、物價ハドシノ閣下重ネテ上ツテ行ク、私ハ商工大臣ノ本會議ダナサレタ答辯ニハ洵ニ敬服シテ居ルノデアアル、ドウカ早く實行シテ貰ヒタイ、速カトカ、善處トカ云フコトダケデナシニ、唯實行アルノミト言ハレマシタカラ、其ノ實行ノ方法ヲヤツテ貰ヒタイ、今ノアナタノ答辯ノヤウニ是カラ又各種ノ委員會ヲ三ツニ分ケテ、ソレカラ專門委員會ヲ作ルト仰シヤルガ、サウスルト是亦甲論乙駁、議論ガ決マラスト思ヒマス、サウ延バサレテハ實際困ル、デアアルカラ寧ロ私ハサウ云フモノガ出來テモ出來ヌデモ宜イカラ、出來ナケレバ出來ナイ儘デ、アナタノ今仰シヤツタ商工省ハ商工省、商工大臣ハ商工大臣トシテノ權力範圍ヲ以テ適正物價ヲ決メル日ノ大略ノ所ヲ言明願ヒタイ

○藤原國務大臣 專門委員會ニ於テ當業者ガ自分ノ利益ノ爲ニサウ云フ主張ヲスルト云フコトモ能ク聞及ンデ居リマス、ケレドモ是ハ森田君能ク御承知ノ通り、御互ニ産業ノ方ノ經驗ノアル者ハ勿論ノコトデアリマス、又産業ノ經驗ガナクテモ、サウ云フ仕事ニ從事シテ多少ノ經驗ガアル者ハ、此ノ當業者カラドウ云フ人ガ出來テドウ云フコトヲスルカ、又此ノ當業者ハ利己的ナ主張ヲシテ居ルノカ、此ノ當業者ハサウデナク一般ニ公共ノ爲ニモ考ヘテ主張シテ居ルノデアアルカ、其ノ位ノコトハ見分ケルコトノ出來ルノガ當然デアリマス、尙又今マデノ專門委員會ノ人選等ニ付キマシテハ、多少

私ノ方針ト違フヤウナ所モアリマス、サウ云フ人選等ニ付テハ、實ハ是ガ根本ニナルモノデアラカラ、相當ノ考慮ヲ拂ツテ色々ノ準備ヲシテ居ルコト云フコトハ、今申上ゲテ宜イコトデアルト思フデアリマス、ソコデサウ云フ専門ノ委員會ヲ設ケテ専門家ノ説ヲ聽イテ、ソレヲコトヲ決メテ行カウト云フノガ私ノ考デアリマス、ココデ一寸森田君ニモ申上ゲテ置キタイノハ、敏速ニ決メタイト云フ方針ハ今日デモ持ツテ居リマシテ、其ノ積リデ努力ヲシテ居ルデアリマスガ、既ニ一箇月ニモナツテ居ルデハナイカト云フ御話デアリマスガ、如何ニモ早ヤ一箇月ニモナツテ、相當ニ日子ヲ費シタト云フコトハ恐縮千萬デアリマス、ケレドモ御承知ノ通り議會ガ始ツテ朝カラ議會ニ出テ、ソレニ忙サレテ居ルノデアリマスカラ、森田君ガ若シ商工大臣ニオナリニナツテモ(笑聲)ヤハリサウ右カラ左ニ敏速ニ行クト云フ譯ニハ行カナイト思ヒマスカラ、ドウカ其ノ點モ御諒察ヲ願ヒタイト存ジマス、今日國民ガ困難シテ居ル現状ヲ見棄テテ、悠々閑々ト其ノ日ヲ暮シテ、既ニ一箇月ニモナツタデハナイカト云フ御説デハ決シテナイトハ信ジマスケレドモ、其ノ點モ御諒察ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森田委員 縷々御答辯願ヒマシタガ、議會デ忙シイト仰セニナル、ソレハ私モ知ツテ居リマス、オ忙シイコトハ洵ニ御苦勞ニ存ジマスガ、議會ノ合間々々デ宜シイ、アナタガ方針ヲ授ケレバ、算盤シタリ事務ヲシタリスルノハ下僚ノ方デモ出来マスカラ、早クヤラウト思ヘバ出来マス、唯アナタノ御考ニ同意致シ兼ネルノデアリマス、内閣ニ直屬ノ委員會ヲ幾ラ作ツテモ話ラヌデハ

アリマセヌカ、内閣審議會ト云フモノガ出来テ何カ效果ガアリマシタカ、私ノ知ツテ居ル範圍ニ於テハ何モ效果ハ無カッタ、徒ニ屋上屋ヲ架スルダケノコトデアツテ、色々ナ問題ガアツテモ少シモ效果ガアリマセヌ、今ノ中央物價委員會ト云フモノヲ内閣ニ移シ、サウシテ商工省ガヤルト云フコトニナレバ、非常ニ手間ヲ取ルダケデアリマス、是ハ私責任ヲ以テ言明シテ置キマス、今商工省内ニ在ル一ツノ中央物價委員會デモゴテシテ一寸モ決マラナイ、其ノ上ニモウ一ツ内閣ニ置イタナラバドウナルカ、幾ラ商工大臣ガ力ンデ見タ所デ、ドウ云フ風ニ機構ノ擴充ヲヤツテモ、ソレハ寧ろ實行ガ遅レルダケデアリマス、此ノ事ニ付テ商工大臣ハ速ニ善處サレタイ、此ノ點ハ大藏大臣モ居ラレマスカラ能ク相談セラレテ善處サレタイ、民間カラ出タ大臣ニハ斯ウ云フコトガシツクリヤレル、官僚カラ出タ大臣デハドウモシツクリ來ナイ、民間カラ出テ來タ大臣デモ、ヤハリ委員會ヲ作ツテモ何等ノ對策ガナイヤウニナツテハ話ラヌ、私ハソコヲ懇々ト申上ゲテ置キマス、ドウカ機構ノ擴充ナドヲヤラズニ、物事ハ敏速ニヤツテ貰ヒタイ

ソレカラ丁度商工大臣ガ居ラレマスカラ、私ノ質問ノ順序ガ飛ンデ行キマスカラ、丁度宜イ所デアリマスカラ、特別法人稅ノコトニ付テ御尋ヲ致シマス、即チ産業組合方面、商業組合、工業組合ヘノ課稅ノ問題デアリマス、私ノ御尋スルノハ、此ノ産業組合課稅ニハ隨分強イ反對運動ガ起ツテ居リマス、ソレデ私ガ思ツテ居ルノニハ、産業組合ノ役員ト云フモノハ、其ノ地方ニ於ケル指導階級ノ人々デス、今日

是等ノ人々ガ反對ヲシテ居ルケレドモ、押切ツテ課稅シテ行クコトモヤラウト思ヘバ出来ヌコトハナイ、併シ斯ウヤツテ全國ノ産業組合ノ指導者、其ノ地方、部落、農村ノ指導者、是等ノ反對ヲ押切ツテ國家ガヤルダケノ價值ガアルカドウカ、一年百五十萬圓ノ稅收入ヲ擧ゲル爲ニ、全國ノ此ノ方面ノ人ヲ反對ニ廻シテマデ實行セヌデモ宜イデハナイカト私ハ思ツテ居リマス、併シ政府トシテハヤハリ此ノ際サウ云フ反對ガアツテモ押切ツテヤラウト云フナラ、又別ナ意味ノ考慮ヲシナケレバナラヌト思フ、私ハ今日斯ウ云フ方面ノ全國津々浦々ノ指導階級ニアル人々ガ、國策ヲ遂行スル上ニ於テモモウ少シ分ルヤウニ、農民ニ色々ナモノヲ配給スル上ニ於テモ、農産物ヲ買上ゲル上ニ於テモ、是等ノ團體ヲ政府ハ利用、活用シナケレバナラヌ、サウ云フ場合ニ是ガ國庫ノ收入ニ大キナ影響ヲ及ボスナラバ、吾々又何ヲカ言ハンヤデアリマスガ、僅ニ百五十萬圓ヤツコロノ金デアアル、去年此ノ議會ニ配付セラレタ資料ニ依ル遊興稅ノ收入カラ見ルナラバ、是ハ政府ガ取ルト言ウタ金ノ二十分ノ一ニモ當ラヌ、遊興稅ハ政府ガ三千二百萬圓上ルト言ツタモノガ、何ト驚ク勿レ三月一杯ニハ一億四千萬圓ニナルデセウ、其ノ方面カラ考ヘテ見マスト、農村方面ノ是等ノ團體ノ反對ヲ押切ツテマデ、百五十萬圓ソコノ稅收入ヲセヌデモ宜イト考ヘルノデアリマスガ、國務大臣トシテ兩大臣ハドウ考ヘルノデアリマスカ

其ノ外ニモウ一ツ商工大臣ニ御尋シタイノハ、斯ウ云フ事ガアル、アナタノ御承知ノ通りデアリマスガ、商工聯盟ト産業組合ト云フモノハ多年争ウテ來タモノデアリマ

ス、私等ハ其ノ兩方ニ關係シテ困ツタ一人デス、併シナガラ私ハ斯ウ思ツテ居リマス、産業組合ガ行フベキ業務ト商工業者ガ行フベキ業務トハ自ラ違ツテ居ル、其ノ建前ヲ一歩モドチラモ侵入シテハイカスト云フ意見ヲ堅持シテ居ツタノデアリマス、ナゼナラバ、商工聯盟ガ言フニハ、産業組合ハ商行爲ヲヤツテイカス、商賣人ガヤルヤウナコトヨリ以上ノ事ヲヤルカラ怪シカラヌト云フノガ商工聯盟ノ言分デアリマス、又稍、其ノ弊ガナカツタノデモナイノデアリマス、然ルニ今度政府ハ之ヲ營利法人ト同様ニ認メテ、特別法人ニ是等ノ稅ヲ課セルコトニナルト、今マデ抑ヘラレテ居ツタ産業組合ハ、モウ商賣人ト變ツテ居ル所ハナイ、吾々モ商賣人ト同様ナ國稅ヲ納メテヤツテ居ルノダ、營業ト同様デアルト云フ風ニ考ヘテ來ルト、此ノ對立抗争ニ目鼻ヲ付ケルコトハ難カシクナリマスヨ、此ノ特別法人産業組合ハ、今ノ所ハ總テノ産業ノ助成ト云フコトニ於テ、農村ヲ指導シテ行ク一ツノ機關デアラカラ、之ニハ稅ヲ取ツテ居カカツタ、併シ稅ヲ取ルヤウニナルト、今度ハ商工聯盟ガ言ツテ居ル所ノ、商行爲ヲ行ツテモ反對スルコトガ出來ヌヤウニナル、商工大臣トシテハ、之ヲ提案スル時ニハ此ノ事ニ關係セラレテ居ツタト思フ、商工業者ノ方面カラ言ヘバ、産業組合ハ商賣ヲシテ居ルノダカラ稅金ヲ取ルノガ當然ダト云フ風ニ言フ人ガ相當アルノデス、ソレヲ若シ取ツタナラバ商行爲ヲ公認セネバナリマセヌ、ソレデハ今後産業組合ガ看板ヲ掲ゲテ商行爲ヲドシクヤツテ行ツテモ、之ヲ抑制スルコトハ出來ヌヤウニナリマスカラ、商工省トシテモヤハリ稅ヲ取ルコトニハ贊成

是等ノ人々ガ反對ヲシテ居ルケレドモ、押切ツテ課稅シテ行クコトモヤラウト思ヘバ出来ヌコトハナイ、併シ斯ウヤツテ全國ノ産業組合ノ指導者、其ノ地方、部落、農村ノ指導者、是等ノ反對ヲ押切ツテ國家ガヤルダケノ價值ガアルカドウカ、一年百五十萬圓ノ稅收入ヲ擧ゲル爲ニ、全國ノ此ノ方面ノ人ヲ反對ニ廻シテマデ實行セヌデモ宜イデハナイカト私ハ思ツテ居リマス、併シ政府トシテハヤハリ此ノ際サウ云フ反對ガアツテモ押切ツテヤラウト云フナラ、又別ナ意味ノ考慮ヲシナケレバナラヌト思フ、私ハ今日斯ウ云フ方面ノ全國津々浦々ノ指導階級ニアル人々ガ、國策ヲ遂行スル上ニ於テモモウ少シ分ルヤウニ、農民ニ色々ナモノヲ配給スル上ニ於テモ、農産物ヲ買上ゲル上ニ於テモ、是等ノ團體ヲ政府ハ利用、活用シナケレバナラヌ、サウ云フ場合ニ是ガ國庫ノ收入ニ大キナ影響ヲ及ボスナラバ、吾々又何ヲカ言ハンヤデアリマスガ、僅ニ百五十萬圓ヤツコロノ金デアアル、去年此ノ議會ニ配付セラレタ資料ニ依ル遊興稅ノ收入カラ見ルナラバ、是ハ政府ガ取ルト言ウタ金ノ二十分ノ一ニモ當ラヌ、遊興稅ハ政府ガ三千二百萬圓上ルト言ツタモノガ、何ト驚ク勿レ三月一杯ニハ一億四千萬圓ニナルデセウ、其ノ方面カラ考ヘテ見マスト、農村方面ノ是等ノ團體ノ反對ヲ押切ツテマデ、百五十萬圓ソコノ稅收入ヲセヌデモ宜イト考ヘルノデアリマスガ、國務大臣トシテ兩大臣ハドウ考ヘルノデアリマスカ

セラレズニ、産業組合ハ何處マデモ其ノ産業組合ノ分ヲ守ラセテ行クヤウニシテ、商工業者ノ島へ鐵ヲ打込マセナイヤウニヤラセテ行クニハ、稅ヲ取ラズニ、現在ノ儘ニシテ置イタガ私ハ賢明ナ策デアルト思フ兩大臣ノ明確ナル御答辯ヲ御願致シマスガ、大藏大臣ハ、今日國策ノ遂行ノ上ニ於テ、是等指導階級ノ人ニハヨリ以上ニ世話ニナラナケレバナラヌシ、協力ニ俟タナケレバナラヌガ、ソレヲモ押切ツテ僅ニ百五十萬圓ノ稅ヲ取ルヤウニスルノガ宜イカドウカ、是ハ常識ノ問題デアリマシテ、數字ノコトヲ聽イテ居ルノデアリマセヌ

○櫻内國務大臣 特別法人課稅ノ問題ニ對シマシテハ、既ニ度々申上ゲテ居ル通りデアリマシテ、本來ノ使命カラ申セバ、勿論是ハ徵稅ヲ致スベキモノデハナイノデアリマス、即チ公共的的使命並ニ組合其ノモノノ性質ニ鑑ミマシテ、是ハ取ラヌノガ趣旨デアリマス、隨ヒマシテ産業組合ニシテ、他ノ組合ニシテ、其ノ組合員ニ對スル取扱數量等ニ應ジテノ配當金ニ對シマシテハ課稅ヲ致サナイ、唯其ノ餘リマシタ金額ガ出資金額ニ對シ三分以上ニナツタ場合ニ課稅スルノデアツテ、今ノ御話ハ是ハ地方ノ有力者ガ關係シテ居ルカラ、ソレ等ノ反對ヲモ押切ツテヤルト云フコトハ不利益デハナイカト云フコトデアリマスガ、現在ノ産業組合ノ各位ハ、現在ノ國情ヲ能ク御承知下サツテ、私ハ進ンデ御承認下サルモノト思ツテ居リマス、又サウ云フ事柄ガ、一般ノ増稅ノ上ニ於テ國民ノ心理状態ニ好影響ヲ與ヘルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ是ガ當リ前ノ稅金ト違ツテ、又他ニ賦課モ致シテ居リマセヌシ、唯法人稅ノ中ノ所得ノ百

分ノ十八ト云フ部分、即チ資本金デナイ方ノ、十八ト云フモノノ半分ヲ特ニ課稅シテ居ルノデアリマシテ、自ラ他ノ稅トハ異ツテ居リマス、殊ニ是ハ永續的性質ヲ持ツテ居ル譯デアリマセヌ、斯ウ云フ時局ニ際シテ其ノ協力ヲ得ル爲ニ致スモノデアリマシテ、金額ハ少イノデアリマスケレドモ、恐ラク此ノ事柄ハ却テ好イノデアリカ、喜ンデ御協力下サルモノト考ヘテ居ルノデアリマス

○藤原國務大臣 産業組合ノ課稅ニ付キマシテノ森田君ニ對スル御說明ハ、只今大藏大臣ガ申述バマシタ通りニ、商工大臣モサウ云フ工合ニ同様ノ考ヲ持ツテ居リマスカラ、改メテ是ハ御答申上ゲマセヌ、唯商工聯盟ト産業組合ガ今日マデ非常ナ對立抗争ヲ重ネテ來テ居ルノデアリカト云フ事實ハ私モ認メマス、今回此ノ課稅ヲスレバ政府ガ産業組合ヲ一ツノ營利團體ト認メルコトニナルカラ、今後商工聯盟トノ抗争ニ於テ益、惡化シヤシナイカト云フ御尋デアリマスケレドモ、其ノ點ニ付テハ森田君ト所見ヲ異ニ致シマシテ、政府ニ於キマシテハ此ノ課稅ヲ致シマシテモ産業組合ヲ營利團體トハ認メマセヌ、ヤハリ産業組合ハ産業組合トシテ、營業稅モ課シテ居マセヌシ、尙又普通ノ課稅ヲ致シテ居ル譯デアリマセヌカラ、産業組合ヲ營利團體ト認メテ居ルノデアリカト云フ、ヤハリ産業組合ハ産業組合トシテ、其ノ本來ノ職能ト云フモノガアリマスカラ、商工聯盟ト對立スル關係ヲ益、激化スルト云フヤウナコトニナルトハ考ヘテ居リマセヌ、其ノ點ヲ御答シテ置キマス

○堀切委員長 森田君ニ申上ゲマスガ、六

時頃マデニ終ルヤウニ壓縮シテヤツテ戴キタイト思ヒマス、マダ大勢御申込ガアリマシテ、成ベク公平ニ各人ニ時間ヲ割當テタイ、配給ヲ公平ニ致シタイト思ツテ居リマシテ、先ニナレバナナル程短クシテ戴カナレバナラヌヤウニナツテ居リマスカラ、速力ヲ御進メニナルヤウニ願ヒマス

○森田委員 委員長ニ一寸申上ゲマスガ、速力ハ進メテ居リマス、私ハ一時四十分頃カラヤツテ居ルノデスガ、時間ノ内ニハ私ノ時間バカリデヤアリマセヌ、答辯ノ時間ガ多イノデ能率ガ上ラヌノデス、能率ヲ進メルニハ委員バカリヲ御責メニナラズニ、ソテラノ方モ少シ……

○堀切委員長 承知致シマシタ、政府モ極ク簡略ニ願ヒマス

○森田委員 今ノ特別法人稅ノ問題ニ對スル兩大臣ノ御答辯ハ、私ニハ肯定出來マセヌ、大藏大臣ハ是等ノ人モ喜ンデ納稅スルダラウト仰シヤル、所ガ喜ンデ納稅セヌノデス、選舉區方面其ノ他カラ毎夜二時三時頃マデ電報ガ來テ居ル、此ノ課稅ニハ反對ヲシテ吳レト云フ意味ノ電報ガ來テ居ル、喜ンデドコロデヤナイ、是等ノ人ガナゼ喜バヌカ、是等ノ人モ役員ヲ初メ今度ノ一般ノ増稅ハ納メル、併シ今マデ例ニナイ、取ルベカラザル所カラ取ラウトスルカラ、摩擦ガ起キテ居ルノデアリマス、大藏大臣ハ是等ノ人々ガ喜ンデ納メルト言ハレマスガ、吾々ハ國民ヲ代表シテ居ル限り、此ノ國民ノ聲ヲ反映サスコトガ義務デアリマス、アナタモ議員トシテハ御存ジデセウ、島根縣ノ産業組合カラモ電報ガ來テ居リマス、決シテ喜ンデハ居マセヌ、又納メルベキ筋合ノモノデハナイ、併シアナタノ方ハ

原案ヲ出シテ居ル關係上、直グ引込メルト云フ譯ニハ無論行キマスマイガ、僅カ百五十萬圓ノ稅收入ヲ圖ル爲ニ、是程ノ反對ヲ押切ツテ課稅ヲスルコトガ時局柄當ラ得タモノデナイト云フコトハ、其ノ點ハ私ハ御同意ガ願ヘルト思フ、ソレカラ商工大臣ハ、稅ヲ課シテモ營業稅デヤナイ、特別法人稅即チ所得稅ダカラ、所得稅ヲ課シタカラトテヤツパリ從來ノ建前ハ守ツテ行クダラウト仰シヤルガ、稅ヲ取ラヌデモ守ツテ行カヌデ困ツテ居ルノニ、今度ハ稅ヲ取レバ一層守ラヌヤウニナリハセヌカ、サウスルト商工省モ中々困リハセヌカ、商工省モ本當ハ手ヲ焼イテ居ル問題デアル、手ヲ焼イテ居ル問題ダカラ、アナタガ今此處デオ座ナリノ答辯セラレタ、稅ヲ取ツタトテ産業組合ハ依然本分ヲ守ツテ行ク筈ダ、心配ナイト仰シヤルケレドモ、納メル方ハサウ言ハヌ、納メル方ガサウ言フナラバ宜イ、税金ヲ取ラレタカラトテ吾々ハ本分ヲ逸脱スル考ハアリマセヌ、一層自肅自戒、産業組合ノ本分ヲ守ツテ、商業者ノ範圍ニハ入ツテ行キマセヌト云フナラバ宜イ、サウデハナイ、サウデハナイカラ農林省トシテハ反對シテ居ルノニ、商工省トシテハ課稅サセヨウトシタ、私ハ能ク其ノ間ノ事情ヲ知ツテ居ルケレドモ、ソレハ言ハナイ、是ハヤハリ商工省トシテモ雅量ヲ示シテ、課稅ヲサセズニ置イテ、其ノ代リ産業組合ヲシテ商業者ノ島へ足ヲ踏ミ込マセヌヤウニスベキモノデアアル、税金ヲ取ツテ置イテ踏ミ込マヌヤウニト云フコトハ出來ナイ、税金ヲ取ルヤウニナレバ踏ミ込ミマス、又ヤツテモ宜イ、惡イトハ言ハレナイ、營利法人ト稅率ガ違フダケノモノデ、今度ノ税金ヲ

取レバ特別法人モ營利法人モ變ツタコトハ
ナイ、大藏省ノ考トシテハ、今度ノ税金、デ一
應頭ヲ出シテ置ク、頭ヲ出シテ置イテ追々ニ
増シテ行カウト云フ考モ能ク分ツテ居ル、
何故ナラバ、コンナコトハ打明ケテ宜イカ悪
イカ知ラヌガ、前ノドサクサ紛レノ時ノ話
ヲ私ハ聞イテ居ル、一應頭サヘ出シテ置ケ
バ宜イ、金額ノコトハ争ハヌガ、一應ハ頭
ヲ出シテ、是カラ順次ヤツテ行ケルト云フ
コトヲ、誰ガ言ツタカ、名前サヘ知ツテ居
ル、私ハヤハリソレハイカヌト思フ、是ハ
ヤハリ取ラナイ方ガ宜イト思フガ、併シ是
レ以上押合ヒマセヌ、押合ツテ見タ所デ、
兩大臣ガサウダト肯定スル譯ニハ行カヌデ
セウケレドモ、吾々ハサウ考ヘテ居ル、マ
ア是カラ態度ヲ決メルノダガ、若シ決メ
場合ニ、委員ノ大部分ノ意見ガ一致シタラ、
アナタ方モ彼此レ言ハヌデ、率直ニ贊成セ
ラレバヤウニ希望シテ置キマス

多イ、商工大臣ハ宜シウゴザイマス、御苦
勞様デシタ
是ハ事務當局ノ方デ答辯シテ戴ケバ宜シ
イ、一寸質問ノ順序トシテ簡單ニ之ヲ答ヘ
テ貰ヘバ宜イ、外地ノ居住者ガ受取ル配當
利子所得ニ對シテ、分類所得稅ヲ百分ノ十
五課ケルコトハ、法律ノ通り能ク分ツテ居
ルガ、之ニ綜合所得稅ヲ課ケル、ドウ云フ方
法ヲ執ツテ綜合所得稅ヲ課ケマスカ、分類
所得稅ニ相當スル配當ヲ受取ル土地ガ違フ
ト假定シマス、大阪トカ東京トカ九州トカ、
ソレノ各地デ分類所得稅ニ相當スル配當
ヲ受ケタ、分類所得稅ハ源泉課稅ダカラ宜
シイガ、外地ノ人間ニ對スル法ノ第二十八
條ニアル綜合所得稅ノ課稅ノ方法手段ヲ、
ドウオヤリニナルカト云フコトヲ一寸聽キ
タイ

○田中政府委員 外國ノ者ガ受取ル配當利
子所得ニ對シマシテハ、綜合所得稅ヲ課稅
致シマセヌ

○森田委員 第八第二十八條ハ斯ウ讀ンダ
ガ違ヒマシタカ、「綜合所得稅ハ個人ノ總所
得ニ付之ヲ賦課ス但シ第一條ノ規定ニ該當
セザル個人ニ在リテハ本法施行地ニ於ケル
資産又ハ事業ヨリ生ズル所得ニ付テノミ綜
合所得稅ヲ賦課ス」トアルカラ、ヤハリ本
法施行地内ニ於ケル所得ニ付テハ、外國ニ
居住シテ居ル者ト雖モ、本法施行地以外ニ
居ル者ト雖モ、課稅スルノダト解釋シタノ
ハ、私ノ誤リデアツタラ宜シウゴザイマス、
サウデスカ

○大矢政府委員 先程他ノ政府委員ヨリ答
辯シタ通りデアリマス

○森田委員 ソレナラソレデ宜シウゴザイ
マス、尙ホ法人ヨリ受クル利益、配當金

ノ元本ヲ得ル爲ニ云々ト云フコトニ付テハ、
小笠原君カラ昨日續、御述ベニナツタ、是ハ
モウ私ハ聞ヒマセヌガ、意見ハ小笠原君ト
同様デ、利益、配當金ノ元本ヲ得ルノニ必
要デアツタカナカツタカト云フコトハ、分
ルモノデアリマセヌ、何故ナラバ大藏大
臣ガ本會議シテ私ニ答辯サツタノニ、元本
ヲ得ル爲ニ擔保ニ入レテ云々ト仰シヤツタ
ガ、買ツタ株券ヲ擔保ニ入レテ金ヲ借りテ、
元本ヲ得ルコトハ出來マセヌ、擔保ニ入レ
タモノト株券、證券ト違ヒマス、有價證
券ナドト云フモノハ後拂ヒテ賣ツテ呉レル
モノハ一ツモナイ、有價證券ヲ擔保ニ入レ
テ土地ヲ買フ、建物ヲ買フ、船舶ヲ買フノ
ト、船舶ヤ土地ヤ建物ヲ擔保ニ入レテ株券
ヲ買フト違ヒマス、ソレハ有價證券ヲ擔
保ニ入レテ有價證券ヲ買フコトモアリマセ
ウガ、是ハ稅務署ト議論ノ絶間ガナイシ、
ソレカラ行政訴訟ノ絶間ガナイト云フ覺悟
ヲシナケレバナラス、自分ハ本當ニ屈ケル
ガ、是ハ稅務署ノ認定ダカラ、斯ウナル、
稅務署ハ何時デモサウ云フ際ニハ勝手ニ決
メテ居ル、政府之ヲ決定スト云フ所デ決定
シテシマフ、サウシテ納メサセル、稅ハ猶豫
セヌデス、サウスルト到頭納稅者ノ方ガ兜ヲ
脱グ、行政訴訟デ東京マデ出テ行クコトハ困
ルカラ、兜ヲ脱イデ納メルト云フヤウナコト
ヲヤル、大變ニ複雑ナコトヲ法律ニ殘シテ
置ク必要ハナイ、是ハヤハリ政府モ一ツ御考置
キ願ヒタイノハ、從來ノヤウニ何割トカノ
控除制度ヲ置クカ、ソレガイカヌト云フナ
ラ、負債ノ利子ヲ別ニ詮議フセズニ、全部
ノ負債ノ利子ヲ引クコトニデモシナイト、
元本ヲ得ル爲ノ負債ノ利子デハ、見解ノ相
違ヲ來シテ、意見ガ一致シナイ、稅務署ノ

諸君ト納稅者トノ間ノ意見ガ違ツテ來ル、
ソコガ一ツ私ハ質問デアリマセヌガ、御
考慮キ願ヒタイ
モウ一ツ、是ハ簡單ナ質問デアリマスガ、
法第六十七條ニ付テ、「税金ノ徵收ヲ猶豫セ
ズ」トアルガ、猶豫シテハドウデスカ、無
理ナコトヲ稅務署ガ決定シテ、ソレヲ一應
納メテ行ケト云フノハ、非常ナ無理ガアリ
ハセヌカ、ヤハリ異議ノ申立ノアツタモノ
ニ對シテハ猶豫シテ置イタラドウデスカ、
サウシテ置クコトガ私ハ合理的ダト思フ、
自分ノ方デ決メタコトニ無理ガアル、ソレ
デモ一應納メテ行ケト云フノデ、納稅者ガ
今日非常ニ苦シンデ居ル、此ノ點ハドウ考
ヘマスカ

○田中政府委員 御尤モナ御尋デアリマス
ガ、異議サヘ申出レバ税金ノ徵收ヲ猶豫ス
ルト云フ建前ヲ執リマスレバ、弊害モ亦非
常ニ多カラウト存ジマス、本當ニ間違ツテ
居ツテ、異議ヲ出スベキ理由ノアル人ニ徵
收ヲ猶豫シナイト云フヤウナ場合モ、御話
ノヤウニアルト思ヒマスガ、實際問題ト致
シマシテ、御話ノヤウナ法制ヲ執リマシタ
下ニ於ケル弊害ノ方ガ遙ニ多イト考ヘテ居
リマス

○森田委員 サウスレバ異議ガアツテモ徵
稅ヲシテ置クト言フナラ、其ノ徵稅シタモ
ノヲ今度戻ス時ニハ、適當ナ補償ト言フカ、
利子ト言フカ、附ケテ返シテヤリマスカ

○田中政府委員 返スコトニ付テハ間違ヒ
ハアリマセヌ、唯利子ハ付シマセヌ、ソレ
ハ普通ニ税金ヲ徵收スル場合ニ於キマシテ
モ、例ヘバ年賦延納ヲ認メマシタヤウナ場
合ニ於キマシテモ、其ノ税金ニ利子ハ付シ
テ居ナイト同様デアリマス

○森田委員 特別法人稅ノ方ハソレデ終ヘ
テ置キマス、今度ハ元ノ所得稅ニ戻リマス、
時間ヲ御急ギニナルカラ、一ツ「スピード」
ヲ掛ケテヤリマスガ、マダ私ノ質問ハ中々

○森田委員 ソレハ違ヒマス、ドウ云フ風ニ違フカト云フト、成程税金ヲ分納スル時ハ、利子ハ御取リニナツテ居リマセヌガ、併シ延滞スル時ハ、取ツテ居ルデハアリマセヌカ、市役所カラ延納ニ對スル督促手數料ト云フモノヲ取ツテ居リマス、是ハ取ルベキモノヲ取ツタノナラ宜イガ、取ルベカラザルモノヲ取ツタノダカラ、補償シテヤルノガ當然デハナイカ、刑法ノ方ニモアルデハアリマセヌカ、不法監禁シタ場合ノ補償規定ガアル、是ハアナタノ方デ無理ナモノヲ決メテ、餘計納メサシテ置イテ、行政訴訟ノ結果ハ其ノ人ニ戻シテヤルヤウナコトガアル、猶豫シテヤルベキガ原則デア

ルト思フガ、若シ之ヲヤツテ異議ヲ申立テレバ、審査委員會ト云フモノガアツテ中央ニ行政訴訟ヲ持ツテ來ル、斯ウ云フコトハ時ニ地方ニアルコトデアツテ、一審デ行カナカツタラ又控訴スルト云フヤウニ幾ラモ途ガアリマス、併シナガラ今國稅課長ガ言ハレタヤウナコトヲ心配シテ、ドウシテモ取ルト云フノハ、本當ヲ言ヘバ程度ノ問題デス誤謬訂正若クハ減損更訂ト云フモノハ非常ニ澤山アツテ、半額以下ニ落テルト云フノガアリマス、サウ云フ稅ヲ取ツテ居ツテ、國ハ利子ダケ丸儲ヲスルヤウナコトニナル、無理ヲシテ其ノ利子ダケヲ儲ケル、斯ウ云フコトニ付テ何カ特別ノ機關ヲ設ケテ、此ノ點ノ衡平ヲ期スル御考ハアリマセヌカ

○田中政府委員 誤謬訂正或ハ減損更訂デ税金ヲ返スモノノアルコトハ御話ノ通りデゴザイマス、併シナガラ誤謬訂正ニ付キマシテハ、第一期ノ納期前ニ大部分ノ處理ヲ致シマシテ、御話ノヤウニ税金ヲ納メサス

○森田委員 誤謬訂正ハ課稅スル前ニ認メルナント云フコトハ、誰ガソシテ報告ラシテ居ルカ知ラヌガ、今年ノ一月ニナツテ誤謬訂正シテ居ルモノガ澤山アリマス、ダカラアナタノ仰シヤルヤウニ、誤謬訂正ヲ第一期ノ納期前ニ悉クヤツテヤルナラ問題ハナイガ、實際サウ云フコトハ更ニ地方デハ行ハレテ居ラス、私ハサウ云フコトヲ知ラヌガ問ウテ居ルノデハナイカラ、一時的ノ其ノ場適レノヤウナ答辯ハシナイデ下サ

○森田委員 誤謬訂正ハ課稅スル前ニ認メルナント云フコトハ、誰ガソシテ報告ラシテ居ルカ知ラヌガ、今年ノ一月ニナツテ誤謬訂正シテ居ルモノガ澤山アリマス、ダカラアナタノ仰シヤルヤウニ、誤謬訂正ヲ第一期ノ納期前ニ悉クヤツテヤルナラ問題ハナイガ、實際サウ云フコトハ更ニ地方デハ行ハレテ居ラス、私ハサウ云フコトヲ知ラヌガ問ウテ居ルノデハナイカラ、一時的ノ其ノ場適レノヤウナ答辯ハシナイデ下サ

○田中政府委員 納稅義務者ガ非常ニ多クナリマシテ、監督ガ容易デナイト云フコトハ御話ノ通りデアリマス、併シ徵收取扱者モ納稅者モ一ツノ會社或ハ銀行ニ勤メマシ

アルカト云フヤウナ調ハ、其ノ納メル源泉課稅ノ代理ヲ勤メテヤル當局ノ考ニ依ルノカ、届出ニ依ルノカ、或ハ稅務署カラ前以テ調べタ通知ヲ寄越シテヤルノデスカ

○田中政府委員 本人カラ、徵收義務者即チ給料ヲ支拂ツテ源泉課稅ヲ實際ニ扱ツテ戴ク人ニ對シテ届出ヲシテ貰ツテ、ソレニ依ツテ控除ヲヤルノデアリマス

○森田委員 ソレガ間違ツテ居ツタ場合ハドウシマス

○田中政府委員 徵稅ニ付テ監督ハ致シマス、一應ノ處理ハ只今申上ゲタヤウナ順序デ致シマス

テ、其處デ源泉徵收ヲスルノデアリマスカラ、之ニ依ツテオ五同土ノ家族狀態ヲ知ツテ居ルト云フ關係モアリマス、又徵收取扱者ガ納稅義務者ノ其ノ家ニハドレ位ノ子供ガアルト云フコトモ知ツテ居ル關係モアリマス、是等ガ通謀シナイ限りサウ嘘ハヤレナイト思ヒマスシ、又二箇所モ三箇所モアル場合ニ於キマシテハ別ニ規定ヲ設ケテ居リマス、何レニシマシテモ是等ノ點ニ付テハ色々監督ヲ致シマスコトニ依ツテ、大過ナキヲ期シ得ルト思ヒマスガ、若シ御話ノヤウニ嘘ヲ言ツテ居ル場合ニハ追徵ヲ致シマス

○森田委員 誤謬訂正ハ課稅スル前ニ認メルナント云フコトハ、誰ガソシテ報告ラシテ居ルカ知ラヌガ、今年ノ一月ニナツテ誤謬訂正シテ居ルモノガ澤山アリマス、ダカラアナタノ仰シヤルヤウニ、誤謬訂正ヲ第一期ノ納期前ニ悉クヤツテヤルナラ問題ハナイガ、實際サウ云フコトハ更ニ地方デハ行ハレテ居ラス、私ハサウ云フコトヲ知ラヌガ問ウテ居ルノデハナイカラ、一時的ノ其ノ場適レノヤウナ答辯ハシナイデ下サ

○森田委員 嘘ヲ言ツテ居ルカ言ツテ居ラスカハ、ドウ云フ方法デ調ベマスカ

○田中政府委員 ソレハ現在モ扶養家族ノ控除ヲ申請ヲ致シマシタノニ對シマシテ、ソレヲ嘘カドウカヲ調ベルノト同様デアリマス

○森田委員 ソシナコトデハイケマセヌ、現在デハ三種所得稅ノ申告ト云フコトハ稅務署ガ直接取ツテ居ル、ダカラ稅務署員ガ其ノ家ニ行ツテ大體ノ見當ヲ付ケテ來ル、今度ハ役所ニセヨ銀行ニセヨ會社ニセヨ、大勢ノ納稅義務者ガ殖エテ來テ居ルノデア

○田中政府委員 納稅義務者ガ非常ニ多クナリマシテ、監督ガ容易デナイト云フコトハ御話ノ通りデアリマス、併シ徵收取扱者モ納稅者モ一ツノ會社或ハ銀行ニ勤メマシ

○森田委員 嘘ヲ言ツテ居ルカ言ツテ居ラスカハ、ドウ云フ方法デ調ベマスカ

○田中政府委員 ソレハ現在モ扶養家族ノ控除ヲ申請ヲ致シマシタノニ對シマシテ、ソレヲ嘘カドウカヲ調ベルノト同様デアリマス

○森田委員 ソシナコトデハイケマセヌ、現在デハ三種所得稅ノ申告ト云フコトハ稅務署ガ直接取ツテ居ル、ダカラ稅務署員ガ其ノ家ニ行ツテ大體ノ見當ヲ付ケテ來ル、今度ハ役所ニセヨ銀行ニセヨ會社ニセヨ、大勢ノ納稅義務者ガ殖エテ來テ居ルノデア

マシテハ、其ノ國稅徵收納付ト云フコトハ、國民ノ協力ニ俟タナケレバ到底十分ナ效果ハ擧ゲ得ナイイダラウト存ズルノデアリマス、而シテ又從來ノ納稅ノ實績カラ見マシテモ、扶養家族ノ控除ト云フコトニ付キマシテハ、左程間違ツタリ或ハ虚偽ノ申請ヲスル者ノ數ガ多イトハ申サレナイカト存ジマス、此ノ度官廳或ハ銀行、會社等ハ俸給ヲ支拂フ場合ニ徵收義務者ニナルノデアリマスガ、御承知ノ通り最近ニ於キマシテハ各會社等ニ於キマシテ、比較的大勢ノ人ニ家族手當等モ支給スル關係モアリマシテ、其ノ家族狀態ガドウ云フ風デアルカト云フコトハ相當調ベテ居ルモノト存ジマス、ソレカラ毎月ノ俸給支拂ノ都度問題ニナル點デゴザイマスカラシテ、假ニ本法施行ノ當初ニ多少ノ誤謬ト云フモノゴザイマシテモ、ソレハ漸次回数ヲ重ねテ行クニ從ツテ、適當ニ是正サレテ行ク見込ガアルト思フノデアリマス、勿論全國ノ各會社等ニ於キマシテ、

間違ヒナクヤツテ居ルモノトハ見ル譯ニ行キマセヌカラシテ、必要ニ應ジマシテ適當ノ監督ハ加ヘル積リデアリマスケレドモ、根本ノ趣旨ト致シマシテハ納稅義務者、徵收義務者ノ御協力ニ俟ツテ、納稅ノ實ヲ擧ゲタイト存ジテ居リマス、餘リニ此ノ方面ノ監督ニ趨ツテ、煩瑣ノ手數ヲ懸ケルノモドウカト思ヒマス、併シ森田サンノ御心配ノ點モ御尤モデアリマスカラ、施行ノ狀況ニ鑑ミマシテ又適宜ノ處置ヲ講ジタイト存ジテ居リマス、徵收シタ人ニ對スル交付金ニ付キマシテハ、第八十三條ニ規定シテ居リマシテ、少額ナガラ或ル程度ノ交付金ハ出スコトニナツテ居リマス

トカ云フコトハ其ノ通りダト思フ、アナタノ仰シヤル通りデセウガ、今私ガ非常ニ心配シテ居ルノハ、第八十八條ニ依ルト隨分重ク罰セラレマス、非常ニ重ク罰セラレルノデアルガ、此ノ間違ヒガ納稅者ノ方ニ起ルカ、徵收者ノ方ニ起ルカ、私ハ非常ニ複雑ナコトニナツテ來ルト思ヒマス、社員デモ職工デモ、私ガサウ言ツタトカ言ハヌトカ云フ、言ウタ言ハヌノ境目ニナツテ來ルト、一體下チラフ罰シマスカ、徵收スル方デハ家族控除ハ是ダケダト思ツテ其ノ儘取次イダ、一方今度ソレヲ稅務署ガ行ツテ調ベタラ、其ノ義務ノアル者ハ届出ヨリ少カツタト云フヤウナ場合ニ、私ハソナコトヲ届ケナイト言ツテモ水掛論ニナリマス、此ノ時第八十八條ノ罰則ハ大抵納稅義務者ニ掛ケル罰則デハナイカト思ヒマス、サウスルト自分ハ納メタル義務ハアリマセヌトカ、ソナコトヲ言ウタコトハアルトカナイトカ云フコトニナルカラ、私ハ戶籍謄本トカ戶籍抄本ト云フモノニ依ツテヤツテ行ケバ、ソレデ納メタル方モ取ル方モ便利デヤナイカ、ソレナラ一番固イト思ツテ居ル、併シアナタノヤウナ答辯デハ此ノ第八十八條ノ罰則ヲ認メテ行ク譯ニ行カヌ、何カ確乎トシタ、家族控除ハ斯ウ云フヤウニヤルノダト云フコトヲ明ニスル、徵收義務者ハ戶籍謄本ニ依ルトカ、寄留書ト云フヤウナモノニ依ツテ行クカ、市町村役場ノ證明ニ依ルト云フヤウニ、何カニ依ツテ其ノ間ノ區切リヲカツチリヤツテ置カナイトイカヌ、斯ウ云フ大キナ罰則ヲ掛ケヨウト云フニハ、今ノヤウニ協力シテ納メテ貰フカラ間違ヒハアルマイ、アツタラヤルゾ、ヤリサヘスレバ宜イト云フノデハ困ル、少々間違ヒガ

アツテモ引縛ラヌト云フナラバ議論スル必要アリマセヌガ、是ハ大キナ穿ヲ拵ヘテアルノデ、ソレデ私ハ心配シテ居ル、是ハ初メテヤルコトダカラ其ノ點ハ明確ニシテ置カヌト、主稅局長ノ只今ノヤウナ御答辯デ、何デモ引掛ツタラ第八十八條デヤラレ、是ハ一ツ能ク御研究置キ願ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 第八十八條ハ納稅義務者ニ對スル處罰規定デアリマシテ、徵收義務者ニ對シマシテハ直接此ノ規定ハ働カナイノデアリマス、ソレカラ戶籍謄本又ハ抄本ヲ取リマシテモ是ハ同居家族デナケレバ控除致シマセヌノデ、戶籍謄本デハ間ニ合ヒマセヌ、ソレカラ寄留届モ必ズシモ常ニ事實ト一致シテ居ルトハ申サレナイカト思フノデアリマス、併シ施行ノ狀況ヲ見テ森田サンノ御心配ニナルヤウナ點ガアリマシタナラバ、更ニ適當ノ方法ヲ講ジタイト思ヒマス、成ベク第八十八條ノ罰則ノ適用ノ起ルコトノナイヤウニ致シテ行キタイト存ジテ居リマス

○森田委員 成ベク起ラヌヤウニシマスト言ツテモ、一遍法律ニナツテシマツタナラバ、是ハドウ云フ風ニヤルノカ知りマセヌガ、兎ニ角モアナタノ言フノト違ツテ、罰則ノ適用ガ起リハシマセヌカ、アナタハ罰セヌト議會デ言ツテモ、大臣ガ言ウタコトデモ實行出來マセヌ程デスカラ駄目デス

○大矢政府委員 第八十八條ハ單ニ善意デ間違ツタトカ、法律ヲ知ラナイデ間違ツテ申告シタ者ニ對シテハ適用ガナイノデアリマシテ、詐僞其ノ他不正ノ行為ニ依リ所得稅ヲ遁脱シタル者トアツテ、明確ニ意識シテ脫稅ヲ圖ツタ場合ノ規定ナノデゴザイ

○森田委員 成ベク起ラヌヤウニシマスト言ツテモ、一遍法律ニナツテシマツタナラバ、是ハドウ云フ風ニヤルノカ知りマセヌガ、兎ニ角モアナタノ言フノト違ツテ、罰則ノ適用ガ起リハシマセヌカ、アナタハ罰セヌト議會デ言ツテモ、大臣ガ言ウタコトデモ實行出來マセヌ程デスカラ駄目デス

○大矢政府委員 第八十八條ハ單ニ善意デ間違ツタトカ、法律ヲ知ラナイデ間違ツテ申告シタ者ニ對シテハ適用ガナイノデアリマシテ、詐僞其ノ他不正ノ行為ニ依リ所得稅ヲ遁脱シタル者トアツテ、明確ニ意識シテ脫稅ヲ圖ツタ場合ノ規定ナノデゴザイ

○堀切委員長 損害ハ政府ガ負フノデスカラ、政府ガ負擔スルカ徵收者ガ負擔スルカ、例ヘバ小サイ會社ナドニハ會計ノ係ノ者ニ怪シイ者ガアルダラウト思フガ、使ヒ込ダト云フ時ニ損害ハ誰ガ負擔シマスカ

○大矢政府委員 是ハ今ノ脫稅ノ場合トハ違フノデアリマシテ、本人ハ既ニ納メテシマヘバ脫稅ト云フ問題ハ起ラヌデアリマス、詐僞其ノ他不正ノ行為ニ依ツテ脫稅スルト云フノデアリマシテ、徵收義務者ガサウ云フコトヲシタ時ニハ刑法ノ横領罪、サウ云フモノニ掛リマス

○堀切委員長 損害ハ政府ガ負フノデスカラ、政府ガ負擔スルカ徵收者ガ負擔スルカ、例ヘバ小サイ會社ナドニハ會計ノ係ノ者ニ怪シイ者ガアルダラウト思フガ、使ヒ込ダト云フ時ニ損害ハ誰ガ負擔シマスカ

字ガアツタ、此ノ法案ノ委員會ニ於ケル説
明ハ、輸出入即チ貿易ニ關スル統制ヲ取ツ
テ行クト云フコトガ明確ニ速記録ニ載ツテ
居ル、然ルニ今日國內ノ總テノ統制經濟ニ
於テ、ナゼ臨時輸出入其ノ他措置法ヲ適用
スルカト云フト、「其ノ他」ト云フ文字ガア
ルカラ、此ノ「其ノ他」ガ非常ニ範圍ガ廣
イノデスト云フコトヲ言ウテ居ル、ソレダ
カラ「詐偽其ノ他」ト云フ此ノ「其ノ他」ヲ
明確ニシテ置カヌト、今日マデ臨時輸出入
措置法ヲ國民ノ代表者ハ一パイ食ハサレ
タ、アア云フ範圍ノ廣イ總テノ物價ノ取極
メ、生産制限、有ユル問題ヲ、「其ノ他」ト
云フ文字ガアル爲ニヤツタノダト、商工當
局ハ言ツテ居ルガ此ノ「其ノ他」ニ瞞サレ
テハイカヌ、是ハ明確ニシテ置カナケレバ
ナラヌ、詐偽ハ分ツテ居ルガ、其ノ他トハ
如何ナルモノカ……

○田中政府委員 「詐偽其ノ他」ノ行爲ニ依
リ所得稅ヲ遁脱シタル者」トアリマス、レ
バ、アナタノ仰セラレルヤウニナリマス、
併シ「其ノ他不正ノ行爲」デアリマシテ、
「其ノ他」ガアリマシテモ常ニソレハ不正ノ
行爲デアナケレバナラナイ譯デアリマシテ、
何デモ此ノ「其ノ他」ニ入ルト云フ譯デハゴ
ザイマセヌ

○森田委員 不正ノ行爲デアアルカドウカハ
訴訟シナケレバ分ラナイ、私ハ不正ノ行爲
デアアルカドウカニ付テハ例ヲ擧ゲテ申シテ
居ル、捺除シテ貰フ扶養義務アル者ハ是ダ
ケダト届ケテアル、所ガ一方ハ聞イテ居ナ
カツタト云フ場合ニ、此ノ罰則ヲ納稅義務
者ニ持ツテ行カナケレバナラヌ、其ノ時ニ
不正デアツタカナカツタカ、サウ云フコト
ヲ言フタトカ言ハナイトカ云フコトデハ、

終ヒニハ訴訟ニ依ツテ解決スルヨリ途ガナ
イ、今言ハレルヤウニ「其ノ他不正ノ行爲」
デアアルコトハ私モ能ク知ツテ居ルサウ云フ
答辯デハ満足致シマセヌ

○田中政府委員 簡潔ニ申上ゲテ居リマス
ノデ分リニクカツタカト思ヒマスガ、「詐偽
其ノ他不正ノ行爲ニ依リ云々」ト云フコトハ
從來カラ稅法ニ總テ此ノ通りアリマスノデ、
今回改正致シタモノデアリマセヌ、隨ヒ
マシテ是ノ解釋ニ付キマシテモ解釋ガ一定
致シテ居リマス、最終的ナ法律ノ解釋ガ斯
ウ云フ罰則ノ適用ニ當ツテ裁判ニ依ラナケ
レバナラヌコトハ御話ノ通りデアリマスガ、
此ノ解釋ハ十分一致シタモノガアリマス

○森田委員 是レ以上議論ヲ繰返スト時間
ヲ取ルバカリデスカラ議論ハ繰返シマセヌ
ガ、今ノ問題ハサウ云フ場合ヲハツキリシ
テ置カナケレバナラヌ、何トカ知ツテ居レ
バ申出ルデアラウガ、知ラナケレバ申出ナ
イ、吾々ノ考デ一番心配スルノハ銀行員、
會社員等ノ知識階級デハサウシタ間違ハナ
イト思フガ、船員トカ云フヤウナモノハ澤
山居ツテ詳シイコトハ中々分ラヌデス、分
ラヌカラ聽ク、聽イテモ分ラヌ、船長ガ機
關長ニ聽イテ分ラナケレバ仕方ガナイト思
ヒマスガ、サウ云フコトヲシテ置イタノガ
實際ト違ツタ場合ニ、第八十八條ヲ適用ス
ルト云フコトニナルト大變ダ、サウ云フコ
トデナシニ、何カ此ノ間ニハ明確ニシテ置
キナサイト、斯ウ言フノデス、イケナケレ
バ家族ノ扶養義務ガアル者ハ船長ガ證明ス
ルカ、工場長ガ證明スルカ、市町村長ガ證
明スルカ、何カニ依ツテ的確ナル書類ガア
レバ、是ガアレバ宜シイト云フ線ヲ一本引
イテ置ケバ宜シイ、ソレダケ明確ニシテ置

ケバ、此ノ第八十八條ガハツキリスル、曖
昧ナコトニシテ置イテハイケナイ、此ノ第
八十八條ガ從來アラウガナカラウガ、ソ
ナコトハ問題デハナイ、今マデノ法律ガ宜
クナカツタカラ改メロト云フノガ今度ノ法
案デハナイカ、時ト場合ニ依ツテ、斯ウ云
フコトニナルト云フト、是ハ改正シタノデ
アリマスと言フ、詰ツテシマフト、是ハ從
來アツタト斯ウ言フ、ソナ勝手ナコトハ
ナイ、改正シタノデアレバ何處マデモ改正
ヲ主張シテ行ク、ソレカラ從來アツタノガ
宜カツタノナラバ改正ヲ主張シテハイカヌ

○田中政府委員 從來アツタカラ是デ行ク
ト申上ゲテ居ルノデハナクテ、從來アツテ
之ニハ解釋ガ一定シテ居ル、而モ之ニハ何
等支障ガナカツタカラ此ノ儘ダ、斯ウ言フ
ノデアリマス、ソレカラ本人ガ知ツテ居レ
バ宜イガ、知ツテ居ナケレバ引掛ルト云ツ
クヤウナ問題デハナイノデアリマシテ、是
ハ詐偽其ノ他不正ノ行爲ニ依ルト云フノデ
スカラ犯意即チ脱稅ノ意思ヲ以テヤツテ
居ル場合ニノミ適用セラルベキ條文デアリ
マシテ、ホンノ過失デアルトカ、善意デ間
違ツタト云フヤウナ場合ニハ、此ノ條項ハ
適用ニナラヌヤウニ、從來カラ判例モ一致
シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ其ノ範圍
ヲ明確ニスル爲ニ市町村長ノ證明デアルト
カ、色々ナ證明ヲ取ツタラドウカ、斯ウ云
フ御話デゴザイマスガ、偶ニ或ル間違ヒヲ
シマシテ、二百万人ニ近イ勤勞所得者ノ扶
養家族ノ捺除ニ總テサウ云フ證明ヲ付ケテ
出サスト云フコトハ如何ナモノデアラウカ
ト考ヘテ居リマス

○森田委員 時間ハマダアリマスカ
○堀切委員長 大抵其ノ邊デドウデスカ、
又他ノ適當ナ機會ニ……
○森田委員 ソレデハ法人稅ノ方ハ大體此
ノ邊デ止メテ置イテ宜イノデスガ、個人ノ
方ニ付テ又明日ノ朝ニデモホンノ一寸ノ間
御尋申上ゲルコトニ致シマス
○堀切委員長 ソレデハ大分皆サン御疲レ
ノヤウデスカラ、本日ハ此ノ程度デ散會致
シマス
午後六時十五分散會